令 和 ８ 年 度

県 政 世 論 調 査

結 果 報 告 書

〈概要版〉

令和８年１１月

福　島　県

目　次

頁

Ⅰ　調査の概要
１．調査の目的 1
２．調査実施概要..... 1
３．調査項目 1
４．回答者の構成..... 2
Ⅱ　調査結果の解説
１.復興等に関する情報発信について..... 5
（１）震災・原発事故や復興について知りたい情報..... 5
（２）復興状況や新しい取組に関する情報の入手先..... 6
（３）福島県の広報活動についての満足度..... 7
（４）福島県の現状について県外に伝えたいこと..... 9
２.安全で安心な県づくりについて..... 10
（１）地域の安全・安心についての評価..... 10
３.福島県の総合計画について..... 12
（１）福島県の現状についての評価..... 12
４.チャレンジふくしま県民運動について..... 15
（１）チャレンジふくしま県民運動の認知状況..... 15
（２）心身の健康づくりの実践状況..... 16
（３）心身の健康づくりを実践していない理由..... 17
（４）心身の健康づくりの実践頻度..... 18
５.福島イノベーション・コースト構想について..... 19
（１）福島イノベーション・コースト構想※について知っている取組..... 19
（２）福島イノベーション・コースト構想を推進するため、県に強化してほしい取組
..... 21
（３）福島イノベーション・コースト構想の効果をもたらすための施策..... 22
６.県内のプロスポーツチームについて..... 23
（１）県内のプロスポーツチームへの関心..... 23
（２）試合を現地で観戦しない理由..... 24
（３）試合を現地で観戦した理由..... 25
７.生物多様性について..... 26
（１）生物多様性の認知状況..... 26
（２）生態系サービスを得るための行政の取組..... 29
（３）生物多様性に配慮したライフスタイル..... 30
８.自転車の安全利用について..... 31
（１）自転車の利用頻度..... 31
（２）自転車損害賠償保険の加入状況..... 32
（３）ヘルメットの着用状況..... 33

（４）ヘルメットを着用しない理由..... 34
９.地域の医療について..... 35
（１）体調不良時の対応..... 35
（２）かかりつけ医の有無..... 36
（３）知っている医療関連サービス..... 37
（４）保健や医療に関する情報の入手方法..... 38
（５）保健や医療に関して知りたい情報..... 39
１０．食育について 40
（１）「食育」への関心..... 40
（２）毎年 6 月『食育月間』毎月 19 日は『食育の日』の認知..... 41
（３）家族との食事頻度..... 42
（４）『食育』に関する活動や行動..... 43
１１.ロボット・ドローンについて..... 44
（１）ロボットやドローンを目にする機会の増加..... 44
（２）ドローンが住宅の上空を飛行することの考え..... 45
（３）ドローンが上空を飛ぶ際の心配な点..... 46
１２.農林水産業について..... 47
（１）農林水産物の購入や食生活で実践していること..... 47
（２）農山漁村の役割として期待すること..... 48
１３.高等学校教育について..... 49
（１）あなたが選びたい学科..... 49
（２）遠隔授業を活用した学びの形態..... 50
（３）中高一貫性教育校の必要性..... 51
（４）定時制、通信制の高等学校について..... 52
①定時制高等学校の形態..... 52
②自習室や相談等できる環境の必要性..... 53
（５）学びやすい新しいタイプの高等学校の必要性..... 54
１４.地域社会の安全・安心（治安）について..... 55
（１）居住地域の治安状況..... 55
（２）治安状況が良いと思う理由..... 56
（３）治安状況が悪いと思う理由..... 57
（４）犯罪発生状況等の情報提供方法..... 58
（５）犯罪に関して知りたい情報..... 59
（６）警察に強化してほしい活動..... 60
（７）重点的に取り締まってほしい犯罪..... 61
（８）身近に感じる不安..... 63

Ⅲ　調査票様式
Ⅳ　過去に実施した県政世論調査項目一覧

【本報告書利用にあたっての注意点】

１．本文及び図表中の回答者の割合は百分比（％）で表し、小数点以下第２位を四捨五入してある。
したがって、四捨五入の結果、個々の比率の合計が１００％にならないことがある。
また、複数回答の質問では、比率の合計は１００％を超えることがある。

２．図表中の「ｎ」は回答者総数（該当者への質問の場合は該当者数）のことで、１００％が何人に相当するかを示す、比率算出の基数である。

Ⅰ　調査の概要

１．調査の目的

県政の課題等について県民の意識やニーズを調査し、具体的な政策形成等の基礎的な資料とする。

２．調査実施概要

（１） 調査地域　　福島県全域（３３市町村を抽出）

（２） 調査対象　　満１５歳以上の男女個人

（３） 標 本 数　　２，０００（人）

（４） 抽出方法　　層化二段無作為抽出

第１次抽出：「県北」「県中」「県南」「会津」「南会津」「相双」「いわき」の県内７地域をそれぞれ「総人口 10 万人以上の市」「総人口 10 万人未満の市」「郡部（町村）」の３グループに分け、各グループを１つの層とした。
各層の市町村別人口累積表により、等間隔に調査地点（市町村及び町丁・大字）を設定した。

第２次抽出：第１次抽出で得られた調査地点の住民基本台帳から、条件にあてはまる調査対象者個人を系統抽出した。

（５） 基 準 日　　令和８年７月１日
（抽出にあたっては上記年月日現在の満年齢を基準とした）

（６） 調査方法　　・郵送による調査票の配布
・郵送又はインターネットによる回答

（７） 調査期間　　令和８年６月２４日～７月８日

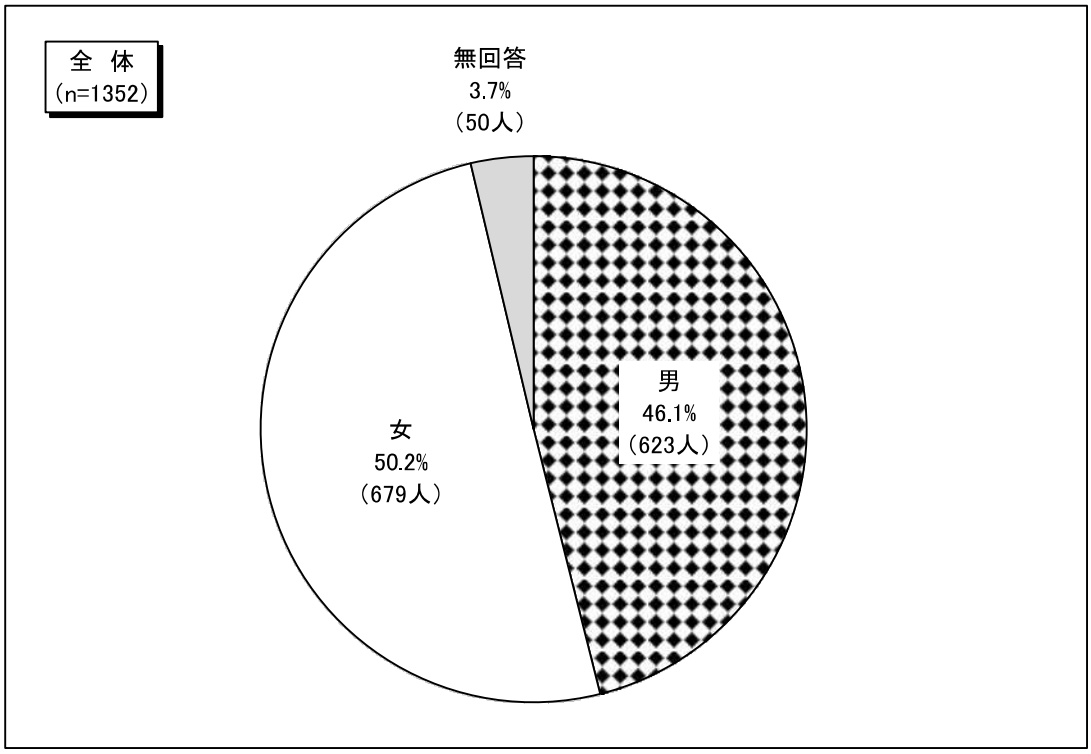
（８） 回収結果　　有効回収数１，３５２（有効回収率 67.6%）

３．調査項目

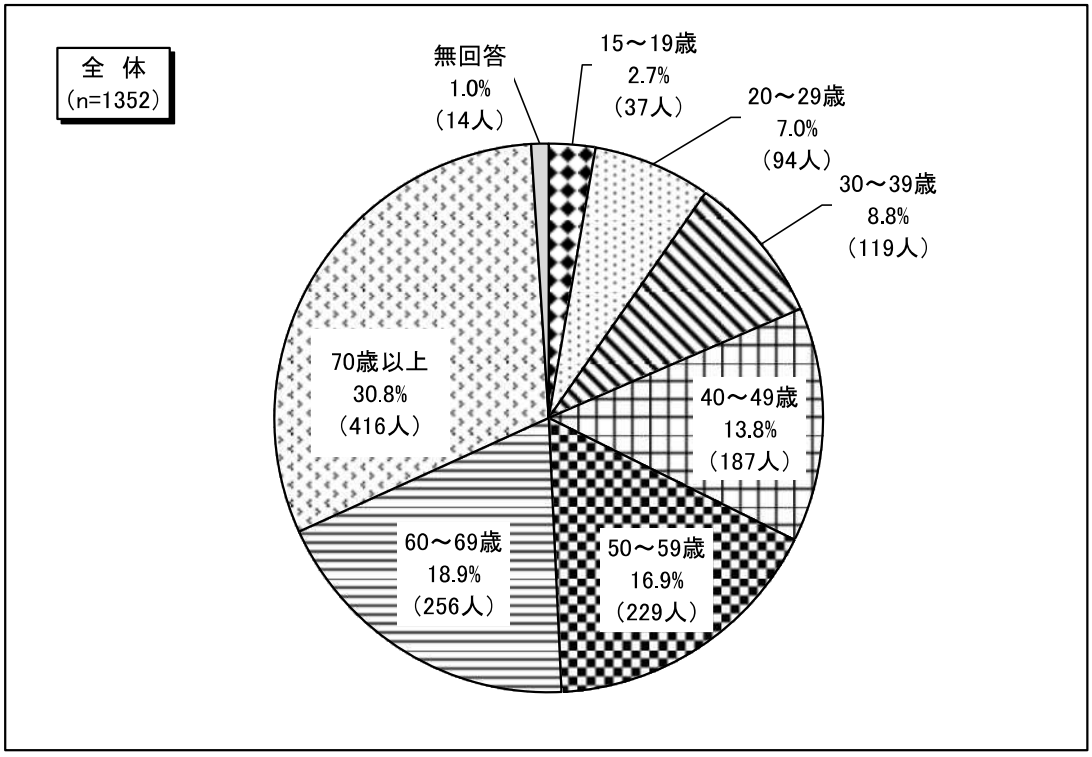
（１） 復興等に関する情報発信について
（２） 安全で安心な県づくりについて
（３） 福島県の総合計画について
（４） チャレンジふくしま県民運動について
（５） 福島イノベーション・コースト構想について
（６） 県内のプロスポーツチームについて
（７） 生物多様性について
（８） 自転車の安全利用について
（９） 地域の医療について
(10) 食育について
(11) ロボット・ドローンについて
(12) 農林水産業について
(13) 高等学校教育について
(14) 地域社会の安全・安心（治安）について

４．回答者の構成

（１） 性別

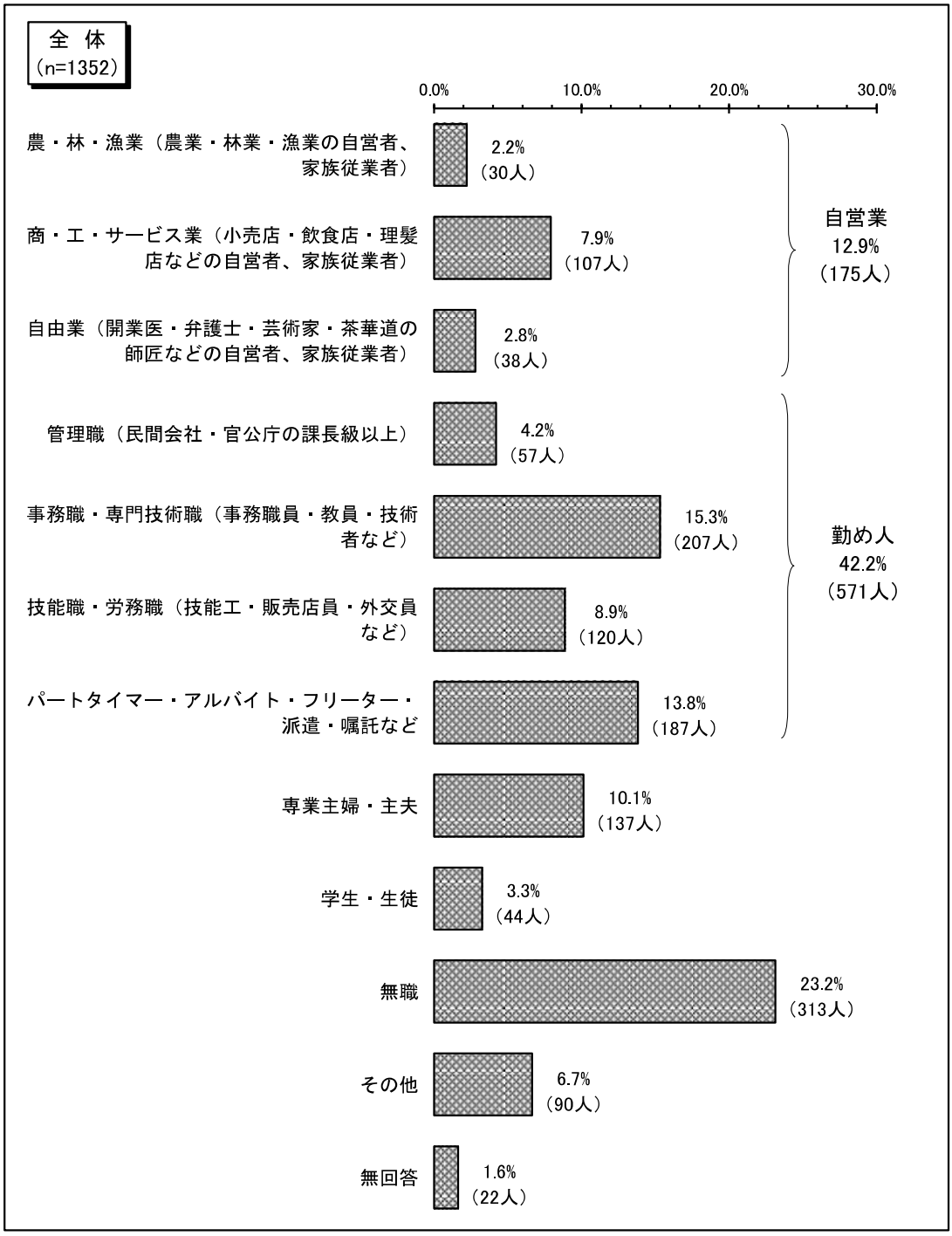


（２） 年齢

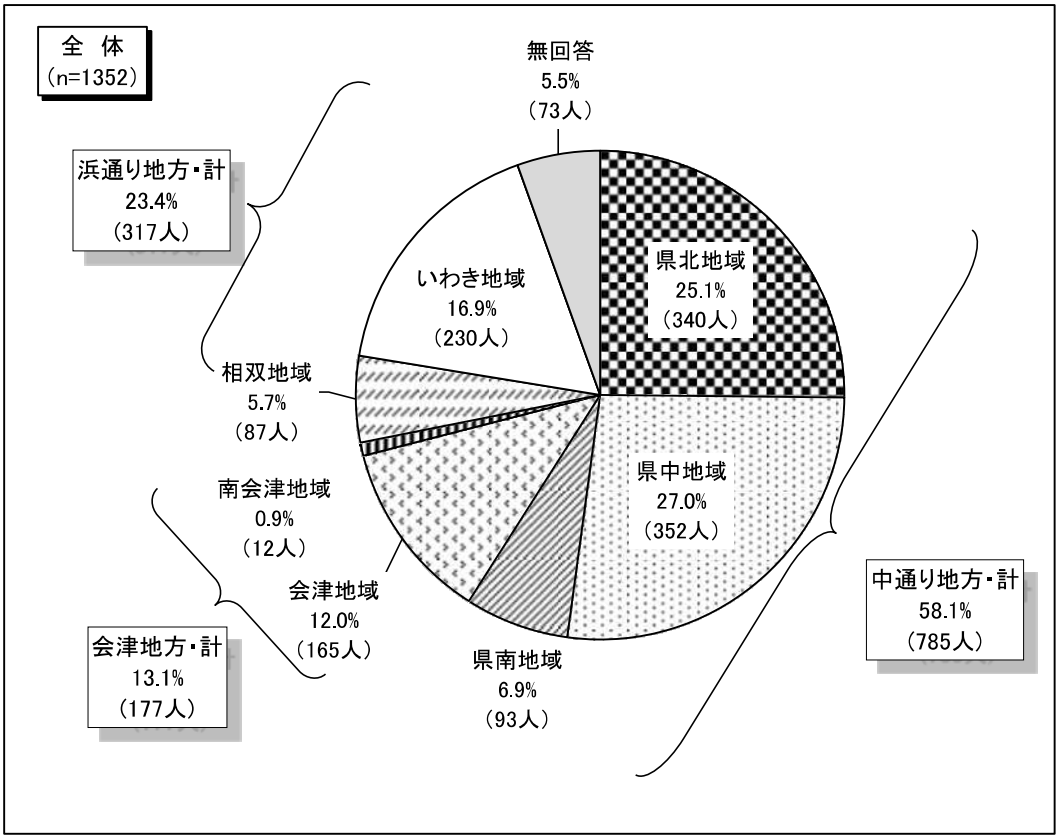


（３） 職業

（３） 職業


全 体
(n=1352)
0.0%
10.0%
20.0%
30.0%
農・林・漁業（農業・林業・漁業の自営者、家族従業者）
2.2%
（30人）
商・工・サービス業（小売店・飲食店・理髪店などの自営者、家族従業者）
7.9%
（107人）
自由業（開業医・弁護士・芸術家・茶華道の師匠などの自営者、家族従業者）
2.8%
（38人）
自営業
12.9%
（175人）
管理職（民間会社・官公庁の課長級以上）
4.2%
（57人）
事務職・専門技術職（事務職員・教員・技術者など）
15.3%
（207人）
技能職・労務職（技能工・販売店員・外交員など）
8.9%
（120人）
パートタイマー・アルバイト・フリーター・派遣・嘱託など
13.8%
（187人）
勤め人
42.2%
（571人）
専業主婦・主夫
10.1%
（137人）
学生・生徒
3.3%
（44人）
無職
23.2%
（313人）
その他
6.7%
（90人）
無回答
1.6%
（22人）

（４） 居住地域



市町村別回答者数

		市町村名	回答者数（人）	構成比（%）
中通り地方	県北地域	福島市	208	15.4
		二本松市	41	3.0
		伊達市	46	3.4
		本宮市	21	1.6
		桑折町	13	1.0
		川俣町	11	0.8
	県中地域	郡山市	226	16.7
		須賀川市	62	4.6
		田村市	19	1.4
		鏡石町	16	1.2
		天栄村	8	0.6
		平田村	10	0.7
		浅川町	9	0.7
		小野町	15	1.1
	県南地域	白河市	38	2.8
		中島村	10	0.7
		棚倉町	14	1.0
		矢祭町	12	0.9
		塙町	11	0.8
		鮫川村	8	0.6

		市町村名	回答者数（人）	構成比（%）
会津地方	会津地域	会津若松市	84	6.2
		喜多方市	28	2.1
		磐梯町	13	1.0
		柳津町	11	0.8
		三島町	14	1.0
		金山町	12	0.9
	A	檜枝岐村	3	0.2
		只見町	9	0.7
浜通り地方	相双地域	相馬市	26	1.9
		南相馬市	32	2.4
		広野町	14	1.0
		飯舘村	5	0.4
	B	いわき市	230	17.0
居住市町村別無回答			73	5.4
全　　体			1,352	100.0

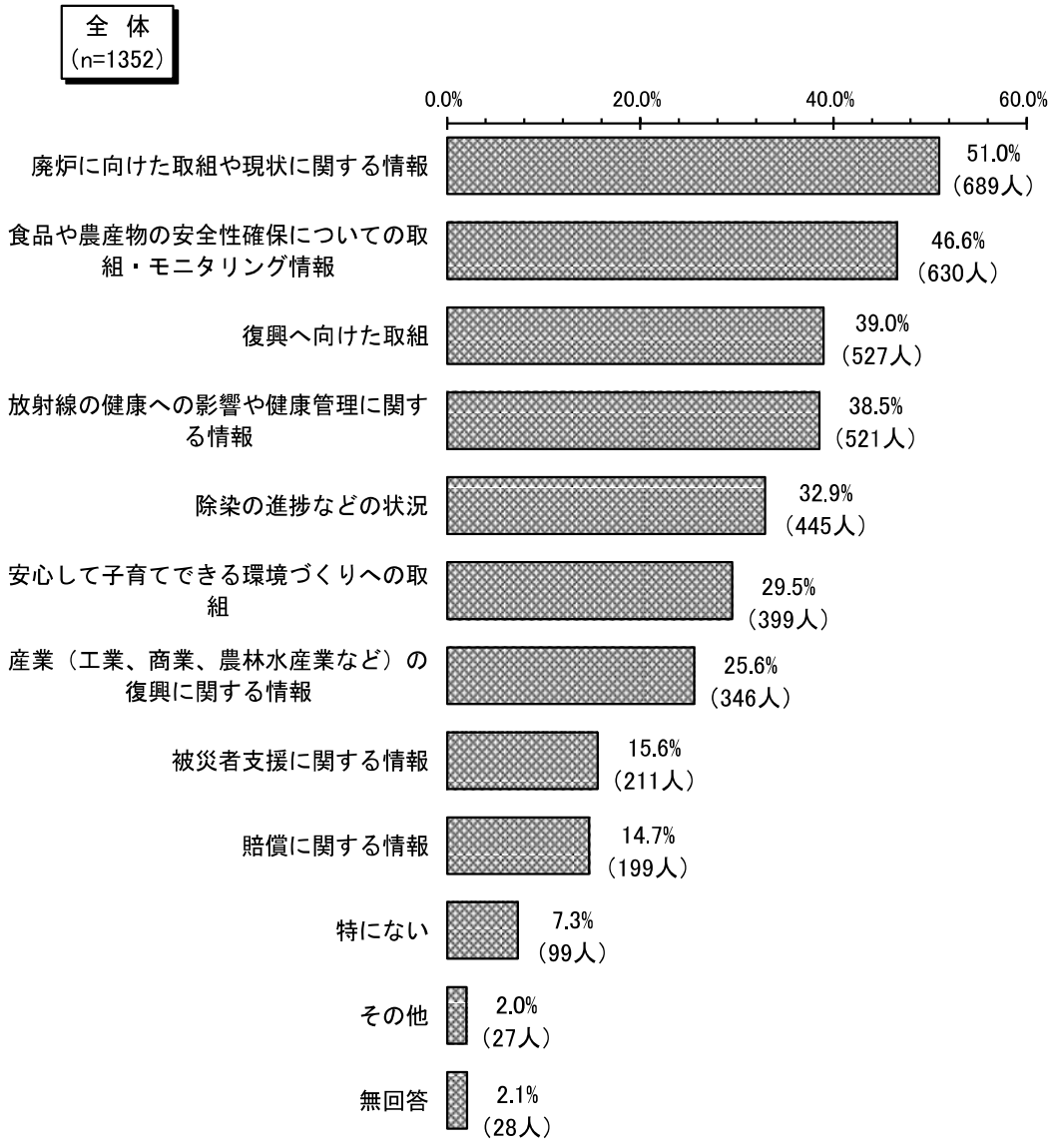
A 南会津地域
B いわき地域

Ⅱ　調査結果の解説

１.復興等に関する情報発信について

（１）震災・原発事故や復興について知りたい情報

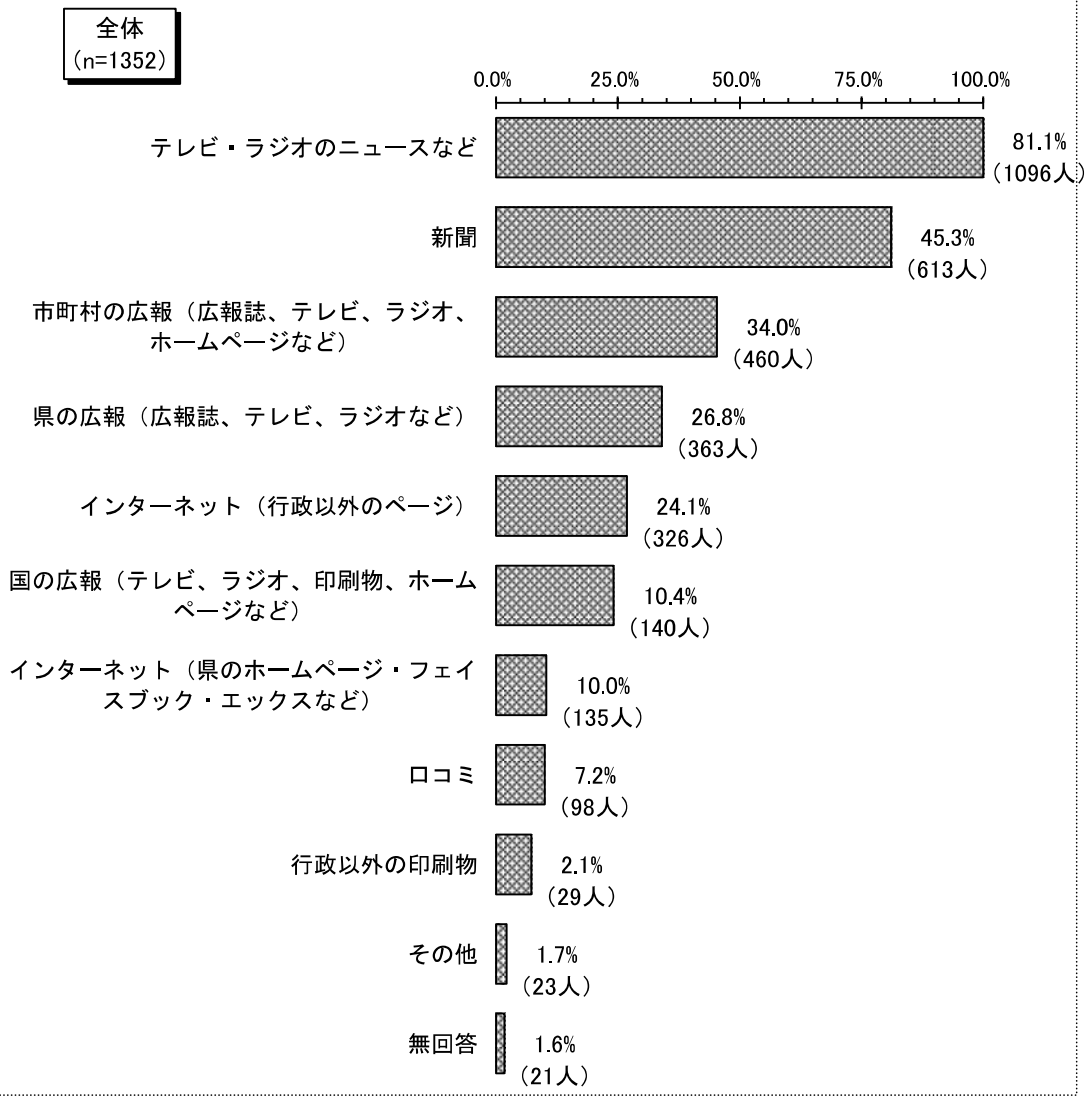
問１　震災・原発事故や復興について、あなたはどのような情報を知りたいですか。
あてはまるものにいくつでも○をつけてください。



震災・原発事故や復興について知りたい情報は、「廃炉に向けた取組や現状に関する情報」（51.0%）の割合が最も高く、約半数となっている。以下、「食品や農産物の安全性確保についての取組・モニタリング情報」（46.6%）、「復興へ向けた取組」（39.0%）、「放射線の健康への影響や健康管理に関する情報」（38.5%）、「除染の進捗などの状況」（32.9%）、「安心して子育てできる環境づくりへの取組」（29.5%）が続いている。

（２）復興状況や新しい取組に関する情報の入手先

問２　本県の復興の状況や新しい取組に関する情報については主に何で入手していますか。
あてはまるものにいくつでも○をつけてください。

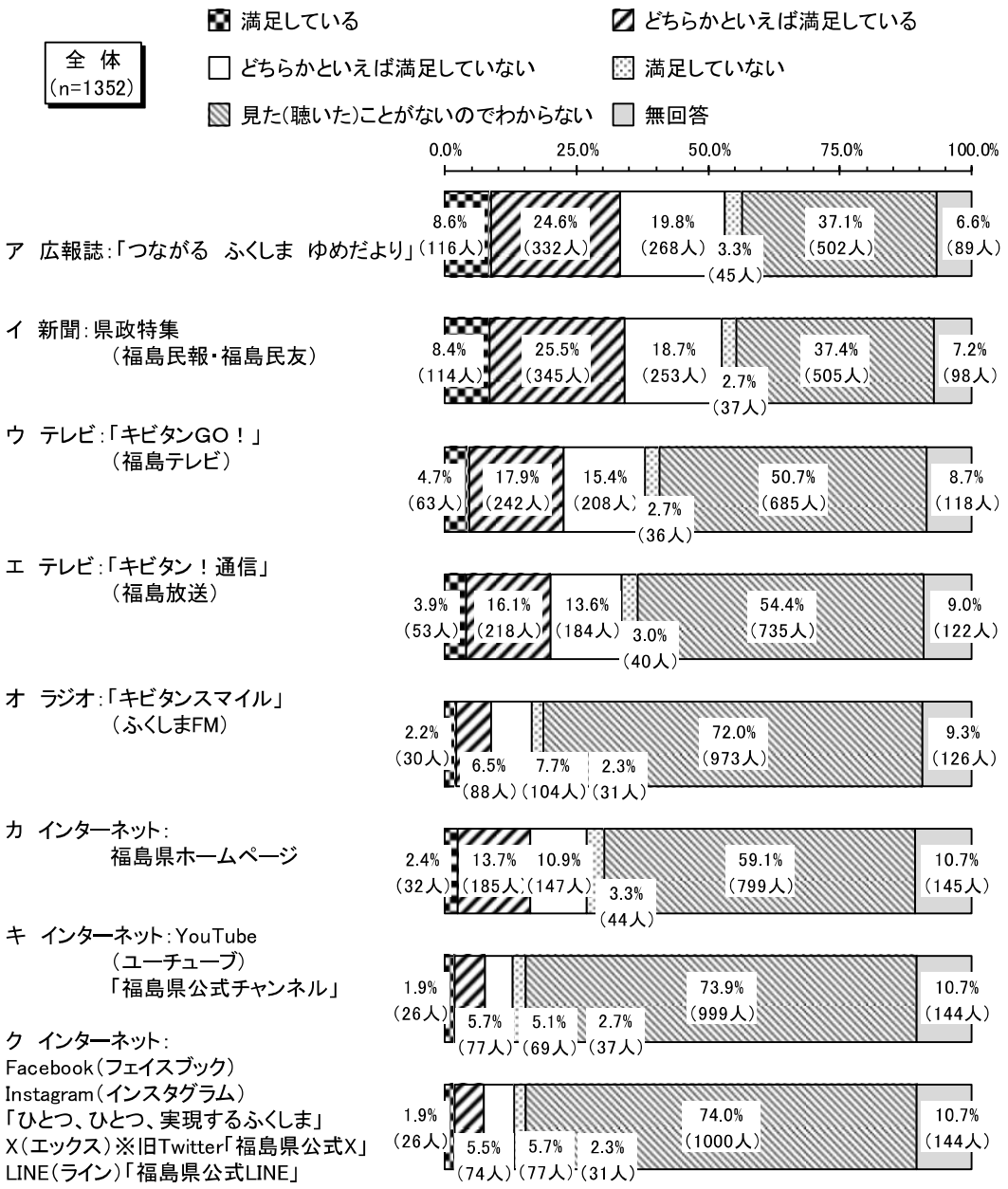


復興の状況や新しい取組に関する情報の入手先は、「テレビ・ラジオのニュースなど」（81.1%）が最も多く、８割強となっている。以下、「新聞」（45.3%）が４割半ば、「市町村の広報（広報誌、テレビ、ラジオ、ホームページなど）」（34.0%）が３割半ば、「県の広報（広報誌、テレビ、ラジオなど）」（26.8%）が２割半ばなどとなっている。

（３）福島県の広報活動についての満足度

問３　あなたは、県の広報活動に満足していますか。

ア～サについて、それぞれ１～５の中であてはまるもの １ つに○をつけてください。

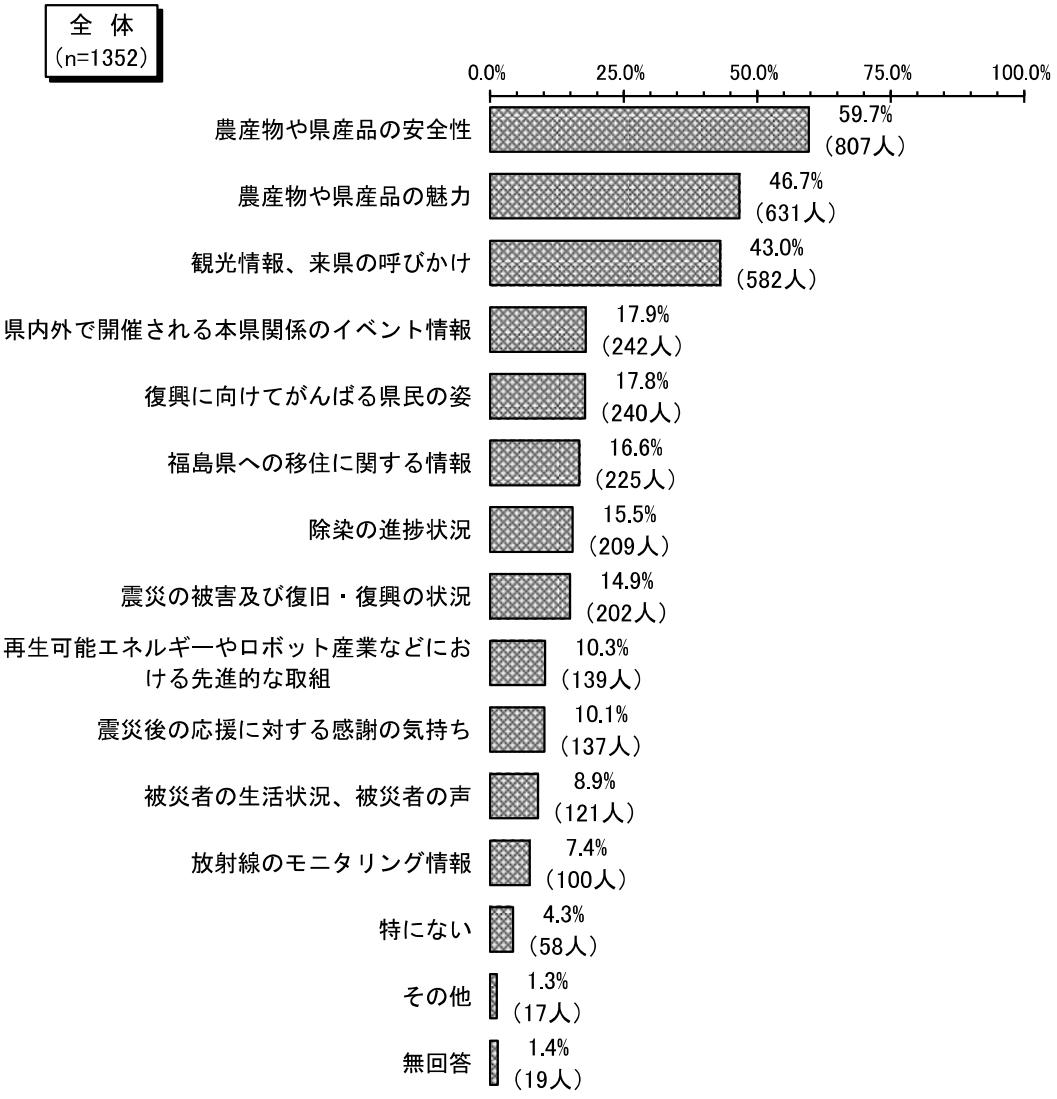


福島県の広報活動に「満足している」と「どちらかといえば満足している」を合わせた『満足している』計の割合をみると、〈イ　新聞「県政特集（福島民報・福島民友）」〉（33.9％）と〈ア　広報誌「つながる　ふくしま　ゆめだより」〉（33.1％）が３割台で高くなっている。以下、〈ウ　テレビ「キビタンGO！！」（福島テレビ）〉（22.6％）、〈エ　テレビ「キビタン！通信」（福島放送）〉（20.0％）、〈カ　インターネット「福島県ホームページ」〉（16.1％）などとなっている。

一方、「満足していない」と「どちらかといえば満足していない」を合わせた『満足していない』計の割合は、〈ア　広報誌「つながる　ふくしま　ゆめだより」〉（23.2％）が２割を超えて最も高くなっている。次いで、〈イ　新聞「県政特集（福島民報・福島民友）」〉（21.4％）、〈ウ　テレビ「キビタンGO！！」（福島テレビ）〉（18.0％）、〈エ　テレビ「キビタン！通信」（福島放送）〉（16.6％）、〈カ　インターネット「福島県ホームページ」〉（14.1％）などとなっている。

（４）福島県の現状について県外に伝えたいこと

問４　あなたは、県外の方に、福島県のどのようなことを伝えるべきだと思いますか。
あてはまるもの３つまで○をつけてください。

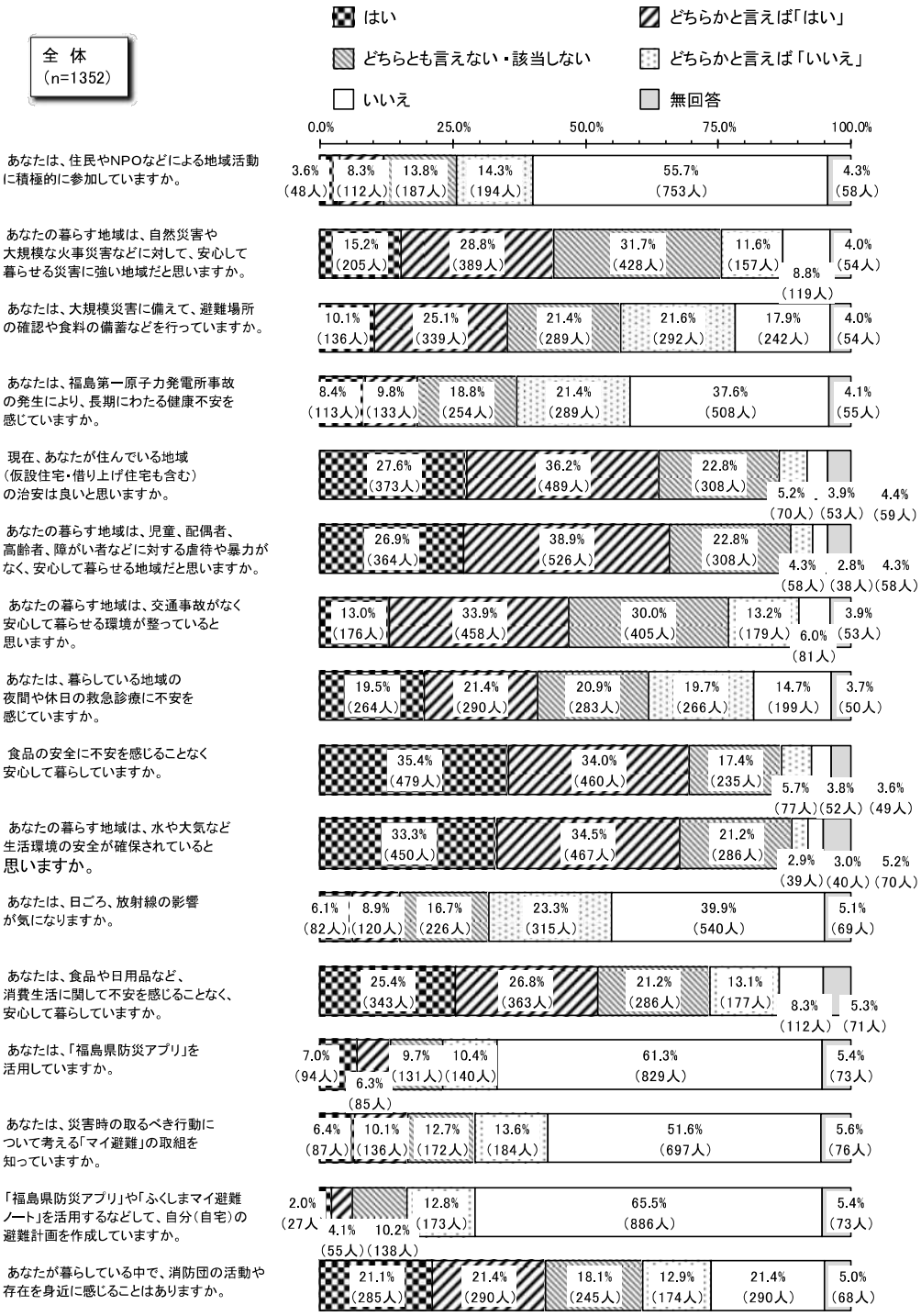


福島県の現状について県外に伝えるべきことは、「農産物や県産品の安全性」（59.7%）が最も多く、約６割となっている。以下、「農産物や県産品の魅力」（46.7%）、「観光情報、来県の呼びかけ」（43.0%）が４割台などとなっている。

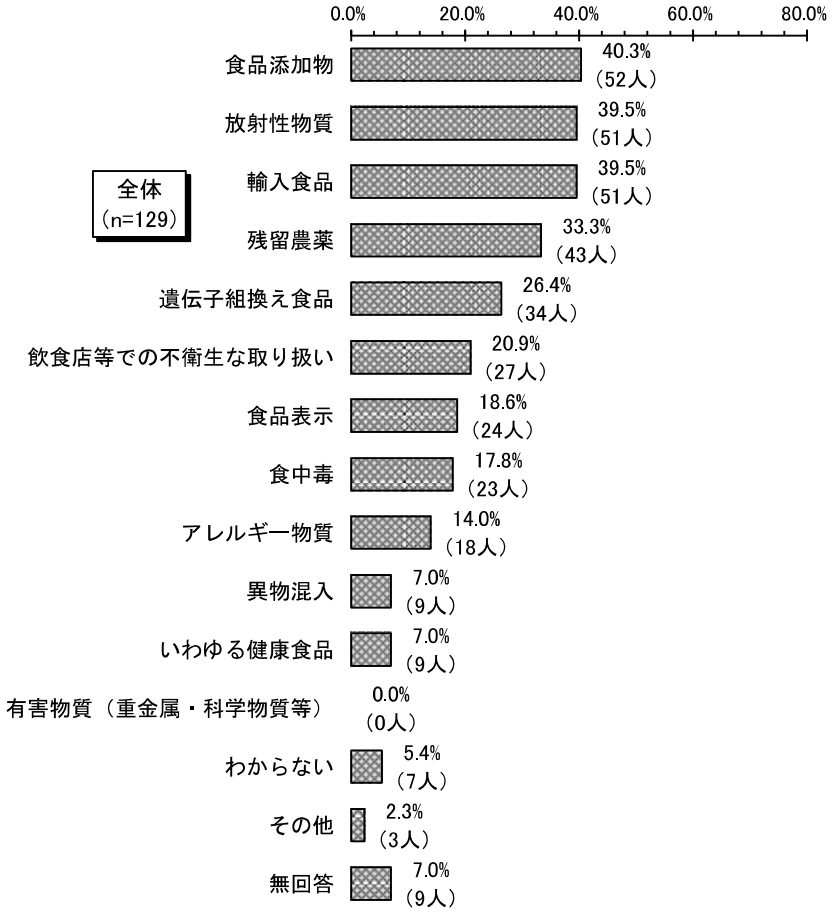
２.安全で安心な県づくりについて

（１）地域の安全・安心についての評価

問５　次にあげたア～チの項目について、あなたは現状をどのように感じていますか。
それぞれ１～５の中であてはまるもの１つに○をつけてください。



コ　ケで「いいえ」と回答した理由について、あてはまる要因にいくつでも〇をつけてください。



「はい」と回答した人の割合をみると、〈ケ　毎日の食生活における食品の安全〉(35.4%)が最も高くなっている。以下、〈サ　水や大気など生活環境の安全〉(33.3%)、〈オ　現在住んでいる地域の治安〉(27.6%)、〈カ　虐待や暴力がなく安心して暮らせる地域〉(26.9%)などとなっている。

「はい」と「どちらかと言えば『はい』」を合わせた『はい』計の割合は、〈ケ　毎日の食生活における食品の安全〉(69.4%)が最も高く、約７割を占めている。以下、〈サ　水や大気など生活環境の安全〉(67.8%)、〈カ　虐待や暴力がなく安心して暮らせる地域〉(65.8%)、〈オ　現在住んでいる地域の治安〉(63.8%)が６割台で続いている。

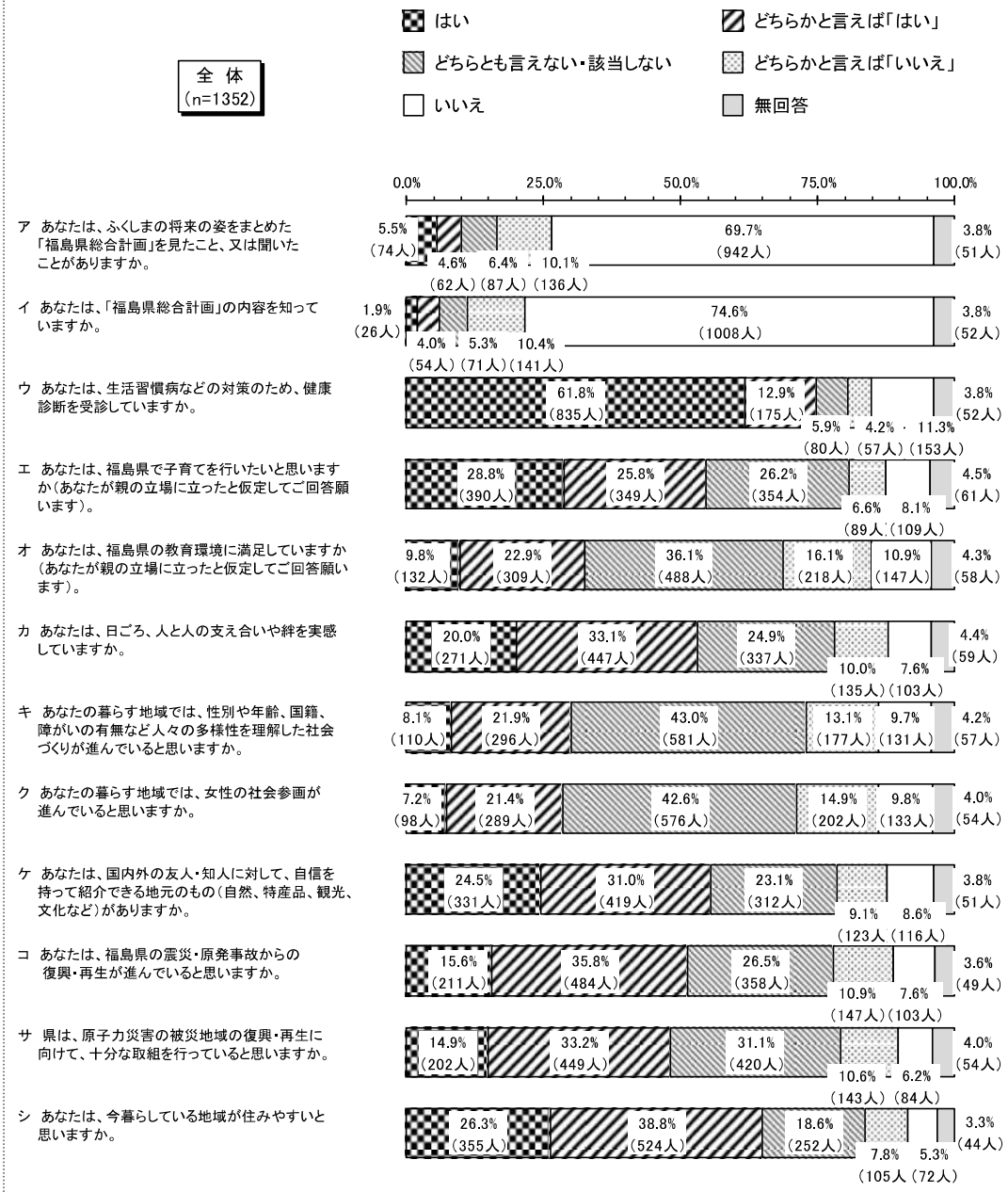
一方、「いいえ」と「どちらかと言えば『いいえ』」を合わせた『いいえ』計の割合は、〈タ　自宅の避難計画の作成〉(78.3%)が最も高く、８割弱を占めている。以下、〈セ　福島県防災アプリの活用〉(71.7%)、〈ア　地域活動への積極的な参加〉(70.0%)が約７割、〈ソ　「マイ避難」の取組の認知〉(65.2%)などとなっている。

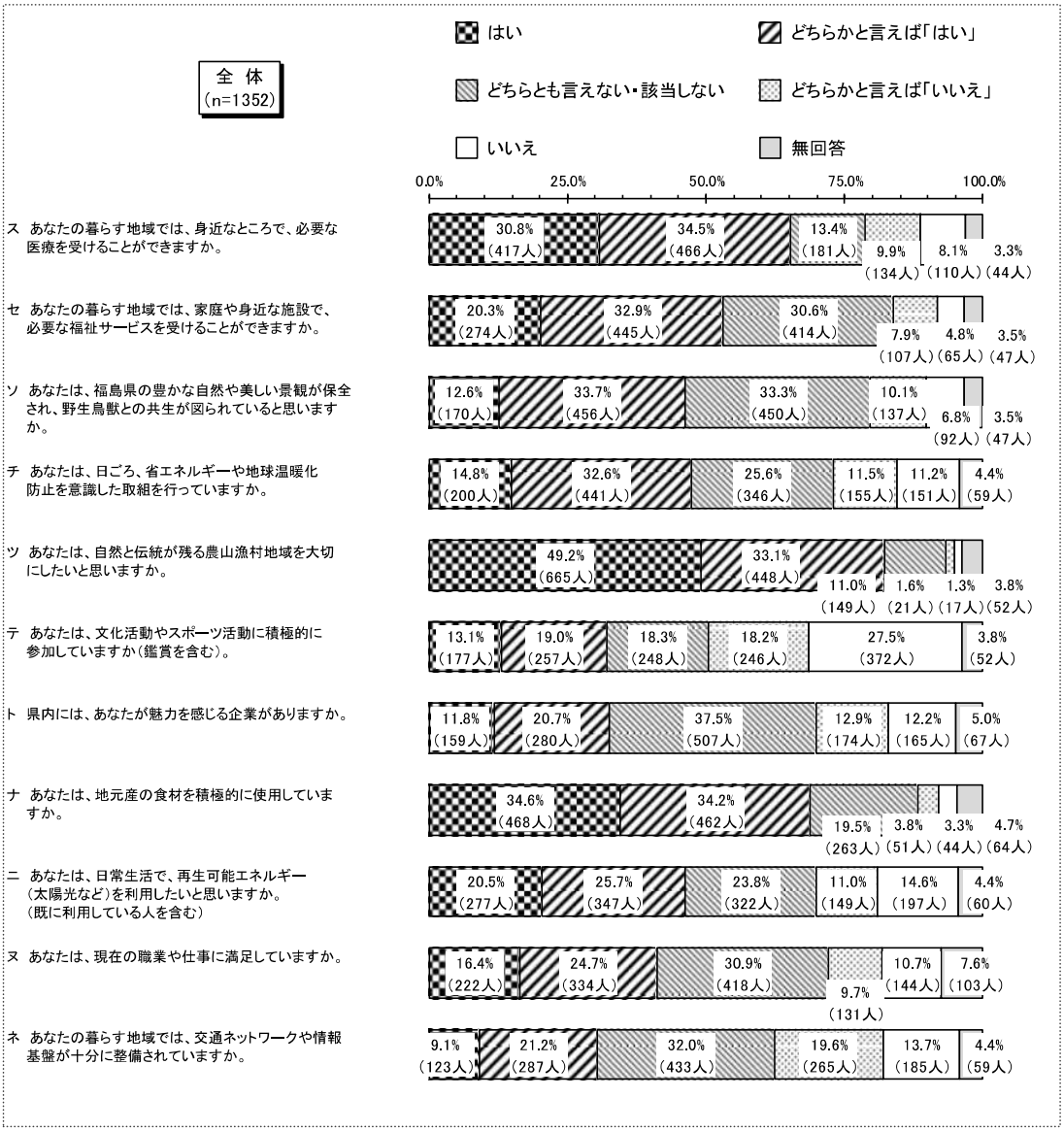
ケの回答で「どちらかと言えば『いいえ』」もしくは「いいえ」を回答された方に理由を聞いたところ、「食品添加物」(40.3%)が最も高く、以下、「放射性物質」、「輸入食品」(ともに39.5%)、「残留農薬」(33.3%)が続いている。

３．福島県の総合計画について

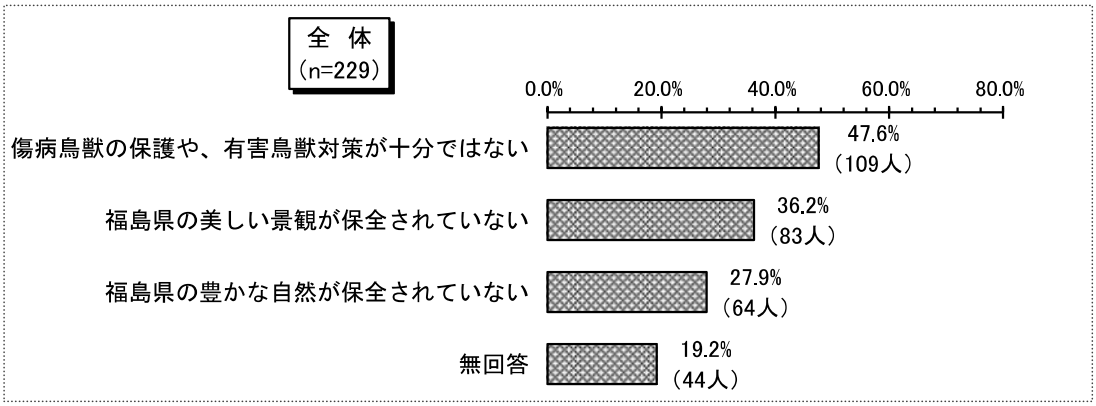
（１）福島県の現状についての評価

問６　次にあげたア～ネの項目について、あなたは現状をどのように感じていますか。
それぞれ１～５の中であてはまるもの１つに○をつけてください。





タ （ソで「どちらかといえば『いいえ』」または「いいえ」と回答した方にお尋ねします。）
ソで「いいえ」と回答した理由について、あてはまるものにいくつでも○をつけてください。



「はい」と回答した人の割合は、〈ウ　あなたは、生活習慣病などの対策のため、健康診断を受診していますか。〉（61.8％）が最も高く、６割強となっている。次いで、〈ツ　あなたは、自然と伝統が残る農山漁村地域を大切にしたいと思いますか。〉（49.2％）が約５割、〈ナ　あなたは、地元産の食材を積極的に使用していますか。〉（34.6％）、〈ス　あなたの暮らす地域では、身近なところで、必要な医療を受けることができますか。〉（30.8％）などとなっている。

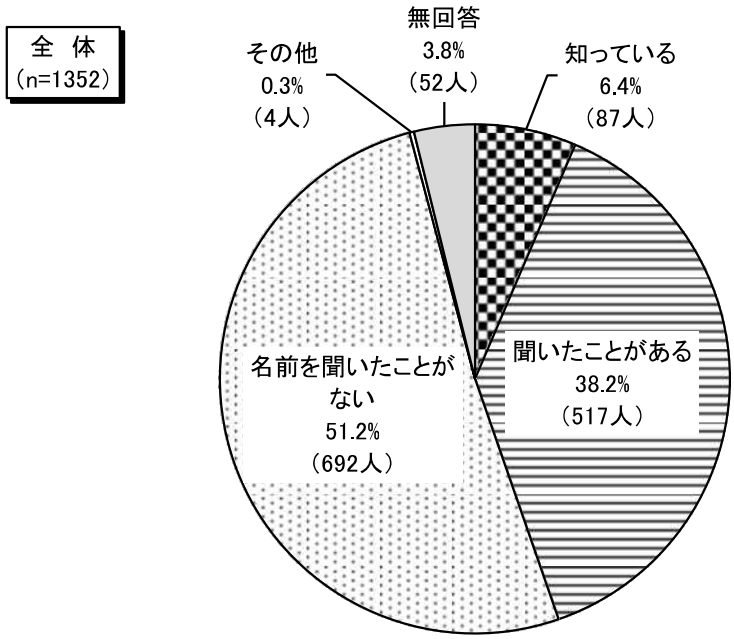
「はい」と「どちらかと言えば“はい”」を合わせた『はい』計の割合をみると、〈ツ　あなたは、自然と伝統が残る農山漁村地域を大切にしたいと思いますか。〉（82.3％）が最も高く、８割強となっている。以下、〈ウ　あなたは、生活習慣病などの対策のため、健康診断を受診していますか。〉（74.7％）が７割台、〈ナ　あなたは、地元産の食材を積極的に使用していますか。〉（68.8％）、〈ス　あなたの暮らす地域では、身近なところで、必要な医療を受けることができますか。〉（65.3％）、〈シ　あなたは、今暮らしている地域が住みやすいと思いますか。〉（65.0％）が６割台、〈ケ　あなたは、国内外の友人・知人に対して、自信を持って紹介できる地元のものがありますか。〉（55.5％）、〈エ　あなたは、福島県で子育てを行いたいと思いますか。〉（54.7％）、〈セ　あなたの暮らす地域では、家庭や身近な施設で、必要な福祉サービスを受けることができますか。〉（53.2％）、〈カ　あなたは、日ごろ、人と人の支え合いや絆を実感していますか。〉（53.1％）、〈コ　あなたは、福島県の震災・原発事故からの復興・再生が進んでいると思いますか。〉（51.4％）が５割台となっている。

一方、「いいえ」と「どちらかと言えば“いいえ”」を合わせた『いいえ』計の割合は、〈イ　あなたは、「福島県総合計画」の内容を知っていますか。〉（85.0％）、〈ア　あなたは、ふくしまの将来の姿をまとめた「福島県総合計画」を見たこと、又は聞いたことがありますか。〉（79.7％）が高く、約８割となっている。以下、〈テ　あなたは、文化活動やスポーツ活動に積極的に参加していますか（鑑賞を含む）。〉（45.7％）、〈ネ　あなたの暮らす地域では、交通ネットワークや情報基盤が十分に整備されていますか。〉（33.3％）、〈オ　あなたは、福島県の教育環境に満足していますか。〉（27.0％）、〈ニ　あなたは、日常生活で、再生可能エネルギーを利用したいと思いますか。〉（25.6％）などとなっている。また、〈ソ　あなたは、福島県の豊かな自然や美しい景観が保全され、野生鳥獣との共生が図られていると思いますか。〉で『いいえ』と回答した理由について、「傷病鳥獣の保護や、有害鳥獣対策が十分ではない」（47.6％）の割合が最も高くなっている。以下、「福島県の美しい景観が保全されていない」（36.2％）、「福島県の豊かな自然が保全されていない」（27.9％）となっている。

４.チャレンジふくしま県民運動について

（１）チャレンジふくしま県民運動の認知状況

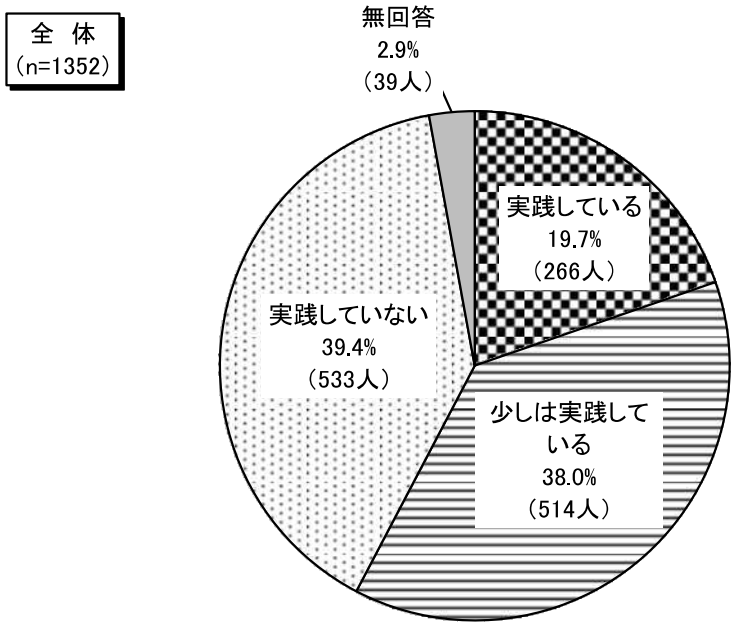
問７　「チャレンジふくしま県民運動」について、最もあてはまるもの１つに○をつけてください。



チャレンジふくしま県民運動の認知状況については、「名前を聞いたことがない」(51.2%)が５割強を占めている。一方、「知っている」(6.4%)と「聞いたことがある」(38.2%)を合わせると４割半ばの人に認知されている。

（２）心身の健康づくりの実践状況

問８　例えば、減塩、ウォーキング（ウォークビズ※含む）など軽い運動、サークル活動のような心身の健康づくりを最近行っていますか。
最もあてはまるもの１つに○をつけてください。



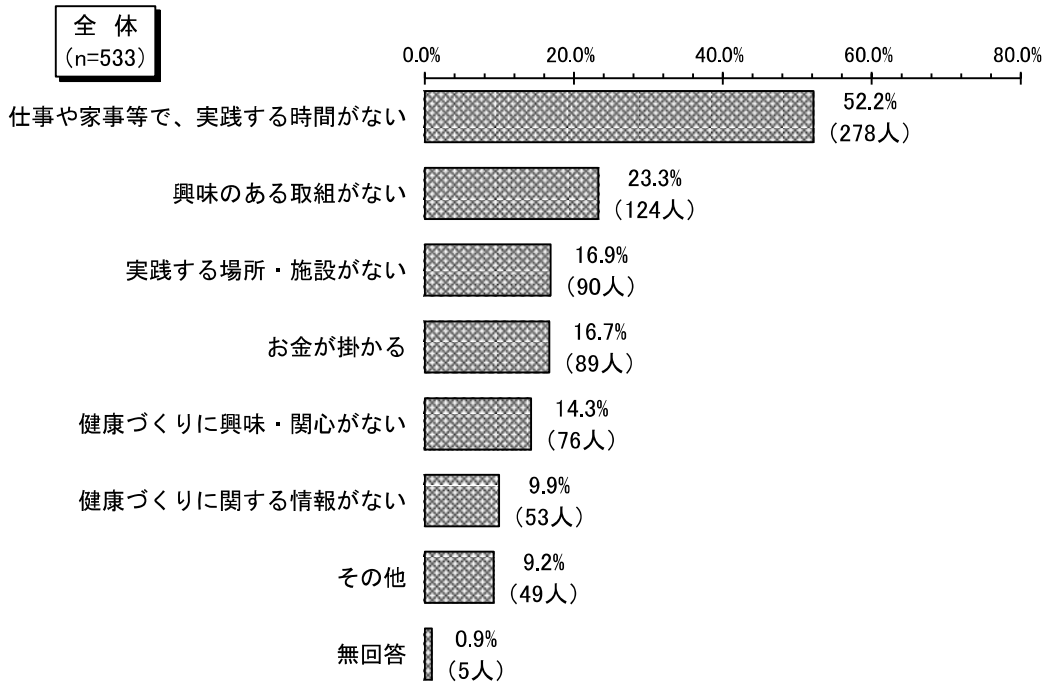
※【参考】ウォークビズとは
健康づくりのため、歩きやすい靴や服装で通勤・勤務すること。

心身の健康づくりの実践状況については、「実践している」（19.7%）と「少しは実践している」（38.0%）を合わせると半数以上の人が何らかの健康づくりを実践しており、「実践していない」（39.4%）は約４割となった。

（３）心身の健康づくりを実践していない理由

（問８で「３　実践していない」と回答した方にお尋ねします。）

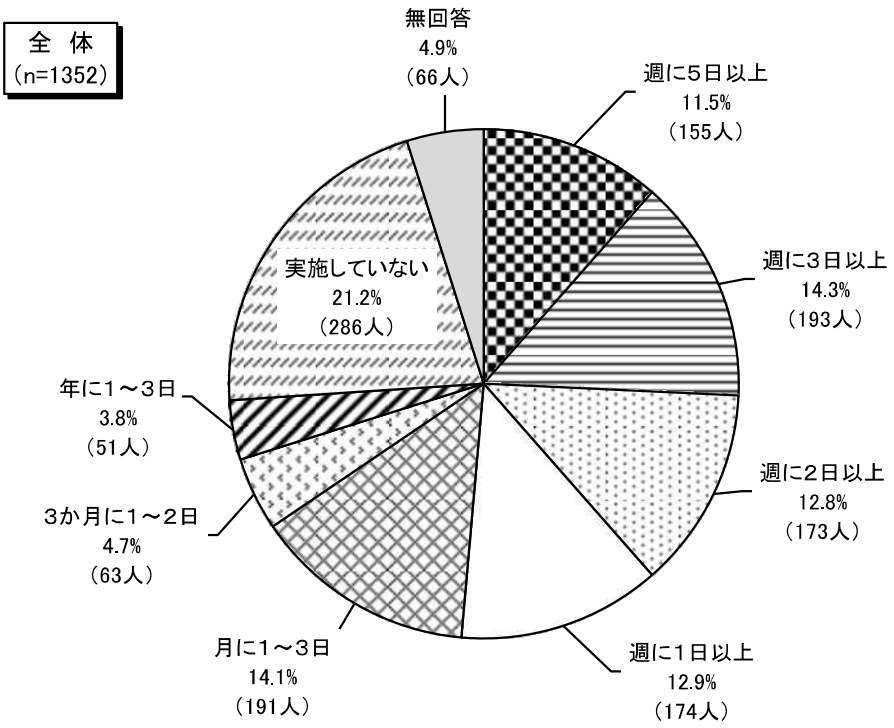
問９　健康づくりを実践していない理由について、
あてはまるものにいくつでも○を付けてください。



心身の健康づくりを実践していない理由は、「仕事や家事等で、実践する時間がない」（52.2%）が最も多く、５割強となっている。以下、「興味のある取組がない」（23.3%）「実践する場所・施設がない」（16.9%）、「お金が掛かる」（16.7%）、「健康づくりに興味・関心がない」（14.3%）が続いている。

（４）心身の健康づくりの実践頻度

問 10　あなたは、この１年間にどの程度の頻度で運動（ウォーキング等の軽い運動含む）やスポーツを実施されましたか。
最もあてはまるもの１つに○をつけてください。



心身の健康づくりの実践頻度については、「週に３日以上」（14.3%）が最も高く、次いで、「月に１～３日」（14.1%）、「週に１日以上」（12.9%）、「週に２日以上」（12.8%）などとなっている。週に１日以上実施している人の合計（51.5%）は５割を超えている。

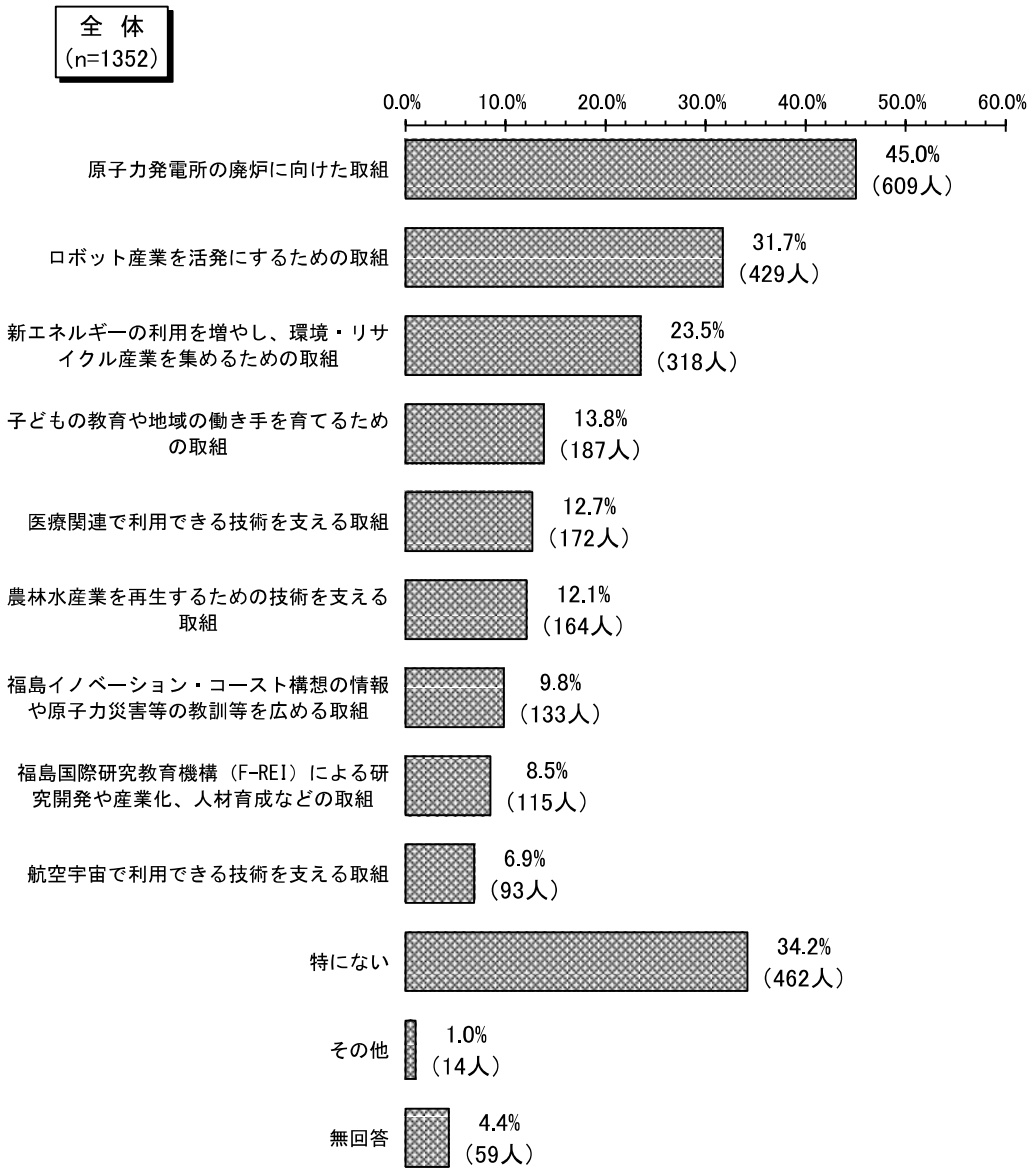
一方、「実施していない」（21.2%）の割合は２割強となっている。

５.福島イノベーション・コースト構想について

（１）福島イノベーション・コースト構想※について知っている取組



問 11　福島イノベーション・コースト構想について、あなたはどのような取組を知っていますか。
あてはまるものにいくつでも○をつけてください。

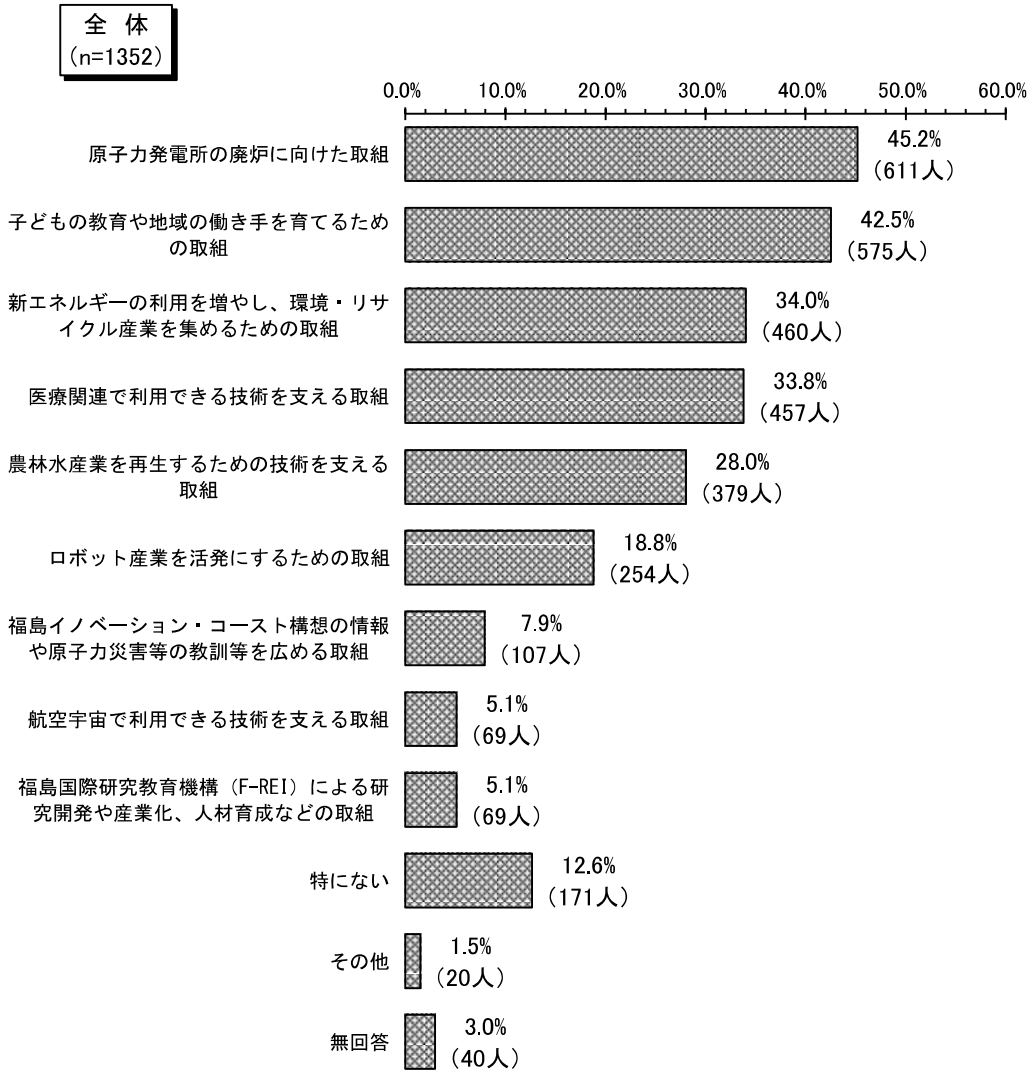


福島イノベーション・コースト構想について知っている取組は、「原子力発電所の廃炉に向けた取組」（45.0%）が最も多くなっている。以下、「ロボット産業を活発にするための取組」（31.7%）が３割台、「新エネルギーの利用を増やし、環境・リサイクル産業を集めるための取組」（23.5%）が２割台、「子どもの教育や地域の働き手を育てるための取組」（13.8%）などとなっている。

一方、「特にない」（34.2%）の割合は３割半ばとなっている。

（２）福島イノベーション・コースト構想を推進するため、県に強化してほしい取組

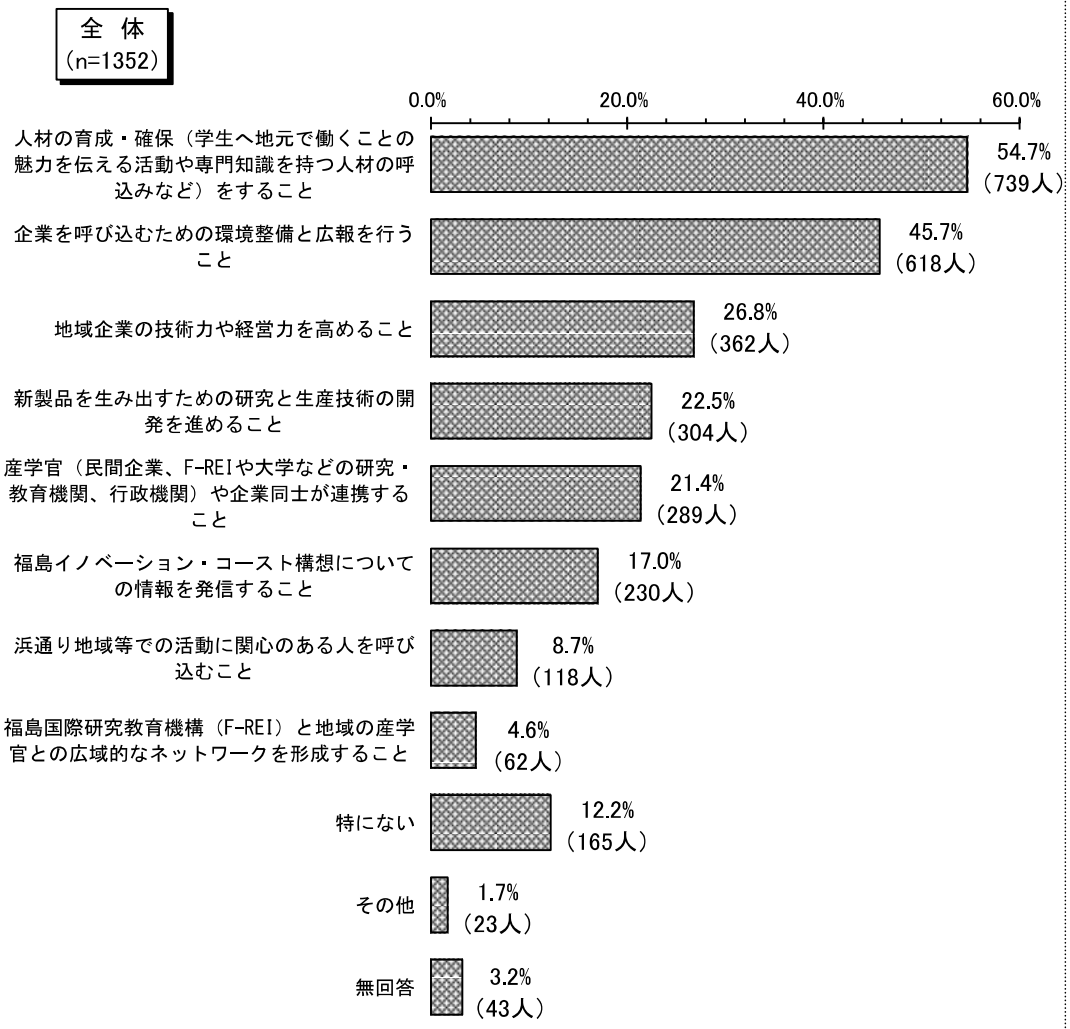
問 12　今後、福島イノベーション・コースト構想を進めていくために、県はどのような分野の取組を強化していけばよいと考えますか。あてはまるもの３つまで○をつけてください。



福島イノベーション・コースト構想を推進するため、県に強化してほしい取組については、「原子力発電所の廃炉に向けた取組」（45.2%）と「子どもの教育や地域の働き手を育てるための取組」（42.5%）が多く、４割台となっている。以下、「新エネルギーの利用を増やし、環境・リサイクル産業を集めるための取組」（34.0%）と「医療関連で利用できる技術を支える取組」（33.8%）が３割台、「農林水産業を再生するための技術を支える取組」（28.0%）が３割弱などとなっている。

（３）福島イノベーション・コースト構想の効果をもたらすための施策

問 13　今後、これらの取組をさらに進めるとともに、その効果がより地域の皆さんに届くようにするためには、どのような施策がよいと考えますか。
あてはまるもの３つまで○をつけてください。

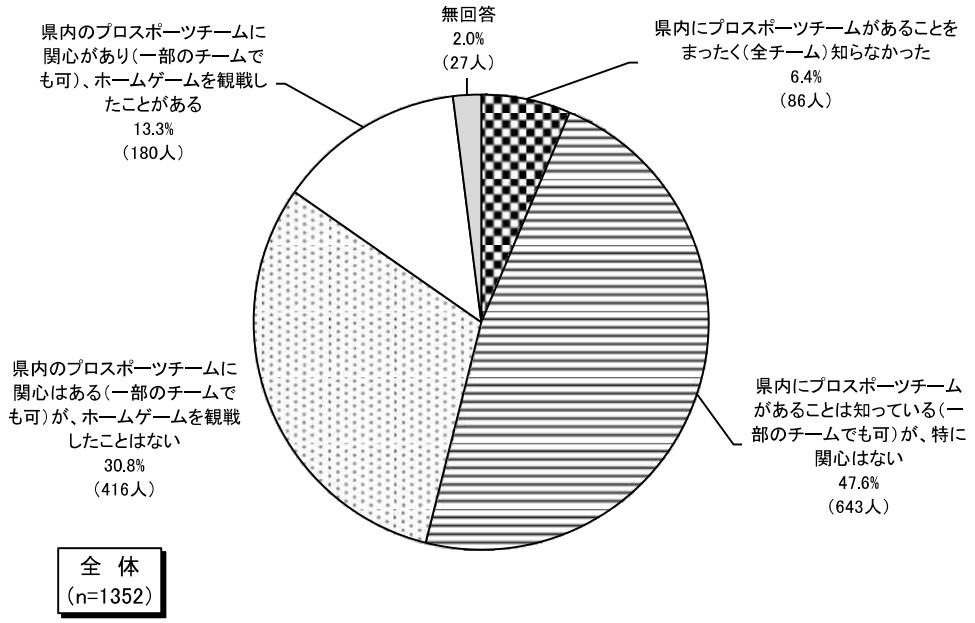


福島イノベーション・コースト構想の効果をもたらすための施策については、「人材の育成・確保（学生へ地元で働くことの魅力を伝える活動や専門知識を持つ人材の呼込みなど）をすること」（54.7%）が最も多く、５割半ばとなっている。以下、「企業を呼び込むための環境整備と広報を行うこと」（45.7%）が４割台、「地域企業の技術力や経営力を高めること」（26.8%）、「新製品を生み出すための研究と生産技術の開発を進めること」（22.5%）、「産学官や企業同士が連携すること」（21.4%）が２割台などとなっている。

６.県内のプロスポーツチームについて

（１）県内のプロスポーツチームへの関心

問 14　県内のプロスポーツチームについて伺います。
あてはまるもの１つに○をつけてください。

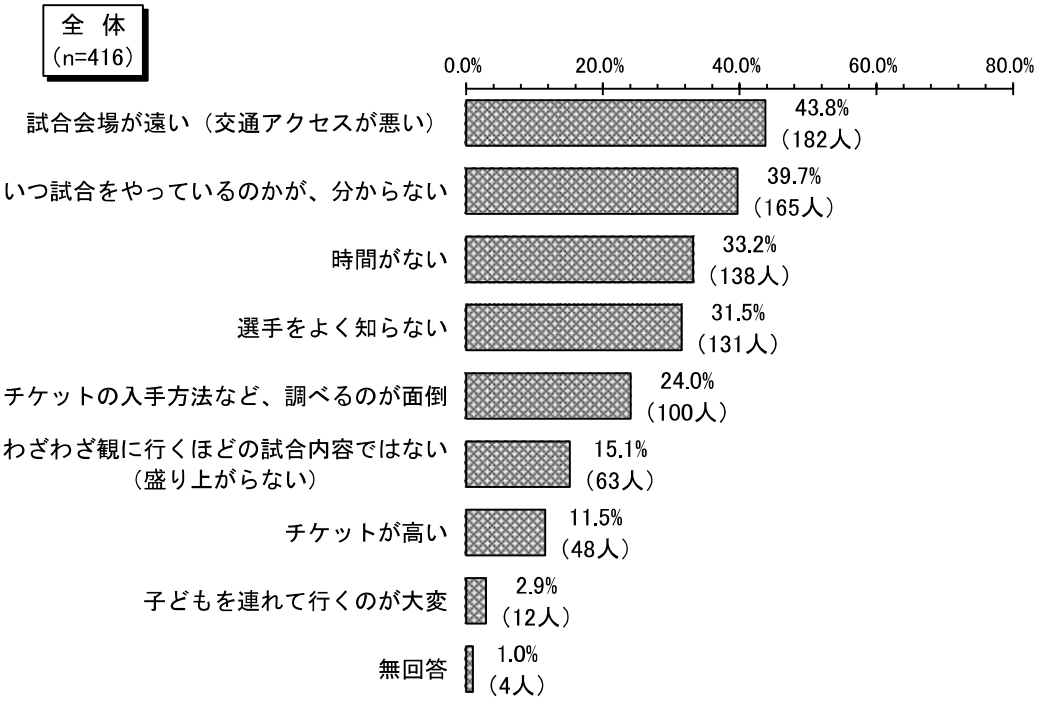


県内のプロスポーツチームへの関心は、「県内にプロスポーツチームがあることをまったく（全チーム）知らなかった」（6.4%）と「県内にプロスポーツチームがあることは知っている（一部のチームでも可）が、特に関心はない」（47.6%）を合わせた『関心がない』の割合が 53.9%と、５割半ばを占めている。
一方、「県内のプロスポーツチームに関心はある（一部のチームでも可）が、ホームゲームを観戦したことはない」（30.8%）が約３割、「県内のプロスポーツチームに関心があり（一部のチームでも可）、ホームゲームを観戦したことがある」（13.3%）が１割強となっており、両者を合わせた『関心がある』の割合は 44.1%となっている。

（２）試合を現地で観戦しない理由

（問 14 で「３」と回答した方にお尋ねします。）

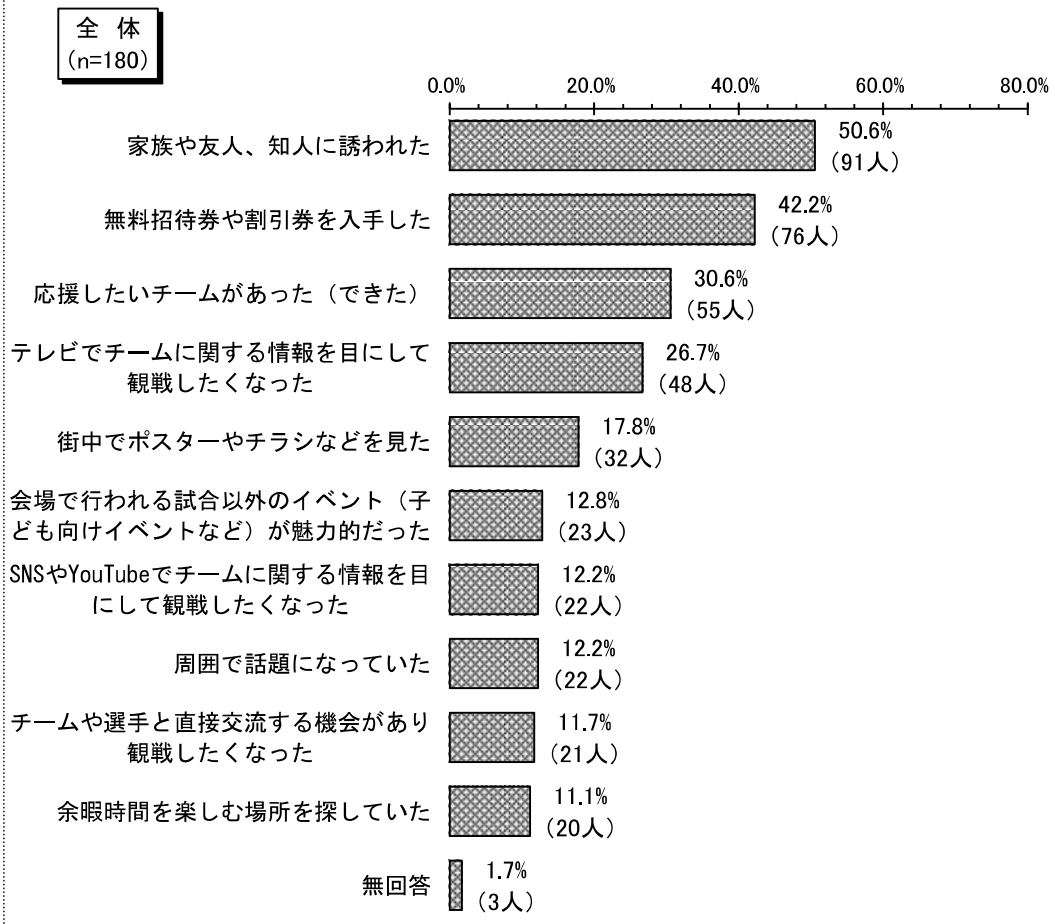
問 15　試合を現地で観戦しない理由を教えてください。



試合を現地で観戦しない理由は、「試合会場が遠い（交通アクセスが悪い）」（43.8％）が最も多く、４割強となっている。以下、「いつ試合をやっているのかが、分からない」（39.7％）が約４割、「時間がない」（33.2％）、「選手をよく知らない」（31.5％）が３割以上となっている。

（３）試合を現地で観戦した理由

（問 14 で「４」と回答した方にお尋ねします。）



試合を現地で観戦した理由は、「家族や友人、知人に誘われた」（50.6%）が最も多く、約５割となっている。以下、「無料招待券や割引券を入手した」（42.2%）が４割台、「応援したいチームがあった（できた）」（30.6%）が約３割、「テレビでチームに関する情報を目にして観戦したくなった」（26.7%）が２割半ばなどとなっている。

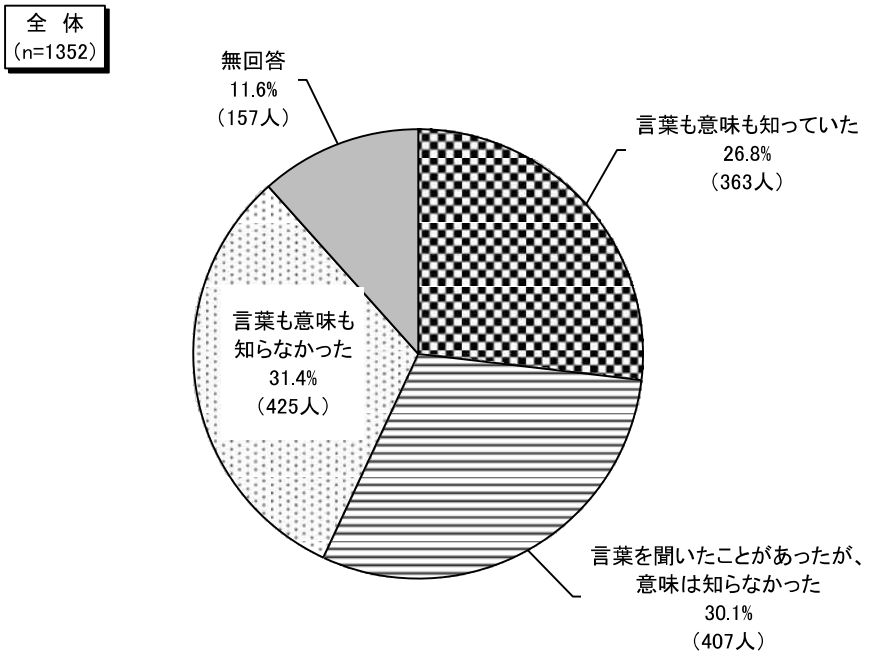
７.生物多様性について

（１）生物多様性の認知状況

問 17　あなたは次のア～ウの言葉について知っていましたか。

選択肢 1～3 の中でそれぞれあてはまるもの 1 つに○をつけてください。

ア　生物多様性



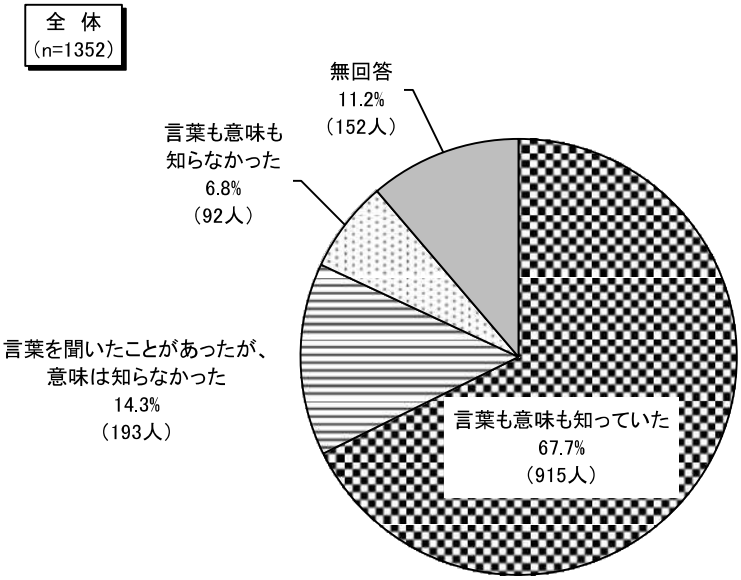
認知度については、「言葉も意味も知っていた」（26.8%）と「言葉を聞いたことがあったが、意味は知らなかった」（30.1%）を合わせた『言葉を知っていた』人の割合は 56.9%となり、５割半ばを占めている。

一方、「言葉も意味も知らなかった」（31.4%）の割合は３割強を占めている。

問 17　あなたは次のア～ウの言葉について知っていましたか。

選択肢 1～3 の中でそれぞれあてはまるもの 1 つに○をつけてください。

イ　外来生物



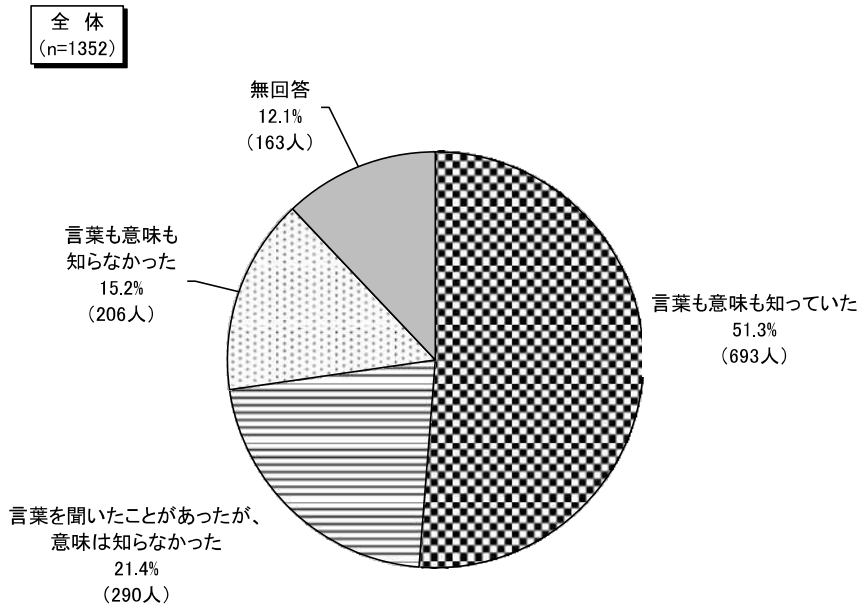
認知度については、「言葉も意味も知っていた」(67.7%) と「言葉を聞いたことがあったが、意味は知らなかった」(14.3%) を合わせた『言葉を知っていた』人の割合は 82.0%となり、８割強を占めている。

一方、「言葉も意味も知らなかった」(6.8%) の割合は１割未満となっている。

問 17　あなたは次のア～ウの言葉について知っていましたか。

選択肢 1～3 の中でそれぞれあてはまるもの 1 つに○をつけてください。

ウ　希少野生動植物

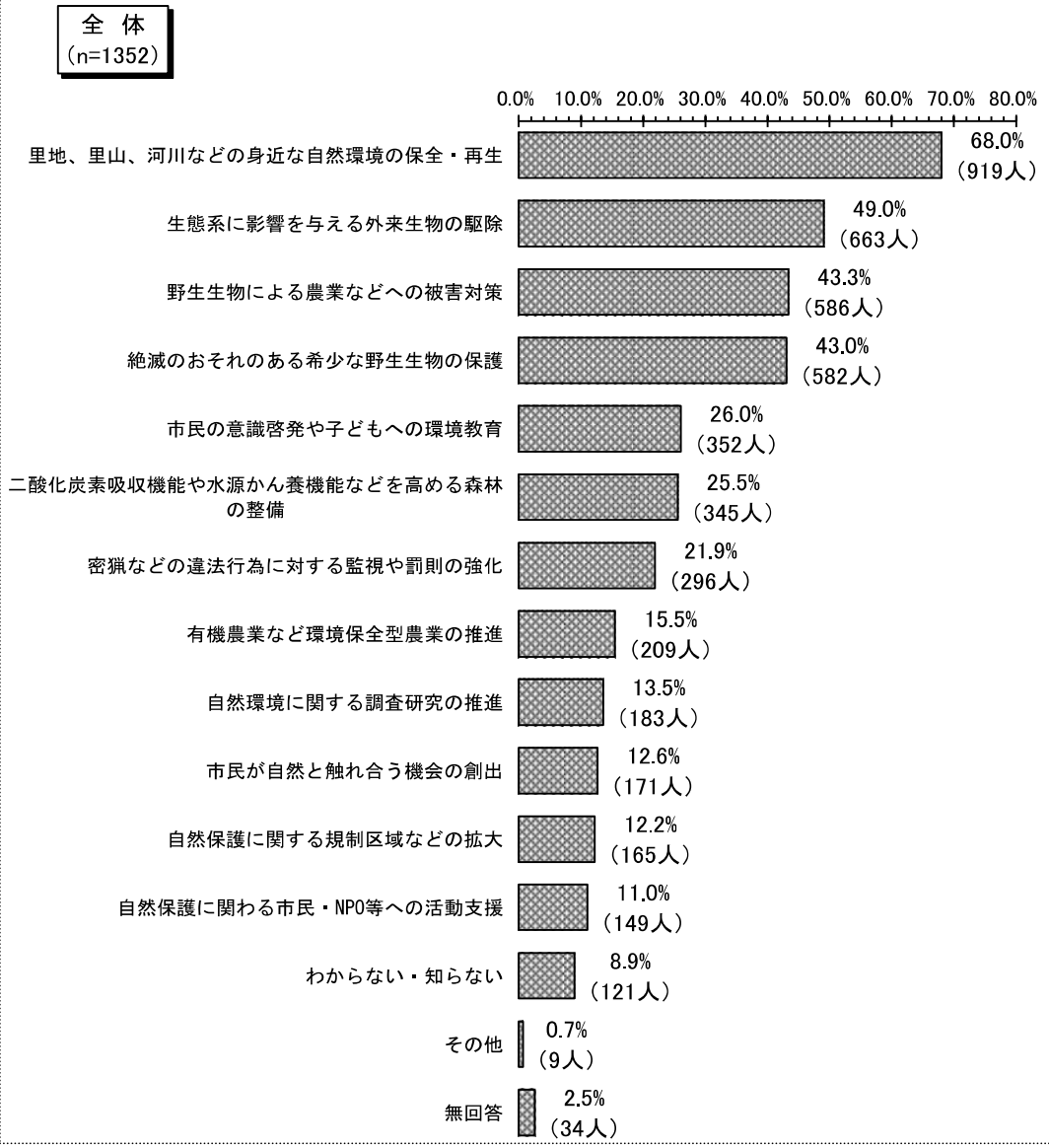


認知度については、「言葉も意味も知っていた」(51.3%) と「言葉を聞いたことがあったが、意味は知らなかった」(21.4%) を合わせた『言葉を知っていた』人の割合は 72.7%となり、７割強を占めている。

一方、「言葉も意味も知らなかった」(15.2%) の割合は１割半ばとなっている。

（２）生態系サービスを得るための行政の取組

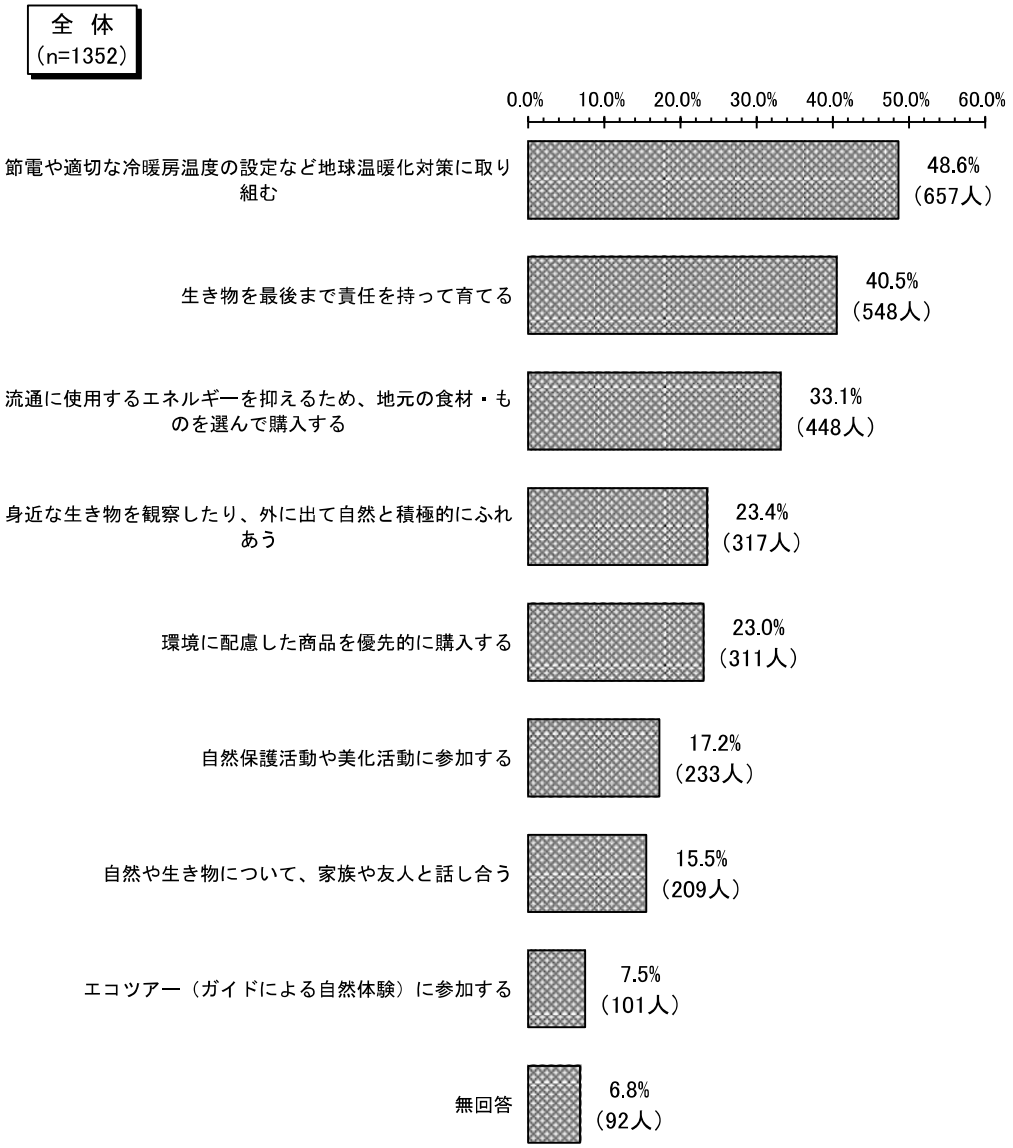
問 18　生物多様性の保全や、それによる生態系からの豊かな恵み（生態系サービス）を得るための行政の取組として最も重要だと思うことはどれですか。あてはまるものにいくつでも○をつけてください。



自然環境の保全・再生に必要な取組については、「里地、里山、河川などの身近な自然環境の保全・再生」（68.0%）が最も多く、約７割となっている。以下、「生態系に影響を与える外来生物の駆除」（49.0%）が約５割、「野生生物による農業などへの被害対策」（43.3%）、「絶滅のおそれのある希少な野生生物の保護」（43.0%）が４割台、「市民の意識啓発や子どもへの環境教育」（26.0%）、「二酸化炭素吸収機能や水源かん養機能などを高める森林の整備」（25.5%）が２割半ばなどとなっている。

（３）生物多様性に配慮したライフスタイル

問 19　あなたは、生物多様性に配慮したライフスタイルとして、既に取り組んでいる、または取り組んでみたいと思うことはありますか。あてはまるものにいくつでも○をつけてください。

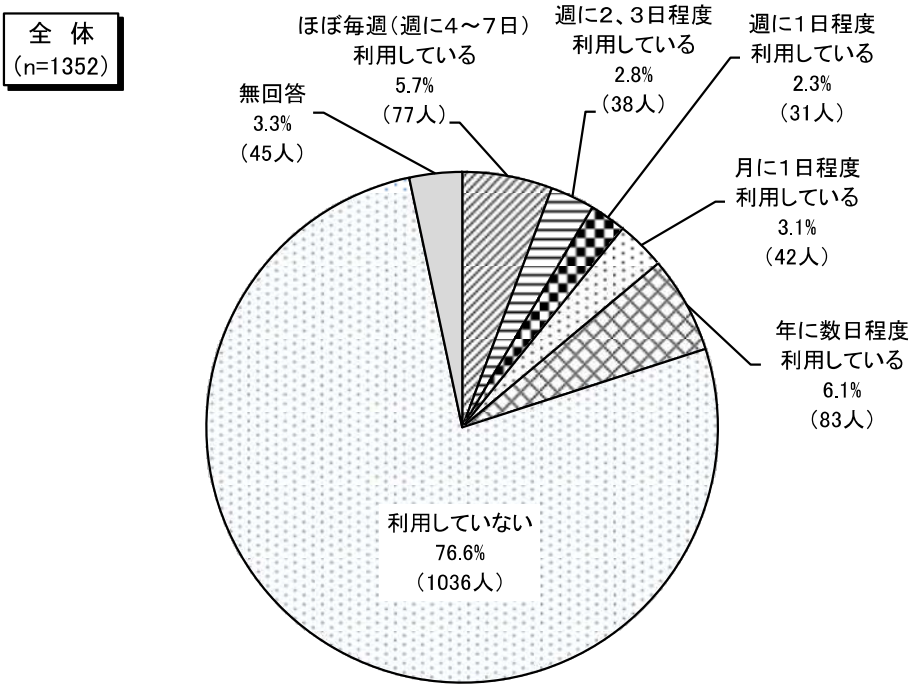


自然環境の保全に関する取組については、「節電や適切な冷暖房温度の設定など地球温暖化対策に取り組む」（48.6%）が最も多く、５割弱となっている。以下、「生き物を最後まで責任を持って育てる」（40.5%）が約４割、「流通に使用するエネルギーを抑えるため、地元の食材・ものを選んで購入する」（33.1%）が３割強、「身近な生き物を観察したり、外に出て自然と積極的にふれあう」（23.4%）、「環境に配慮した商品を優先的に購入する」（23.0%）が２割強となっている。

８.自転車の安全利用について

（１）自転車の利用頻度

問 20　あなたは、ふだんの生活で自転車をどのくらい利用していますか。
あてはまるもの１つに○をつけてください。



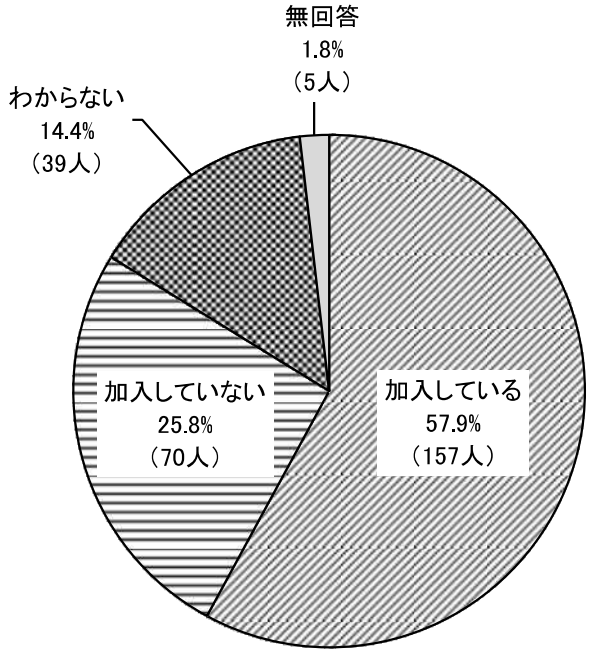
自転車の利用頻度は、「利用していない」（76.6％）の割合は７割半ばが最も高くなっている。以下、「年に数日程度利用している」（6.1％）、「ほぼ毎週（週に４～７日）利用している」（5.7％）の順で高くなっている。月に１日以上利用している人の合計は13.9％で、１割強となっている。

（２）自転車損害賠償保険の加入状況

（問 20 で「１」～「５」と回答した方にお尋ねします。）

問 21　あなたは、自転車保険に加入していますか。
あてはまるもの１つに○をつけてください。

全　体
（n=271）

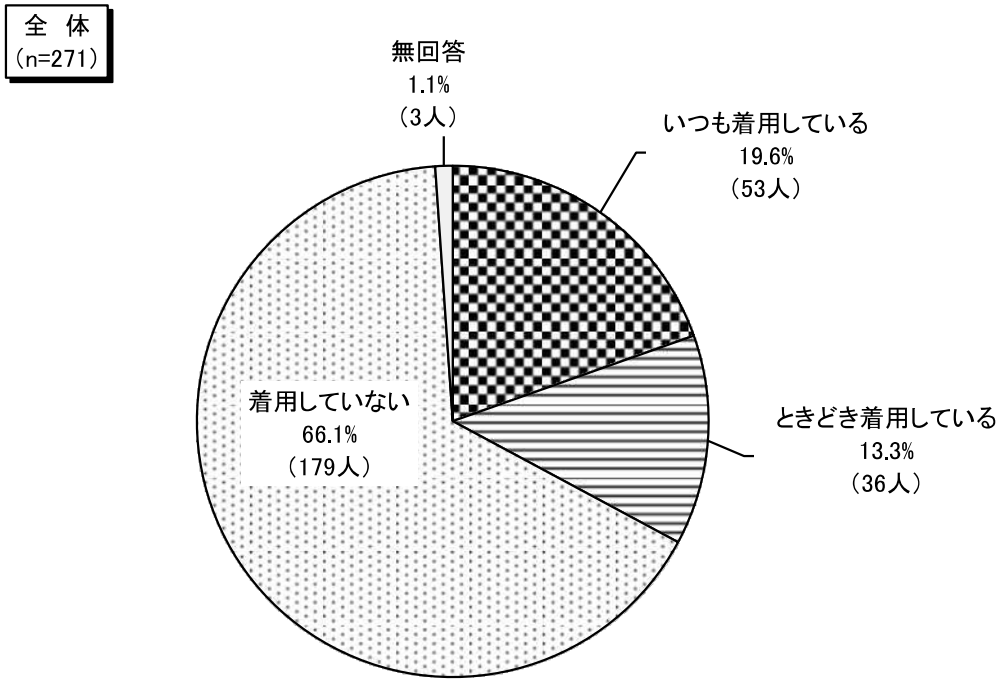


自転車損害賠償保険の加入状況は「加入している」（57.9%）が最も多く、５割半ばとなっており、「加入していない」（25.8%）は、２割半ばとなっている。

（３）ヘルメットの着用状況

（問 20 で「１」～「５」と回答した方にお尋ねします。）

問 22　あなたは、自転車に乗るときに、ヘルメットを着用していますか。
あてはまるもの１つに○をつけてください。

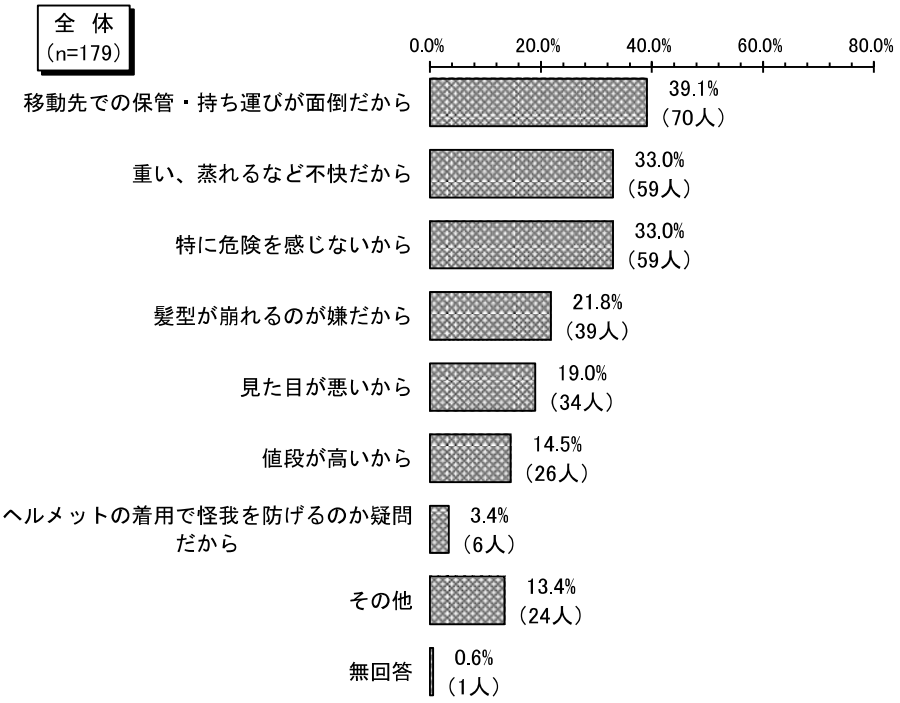


ヘルメットの着用状況は、「着用していない」（66.1%）が６割半ばと最も高くなっている。以下、「いつも着用している」（19.6%）が約２割、「ときどき着用している」（13.3%）が１割強を占めている。

（４）ヘルメットを着用しない理由

（問 22 で「３」と回答した方にお尋ねします。）

問 23　あなたがヘルメットを着用しない理由を教えてください。
あてはまるものにいくつでも○をつけてください。

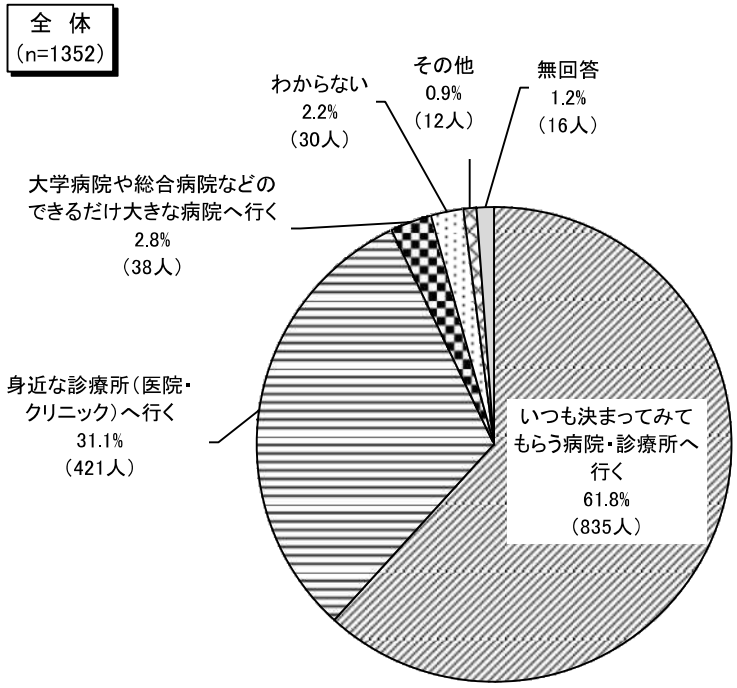


ヘルメットを着用しない理由は、「移動先での保管・持ち運びが面倒だから」(39.1%)が最も多く、約４割となっている。以下、「重い、蒸れるなど不快だから」と「特に危険を感じないから」（ともに 33.0%）が３割台、「髪型が崩れるのが嫌だから」(21.8%)、「見た目が悪いから」（19.0%）が約２割などとなっている。

９.地域の医療について

（１）体調不良時の対応

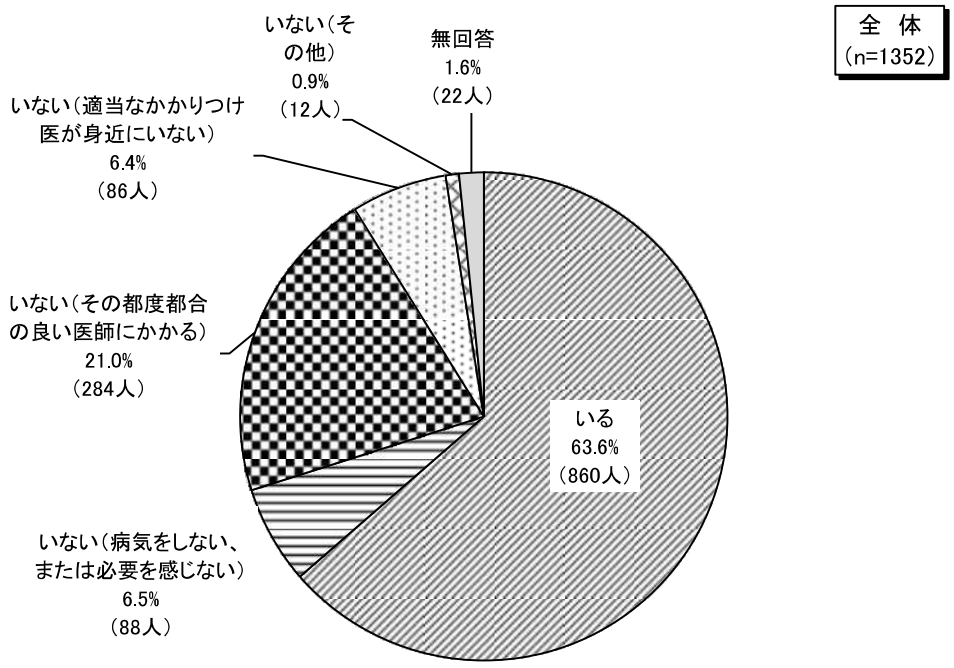
問 25　あなたが、もし体調が悪くなり、医師にみてもらいたいときはどうしますか。
あてはまるもの１つに○をつけてください。



体調不良時の対応については、「いつも決まってみてもらう病院・診療所へ行く」（61.8％）の割合が最も多く、６割強となっている。次いで、「身近な診療所（医院・クリニック）へ行く」（31.1％）が３割強となっている。

（２）かかりつけ医の有無

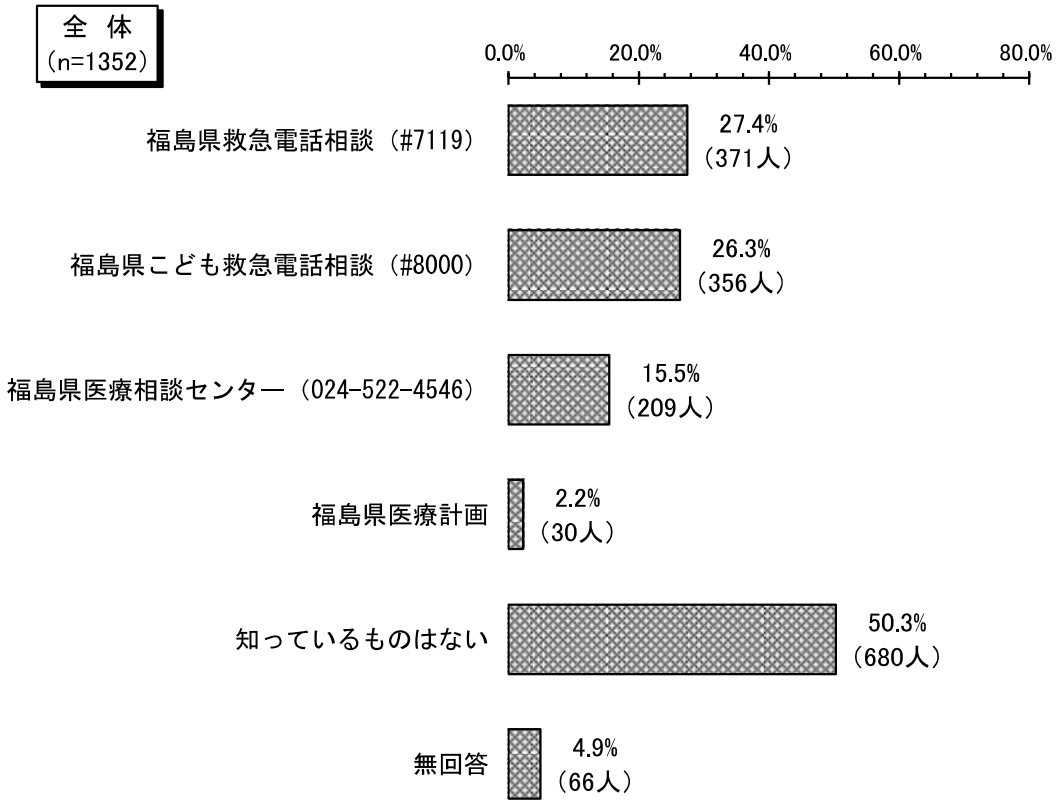
問 26　あなたには、日常的な体調不良やけがへの対応などを行ってくれる医師（かかりつけ医）がいますか。あてはまるもの１つに○をつけてください。



かかりつけ医の有無については、「いる」（63.6%）の割合が６割強を占めている。以下、「いない（その都度都合の良い医師にかかる）」（21.0%）、「いない（病気をしない、または必要を感じない）」（6.5%）、「いない（適当なかかりつけ医が身近にいない）」（6.4%）、「いない（その他）」（0.9%）となっている。

（３）知っている医療関連サービス

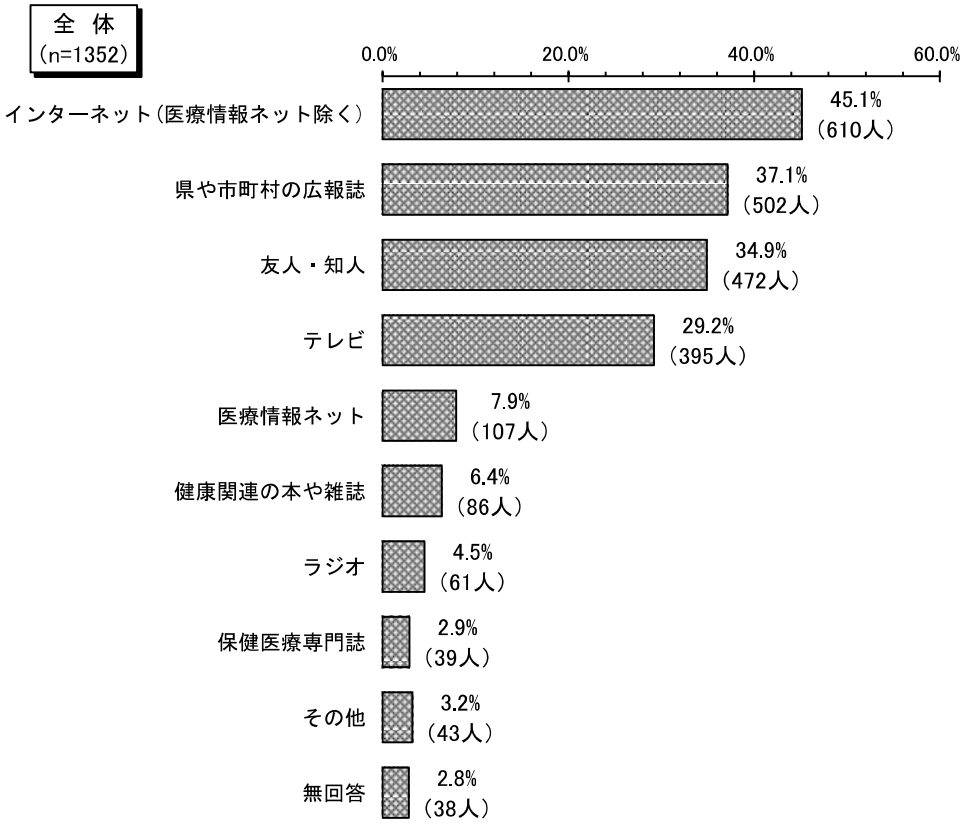
問 27　あなたは以下の医療関連サービス等を知っていますか。
知っているものすべてに○をつけてください。



知っている医療関連サービス等については、「福島県救急電話相談（#7119）」（27.4％）、「福島県こども救急電話相談（#8000）」（26.3％）の割合が２割半ばで高く、次いで「福島県医療相談センター（024-522-4546）」（15.5％）が続いている。一方、「知っているものはない」（50.3％）は約５割を占めている。

（４）保健や医療に関する情報の入手方法

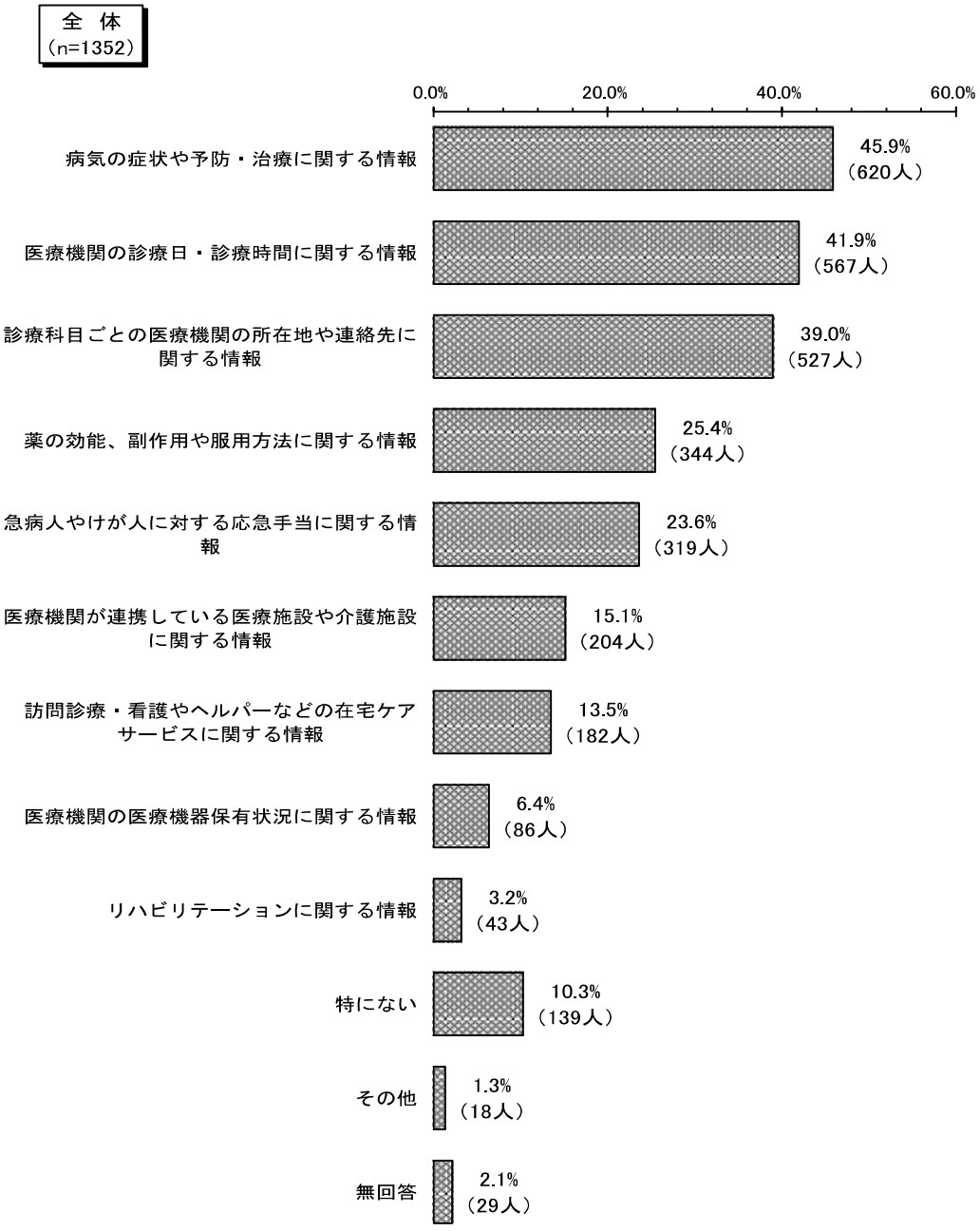
問 28　あなたは、保健や医療に関する情報をどのような方法で入手していますか。
あてはまるもの３つまで○をつけてください。



保健や医療に関する情報の入手方法については、「インターネット（医療情報ネット除く）」（45.1%）の割合が最も多く、４割半ばとなっている。次いで、「県や市町村の広報誌」（37.1%）、「友人・知人」（34.9%）が３割半ばと続いている。

（５）保健や医療に関して知りたい情報

問 29　あなたが知りたい保健や医療に関する情報は何ですか。
あてはまるもの３つまで○をつけてください。

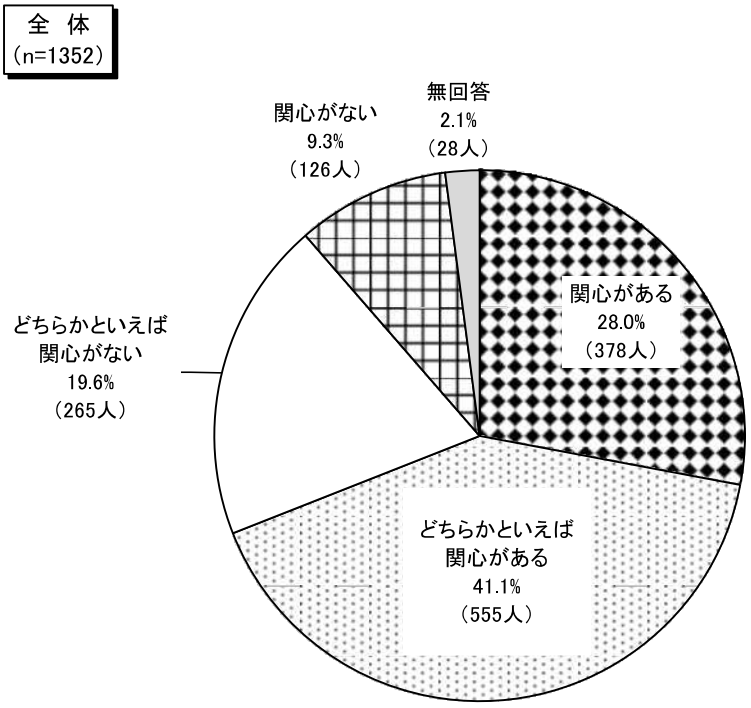


保健や医療に関して知りたい情報については、「病気の症状や予防・治療に関する情報」（45.9%）の割合が最も多く、４割半ばとなっている。次いで、「医療機関の診療日・診療時間に関する情報」（41.9%）が４割強、「診療科目ごとの医療機関の所在地や連絡先に関する情報」（39.0%）が４割弱、「薬の効能、副作用や服用方法に関する情報」（25.4%）、「急病人やけが人に対する応急手当に関する情報」（23.6%）が２割以上を占めている。

１０．食育について

（１）「食育」への関心

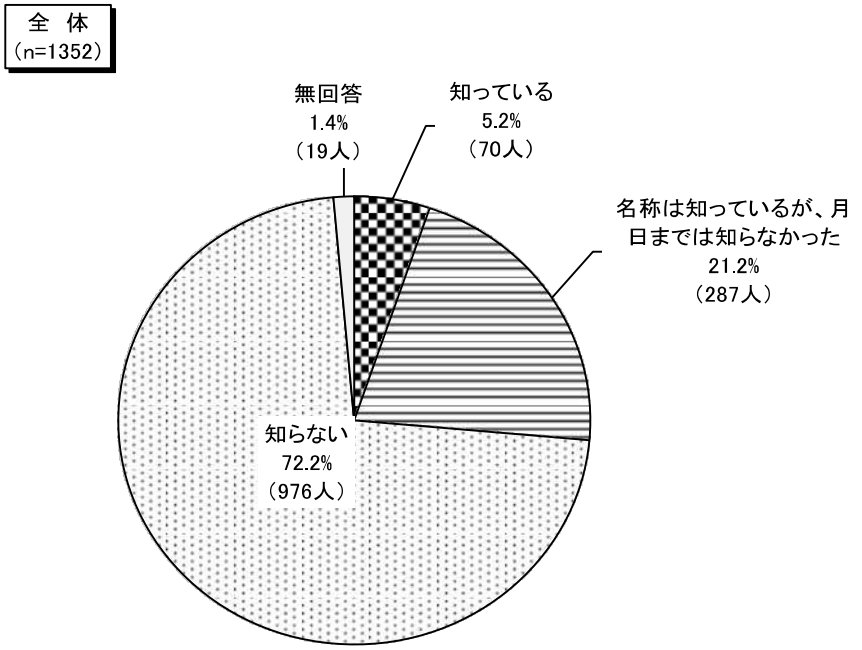
問 30　あなたは「食育」に関心がありますか。あてはまるもの１つに○をつけてください。



関心度については、「どちらかといえば関心がある」（41.1％）の割合が最も多く、４割強となっている。次いで、「関心がある」（28.0％）、「どちらかといえば関心がない」（19.6％）、「関心がない」（9.3％）となっている。「関心がある」と「どちらかといえば関心がある」を合わせた『関心がある』計は 69.0％となり、約７割を占めている。

（２）毎年６月『食育月間』毎月 19 日は『食育の日』の認知

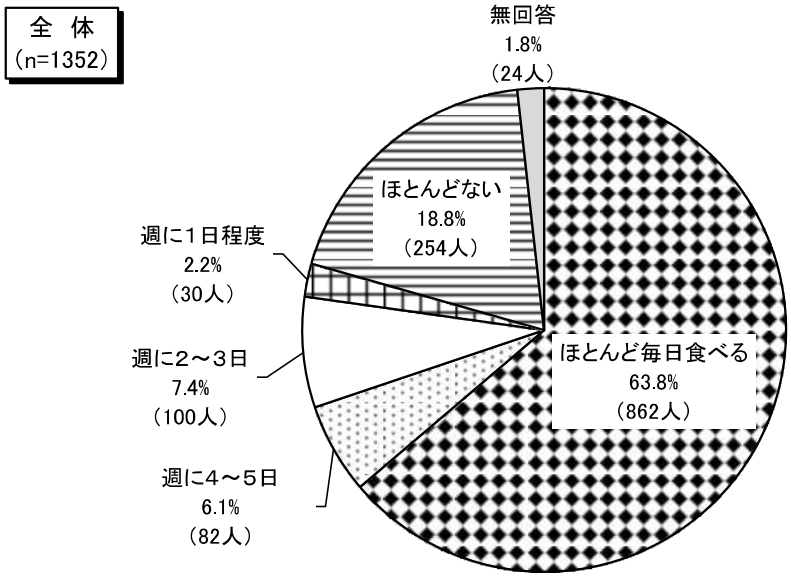
問 31　あなたは、「毎年 6 月は『食育月間』、毎月 19 日は『食育の日』」であることを知っていますか。あてはまるもの１つに○をつけてください。



認知度については、「知らない」（72.2%）の割合が最も多く、７割強を占めている。次いで、「名称は知っているが、月日までは知らなかった」（21.2%）、「知っている」（5.2%）となっている。「知っている」と「名称は知っているが、月日までは知らなかった」を合わせた『知っている』計は 26.4%となり、２割半ばとなっている。

（３）家族との食事頻度

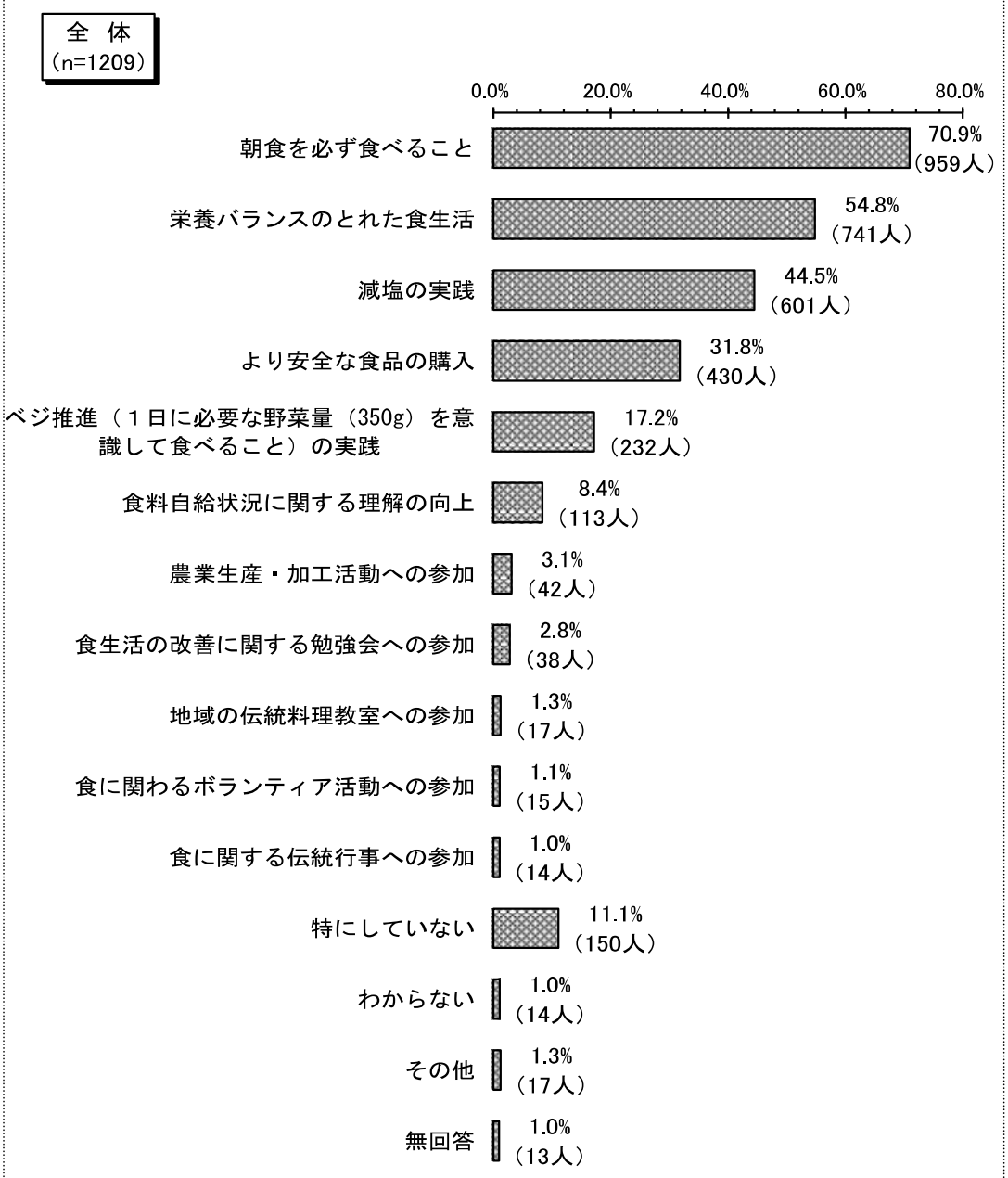
問 32　朝食または夕食を家族と一緒に食べることはどのくらいありますか。あてはまるもの１つに○をつけてください。



食べる頻度については、「ほとんど毎日食べる」（63.8％）の割合が最も多く、６割強を占めている。以下、「ほとんどない」（18.8％）が約２割、「週に２～３日」（7.4％）、「週に４～５日」（6.1％）、「週に１日程度」（2.2％）となっている。

（４）『食育』に関する活動や行動

問 33　あなたは、日ごろから健全な食生活を行うために「食育」に関する活動や行動を実践していますか。あてはまるものにいくつでも○をつけてください。

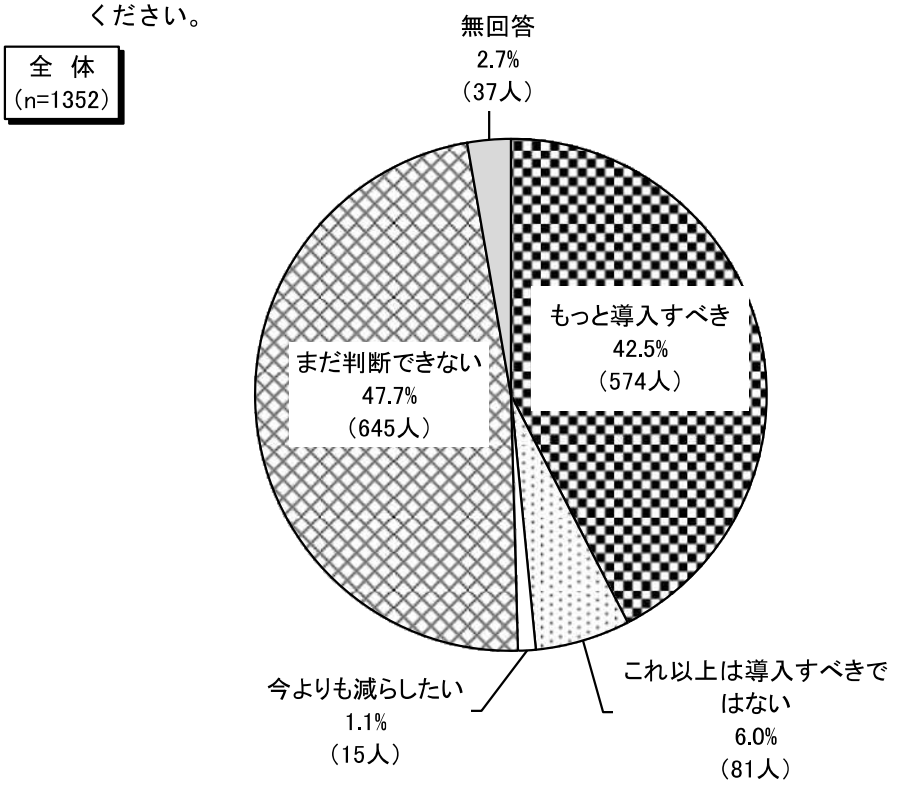


食生活で実践していることについては、「朝食を必ず食べること」（70.9%）の割合が最も多く、約７割となっている。次いで、「栄養バランスのとれた食生活」（54.8%）が５割半ば、「減塩の実践」（44.5%）が４割半ば、「より安全な食品の購入」（31.8%）が３割強、「ベジ推進（１日に必要な野菜量（350g）を意識して食べること）の実践」（17.2%）が２割弱となっている。

１１.ロボット・ドローンについて

（１）ロボットやドローンを目にする機会の増加

問 34　現在、日常生活の中でロボットやドローンを目にする機会が増えてきましたが、このことについてどのように受け止めていますか。あてはまるもの 1 つに○をつけてください。

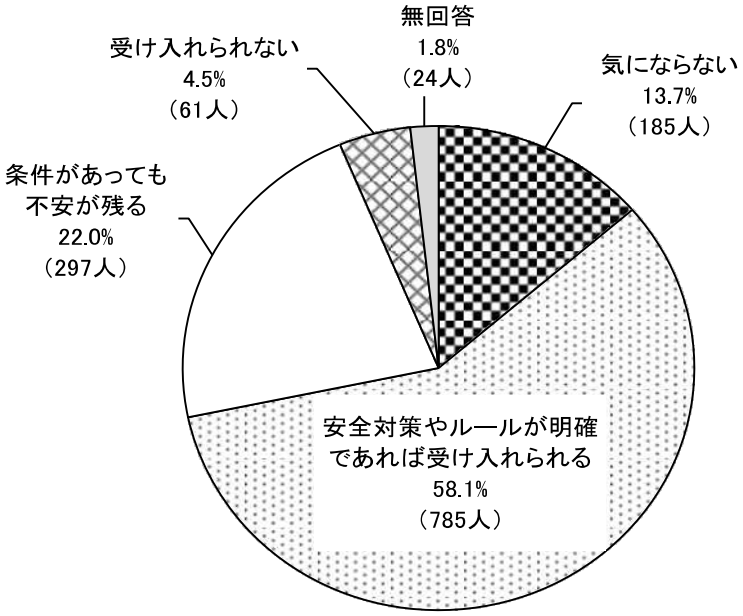


導入に対する考えについては、「まだ判断できない」(47.7%) の割合が最も多く、５割弱となっている。次いで、「もっと導入すべき」(42.5%) が４割強、「これ以上は導入すべきではない」(6.0%)、「今よりも減らしたい」(1.1%) となっている。

（２）ドローンが住宅の上空を飛行することの考え

問 35　ドローンが人や住宅の上空を飛行することについて、どのように思いますか。あてはまるもの１つに○をつけてください。

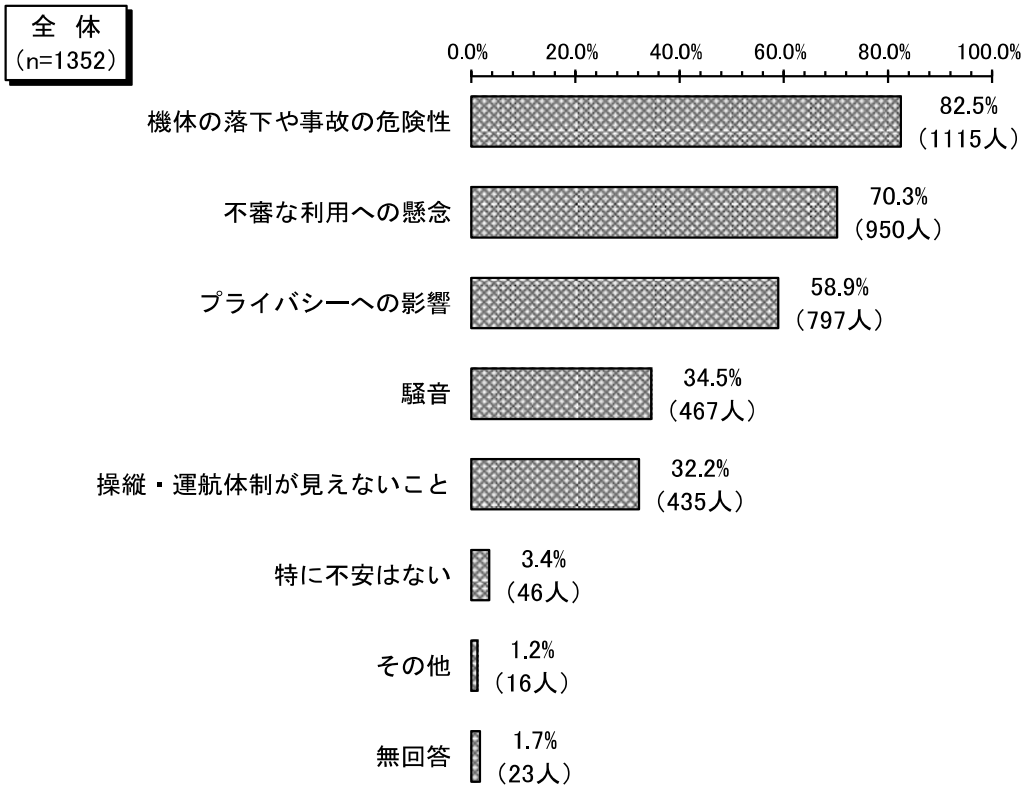
全　体
（n=1352）



受け入れに対する考えについては、「安全対策やルールが明確であれば受け入れられる」（58.1%）の割合が最も多く、６割弱となっている。次いで、「条件があっても不安が残る」（22.0%）が２割強、「気にならない」（13.7%）が１割強、「受け入れられない」（4.5%）となっている。

（３）ドローンが上空を飛ぶ際の心配な点

問 36　今後、ドローンが人や住宅の上空をよく飛ぶようになった場合、心配になることはどのようなことですか。あてはまるものにいくつでも○をつけてください。

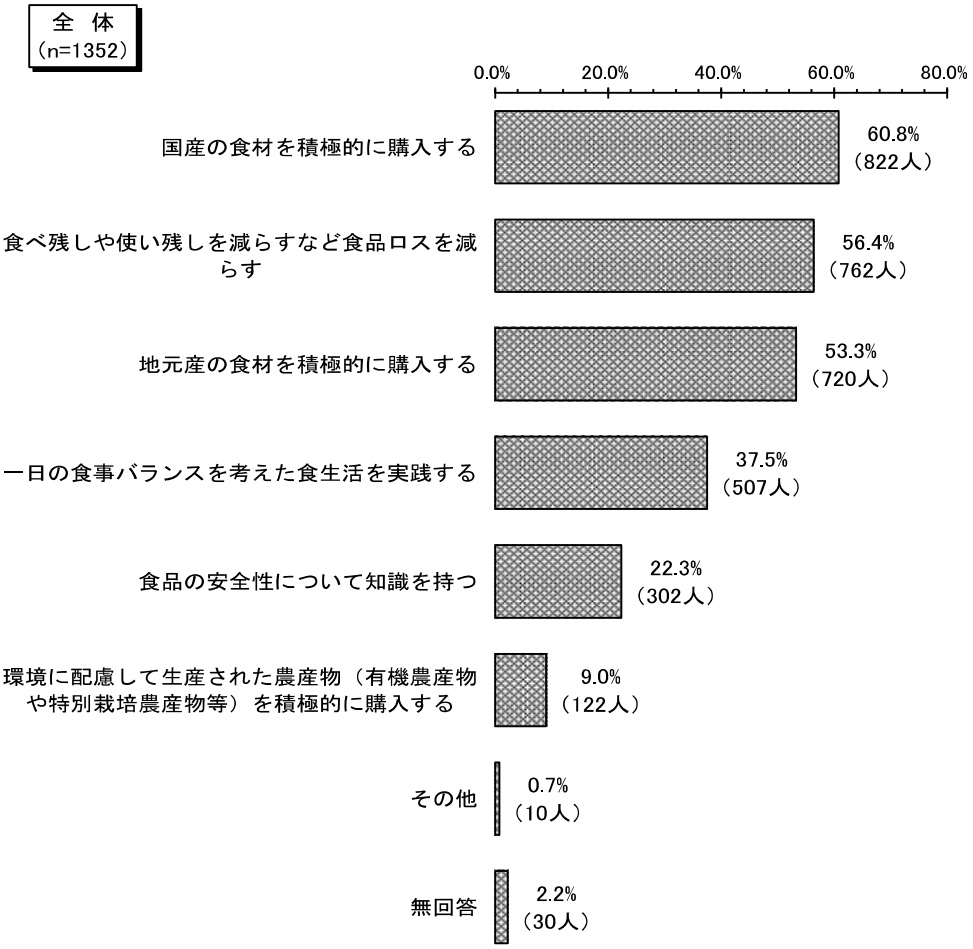


導入に当たって不安に感じることについては、「機体の落下や事故の危険性」（82.5%）の割合が最も多く、８割強となっている。次いで、「不審な利用への懸念」（70.3%）が約７割、「プライバシーへの影響」（58.9%）が６割弱、「騒音」（34.5%）、「操縦・運航体制が見えないこと」（32.2%）が３割強と続いている。

１２.農林水産業について

（１）農林水産物の購入や食生活で実践していること

問 37　ふだん、あなたが農林水産物を購入する際や食生活において、以下の行動のうち実践している又は実践したいと考えていることはありますか。
あてはまるものに３つまで○をつけて下さい。



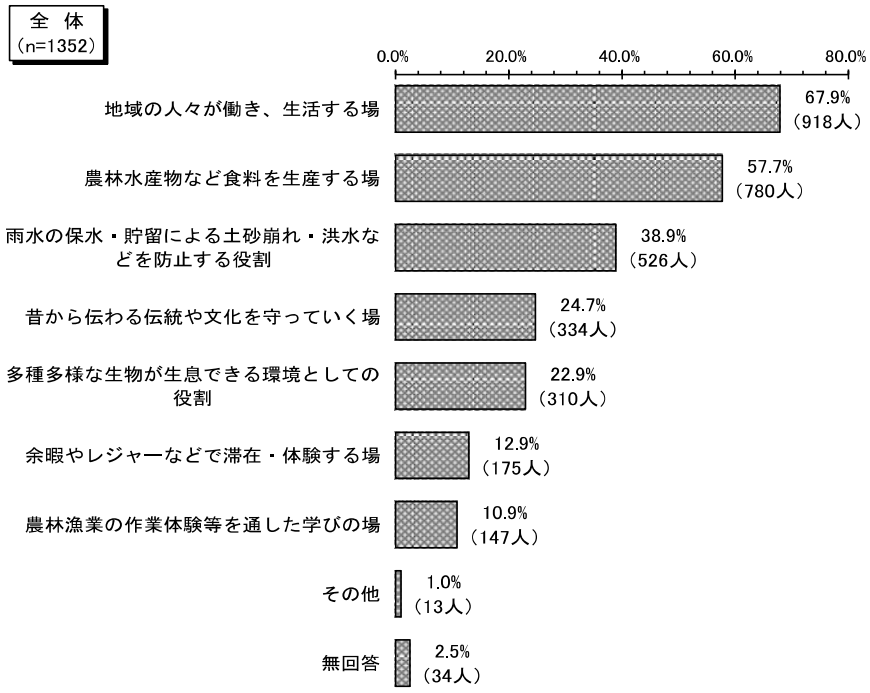
※【参考】有機農産物・特別栽培農産物とは

どちらも農業による環境への負担をできる限り低減して栽培された農産物のこと。有機農産物は、化学的に合成された農薬や肥料を使用しないこと等により栽培されたもの、特別栽培農産物は、化学的に合成された農薬や肥料の使用量を、その農産物が生産された地域の慣行レベルの半分以下に減らして栽培されたもののこと。

農林水産物の購入や食生活で実践していることについては、「国産の食材を積極的に購入する」（60.8%）が最も多く、約６割となっている。次いで、「食べ残しや使い残しを減らすなど食品ロスを減らす」（56.4%）、「地元産の食材を積極的に購入する」（53.3%）が５割半ば、「一日の食事バランスを考えた食生活を実践する」（37.5%）が３割半ば、「食品の安全性について知識を持つ」（22.3%）が２割弱となっている。

（２）農山漁村の役割として期待すること

問 38　あなたが本県の農山漁村の役割として期待することは何ですか。
あてはまるものに３つまで○をつけて下さい。

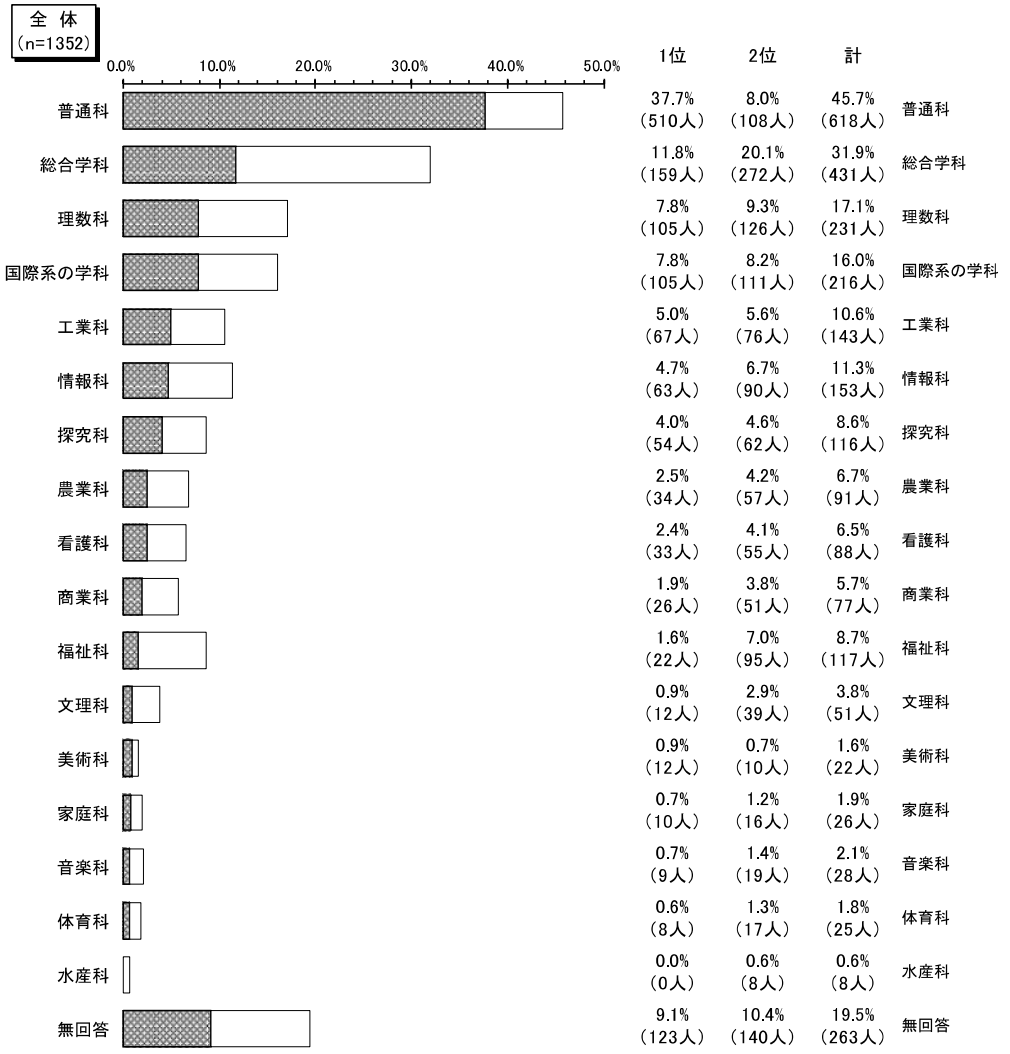


農山漁村の役割として期待することについては、「地域の人々が働き、生活する場」（67.9%）が最も多く、７割弱となっている。以下、「農林水産物など食料を生産する場」（57.7%）が６割弱、「雨水の保水・貯留による土砂崩れ・洪水などを防止する役割」（38.9%）が約４割、「昔から伝わる伝統や文化を守っていく場」（24.7%）、「多種多様な生物が生息できる環境としての役割」（22.9%）が２割台などとなっている。

１３.高等学校教育について

（１）あなたが選びたい学科

問 39　次の学科は、令和８年度に福島県内の県立高等学校・私立高等学校にある主な学科です。学校名にとらわれることなく考えた場合、あなたが（またはお子様等に）選びたい（選ばせたい）学科は何ですか。希望順に２つ選んでください。

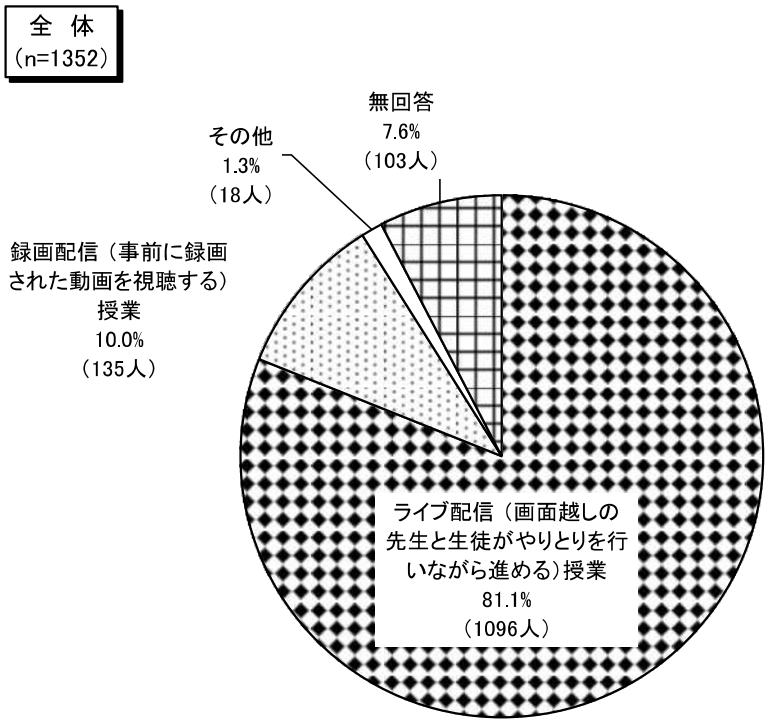


	1位	2位	計	
普通科	37.7%（510人）	8.0%（108人）	45.7%（618人）	普通科
総合学科	11.8%（159人）	20.1%（272人）	31.9%（431人）	総合学科
理数科	7.8%（105人）	9.3%（126人）	17.1%（231人）	理数科
国際系の学科	7.8%（105人）	8.2%（111人）	16.0%（216人）	国際系の学科
工業科	5.0%（67人）	5.6%（76人）	10.6%（143人）	工業科
情報科	4.7%（63人）	6.7%（90人）	11.3%（153人）	情報科
探究科	4.0%（54人）	4.6%（62人）	8.6%（116人）	探究科
農業科	2.5%（34人）	4.2%（57人）	6.7%（91人）	農業科
看護科	2.4%（33人）	4.1%（55人）	6.5%（88人）	看護科
商業科	1.9%（26人）	3.8%（51人）	5.7%（77人）	商業科
福祉科	1.6%（22人）	7.0%（95人）	8.7%（117人）	福祉科
文理科	0.9%（12人）	2.9%（39人）	3.8%（51人）	文理科
美術科	0.9%（12人）	0.7%（10人）	1.6%（22人）	美術科
家庭科	0.7%（10人）	1.2%（16人）	1.9%（26人）	家庭科
音楽科	0.7%（9人）	1.4%（19人）	2.1%（28人）	音楽科
体育科	0.6%（8人）	1.3%（17人）	1.8%（25人）	体育科
水産科	0.0%（0人）	0.6%（8人）	0.6%（8人）	水産科
無回答	9.1%（123人）	10.4%（140人）	19.5%（263人）	無回答

希望する学科について、第１希望と第２希望を合わせた割合をみると、「普通科」（45.7%）が最も多く、４割半ばとなっている。次いで、「総合学科」（31.9%）が３割強、「理数科」（17.1%）、「国際系の学科」（16.0%）が１割半ば、「情報科」（11.3%）、「工業科」（10.6%）が約１割となっている。

（２）遠隔授業を活用した学びの形態

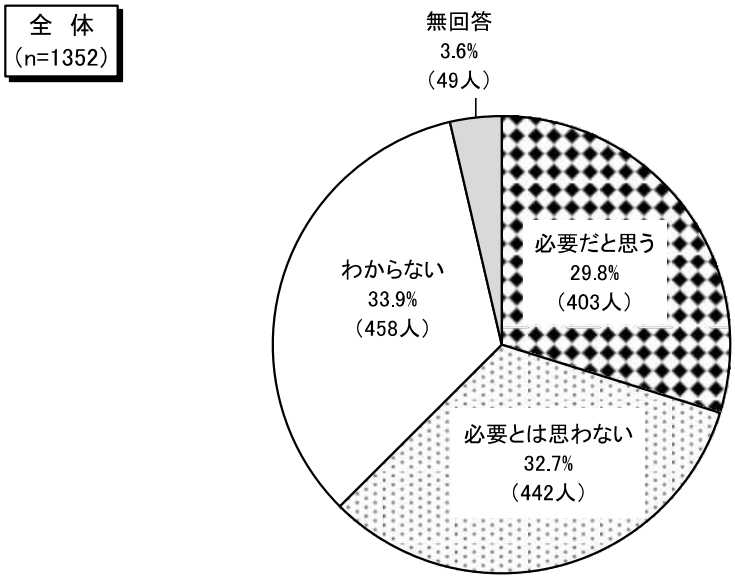
問 40　遠隔授業を活用した学びができる高等学校を設置するとした場合、どのような形態がよいと思いますか。あてはまるもの１つに○をつけてください。



遠隔授業の方法については、「ライブ配信（画面越しの先生と生徒がやりとりを行いながら進める）授業」（81.1%）の割合が最も多く、８割以上を占めている。次いで、「録画配信（事前に録画された動画を視聴する）授業」（10.0%）が１割となっている。

（３）中高一貫性教育校の必要性

問 41　あなたがお住まいの地域には新たに中学校から高等学校までの６年間を接続した中高一貫教育校は必要だと思いますか。あてはまるもの１つに○をつけてください。



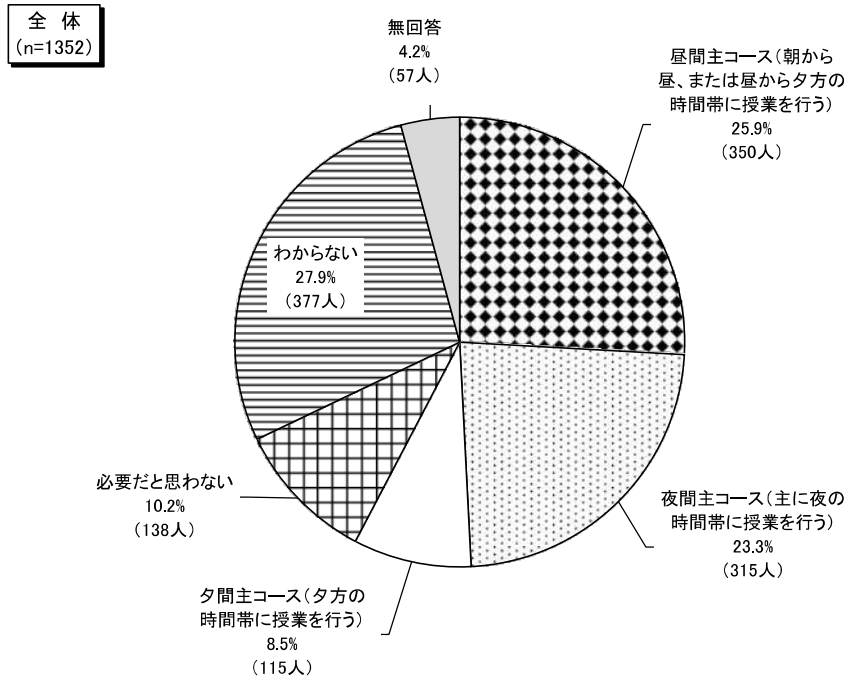
中高一貫性教育の必要性については、「わからない」（33.9%）の割合が最も多く、３割強となっている。次いで、「必要とは思わない」（32.7%）が３割強、「必要だと思う」（29.8%）が約３割となっており、回答が分かれている。

（４）定時制、通信制の高等学校について

①定時制高等学校の形態

問 42　定時制、通信制の高等学校について質問します。

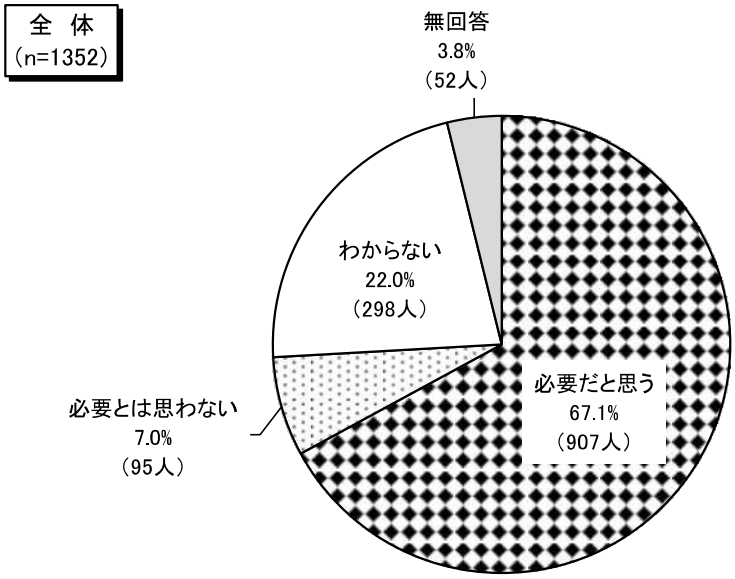
（1）あなたがお住まいの地域に、定時制高等学校を設置するとした場合、定時制高等学校の形態はどれが一番必要だと思いますか。あてはまるもの１つに○をつけてください。



「わからない」（27.9%）の割合が最も多く、３割弱となっている。次いで、「昼間主コース（朝から昼、または昼から夕方の時間帯に授業を行う）」（25.9%）、「夜間主コース（主に夜の時間帯に授業を行う）」（23.3%）が２割強、「必要だと思わない」（10.2%）が約１割となっている。

②自習室や相談等できる環境の必要性

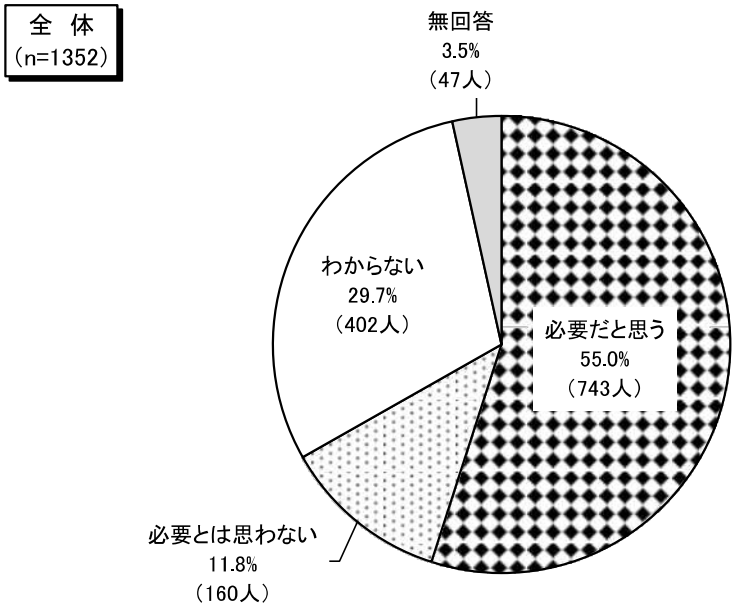
（2）あなたがお住まいの地域に、通信制高等学校を設置するとした場合、生徒等が、自宅学習の日にも通うことができる自習室や相談等ができる環境は必要だと思いますか。あてはまるもの１つに○をつけてください。



自習室や相談できる環境の必要性については、「必要だと思う」（67.1%）の割合が最も多く、７割弱を占めている。次いで、「わからない」（22.0%）が２割強、「必要とは思わない」（7.0%）が１割未満となっている。

（５）学びやすい新しいタイプの高等学校の必要性

問 43　あなたがお住まいの地域に、多様な学習ニーズをもつ生徒にとって学びやすい新しいタイプ※の高等学校は必要だと思いますか。あてはまるもの１つに○をつけてください。



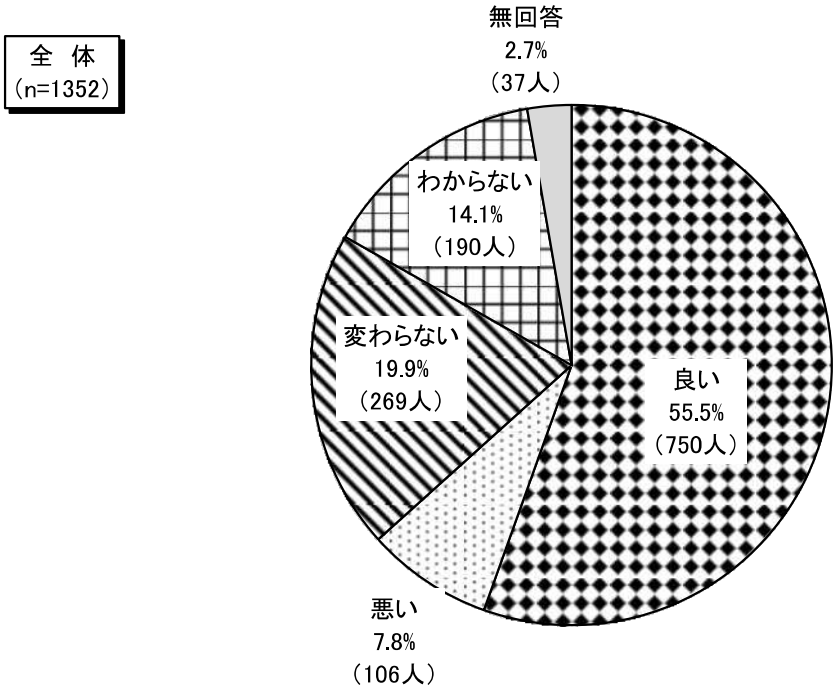
※　多様な学習ニーズをもつ生徒にとって学びやすい新しいタイプ
　例えば、全日制・通信制の課程を一つの学校内に置き、それぞれの課程の授業を受講できる柔軟なシステム

多様な学習ニーズをもつ生徒にとって学びやすい新しいタイプの高等学校の必要性については、「必要だと思う」（55.0%）の割合が最も多く、５割半ばを占めている。次いで、「わからない」（29.7%）が約３割、「必要とは思わない」（11.8%）が１割強となっている。

１４.地域社会の安全・安心（治安）について

（１）居住地域の治安状況

問 44　現在あなたが住んでいる地域の治安は良いと
思いますか。あてはまるもの１つに○をつけてください。



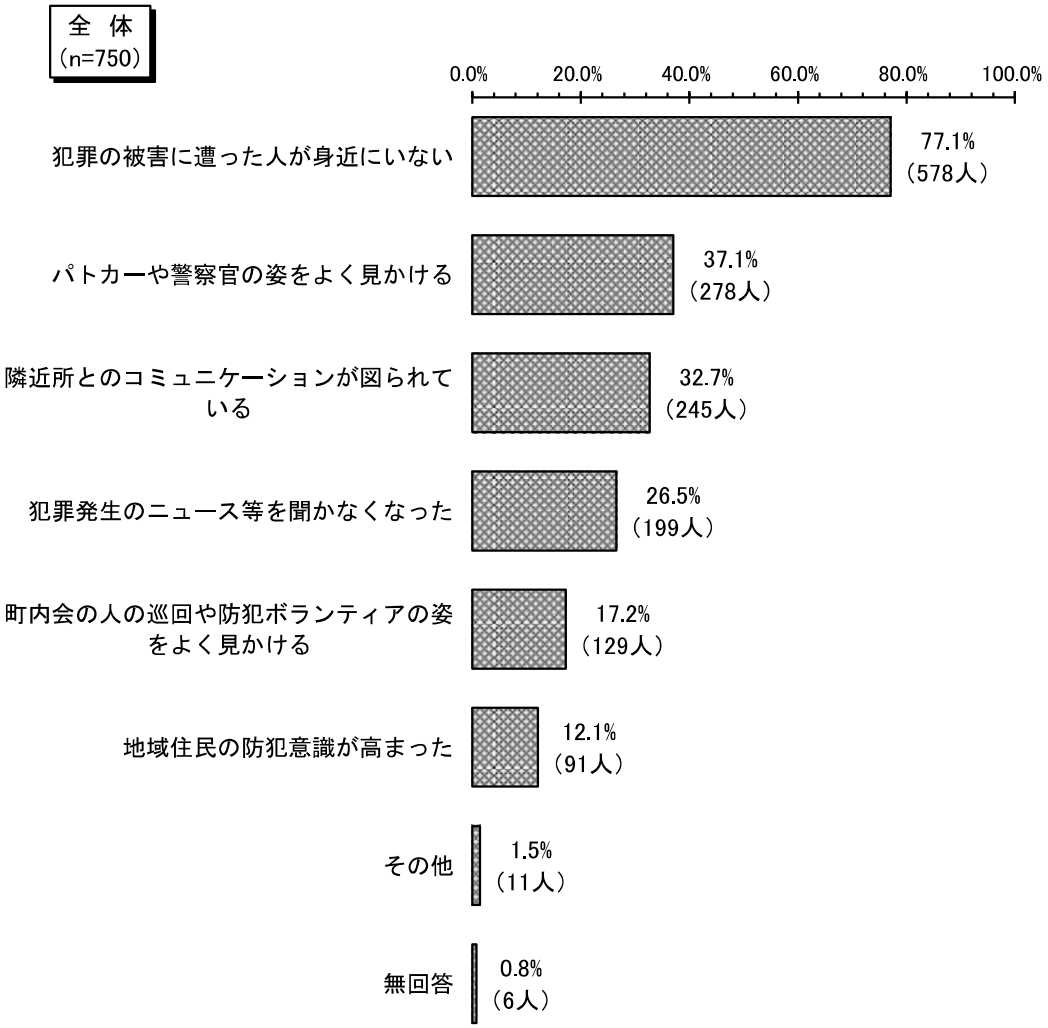
現在の居住地域の治安状況については、「良い」（55.5%）の割合が最も多く、５割半ばとなっている。次いで、「変わらない」（19.9%）が約２割、「わからない」（14.1%）が１割半ばとなっている。一方、「悪い」（7.8%）は１割未満にとどまっている。

（２）治安状況が良いと思う理由

（問 44 で、「１　良い」とお答えの方にお尋ねします。）

問 45－1　問 44 で、良いと思う理由は何ですか。

あてはまるもの３つまで○をつけてください。



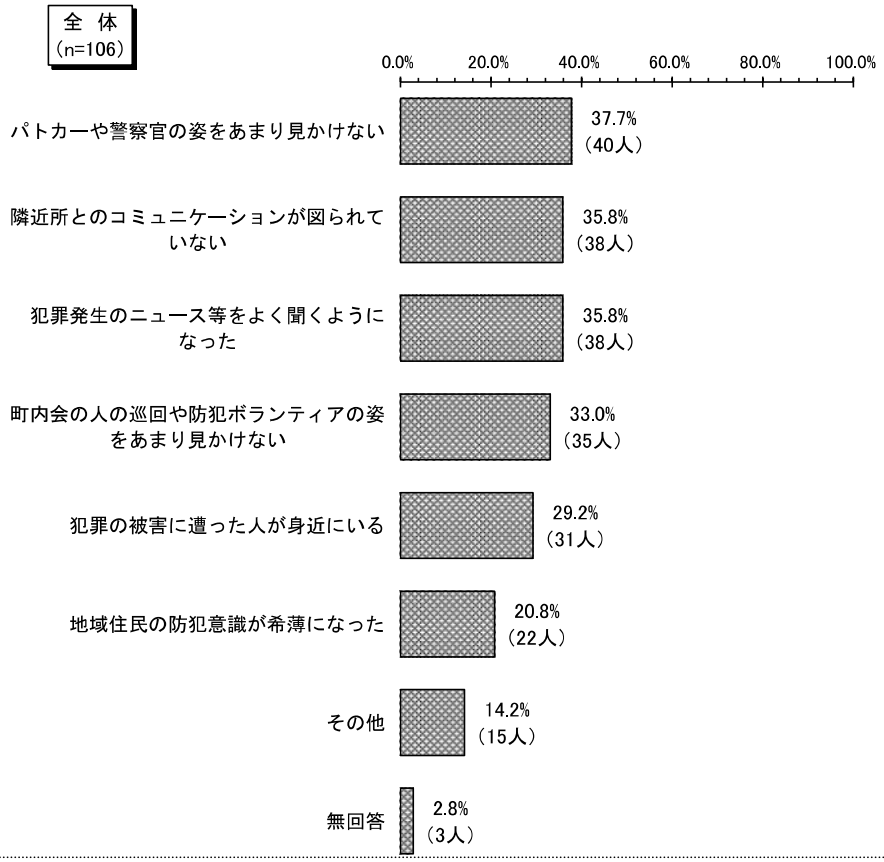
治安状況が良いと思う理由については、「犯罪の被害に遭った人が身近にいない」（77.1％）の割合が最も多く、８割弱となっている。次いで、「パトカーや警察官の姿をよく見かける」（37.1％）、「隣近所とのコミュニケーションが図られている」（32.7％）が３割強、「犯罪発生のニュース等を聞かなくなった」（26.5％）が２割半ばなどとなっている。

（３）治安状況が悪いと思う理由

（問 44 で、「２　悪い」とお答えの方にお尋ねします。）

問 45－2　問 44 で、悪いと思う理由は何ですか。

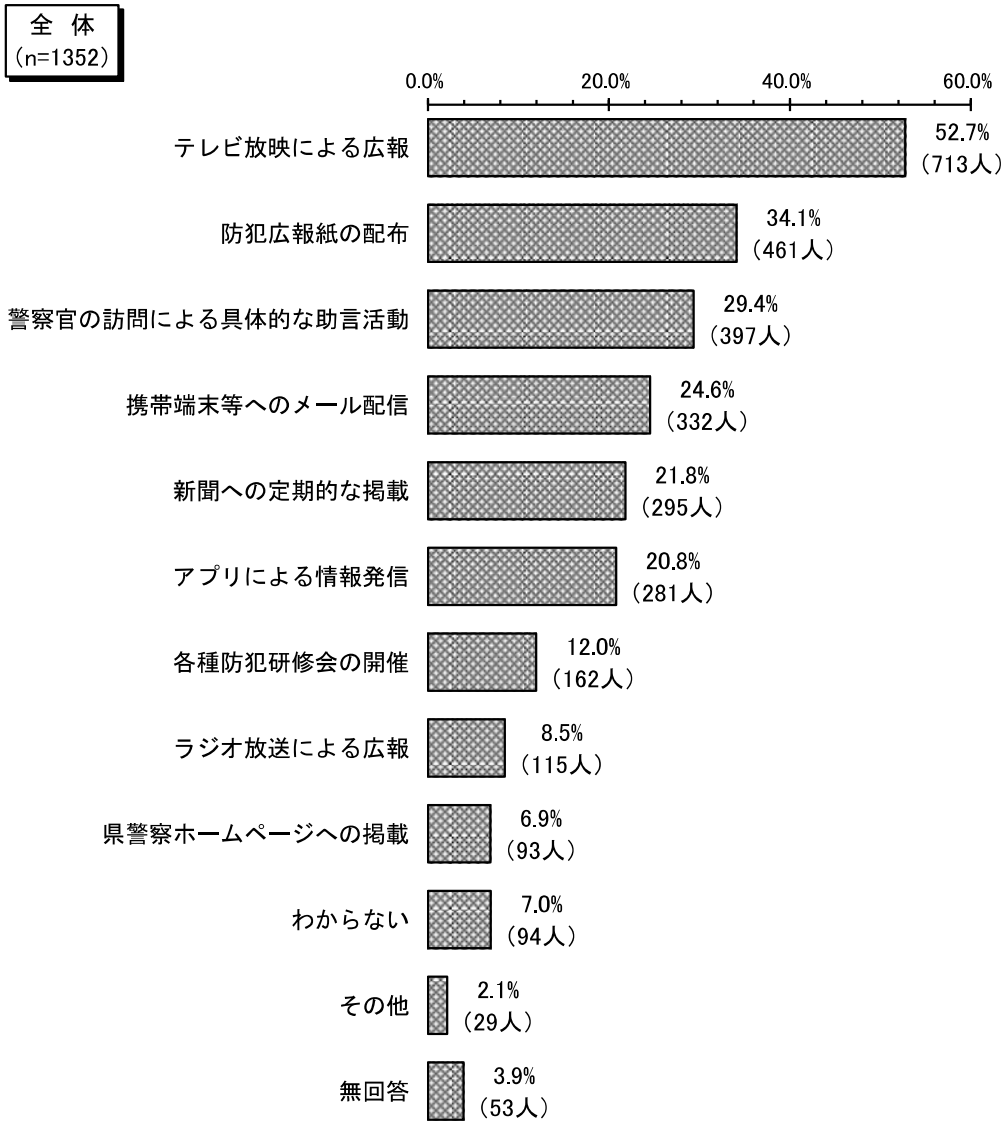
あてはまるもの３つまで○をつけてください。



治安状況が悪いと思う理由については、「パトカーや警察官の姿をあまり見かけない」（37.7%）の割合が最も多く、４割弱となっている。次いで、「隣近所とのコミュニケーションが図られていない」と「犯罪発生のニュース等をよく聞くようになった」（ともに35.8%）、「町内会の人の巡回や防犯ボランティアの姿をあまり見かけない」（33.0%）が３割強となっている。

（４）犯罪発生状況等の情報提供方法

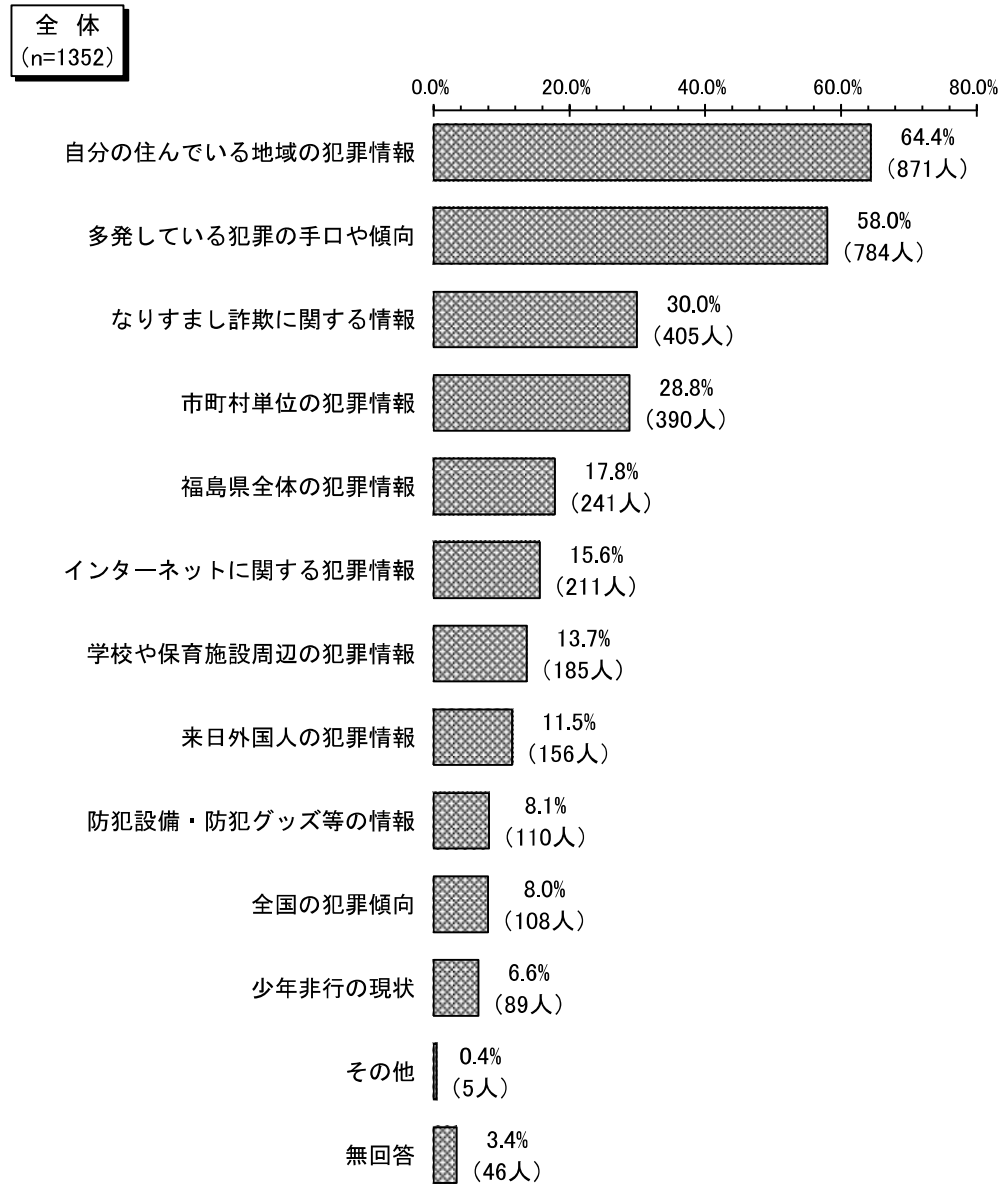
問 46　犯罪の発生状況や犯罪を未然に防止する方法等の情報について、どのような形で提供されるのがよいと思いますか。
あてはまるもの３つまで○をつけてください。



犯罪発生状況等の情報提供方法については、「テレビ放映による広報」（52.7%）の割合が最も多く、５割強となっている。次いで、「防犯広報紙の配布」（34.1%）が３割半ば、「警察官の訪問による具体的な助言活動」（29.4%）が約３割、「携帯端末等へのメール配信」（24.6%）が２割半ば、「新聞への定期的な掲載」（21.8%）と「アプリによる情報発信」（20.8%）が２割強などとなっている。

（５）犯罪に関して知りたい情報

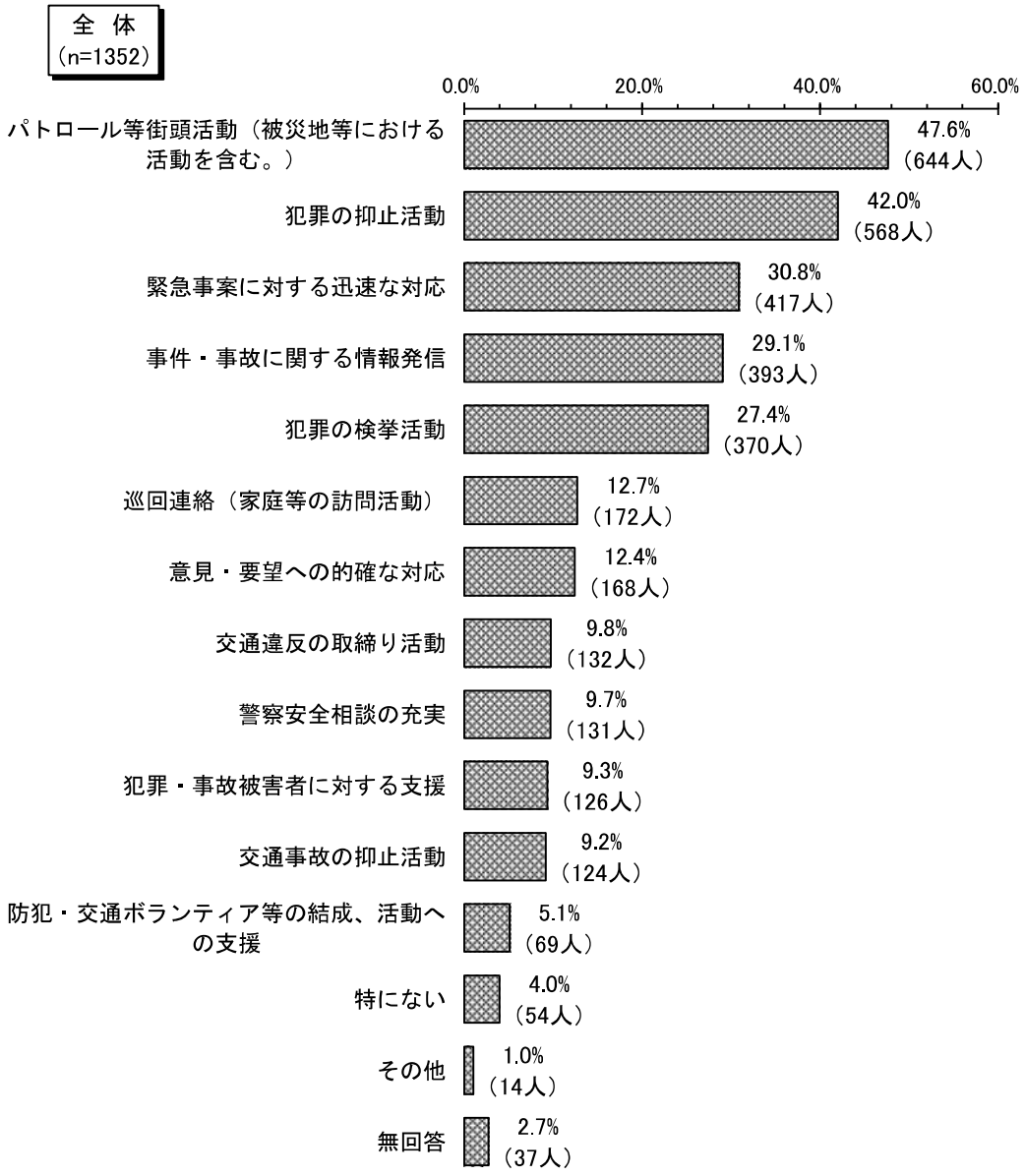
問 47　犯罪に関するどのような情報が知りたいですか。
あてはまるもの３つまで○をつけてください。



犯罪に関して知りたい情報については、「自分の住んでいる地域の犯罪情報」（64.4%）の割合が最も多く、６割半ばとなっている。次いで、「多発している犯罪の手口や傾向」（58.0%）が６割弱、「なりすまし詐欺に関する情報」（30.0%）と「市町村単位の犯罪情報」（28.8%）が約３割などとなっている。

（６）警察に強化してほしい活動

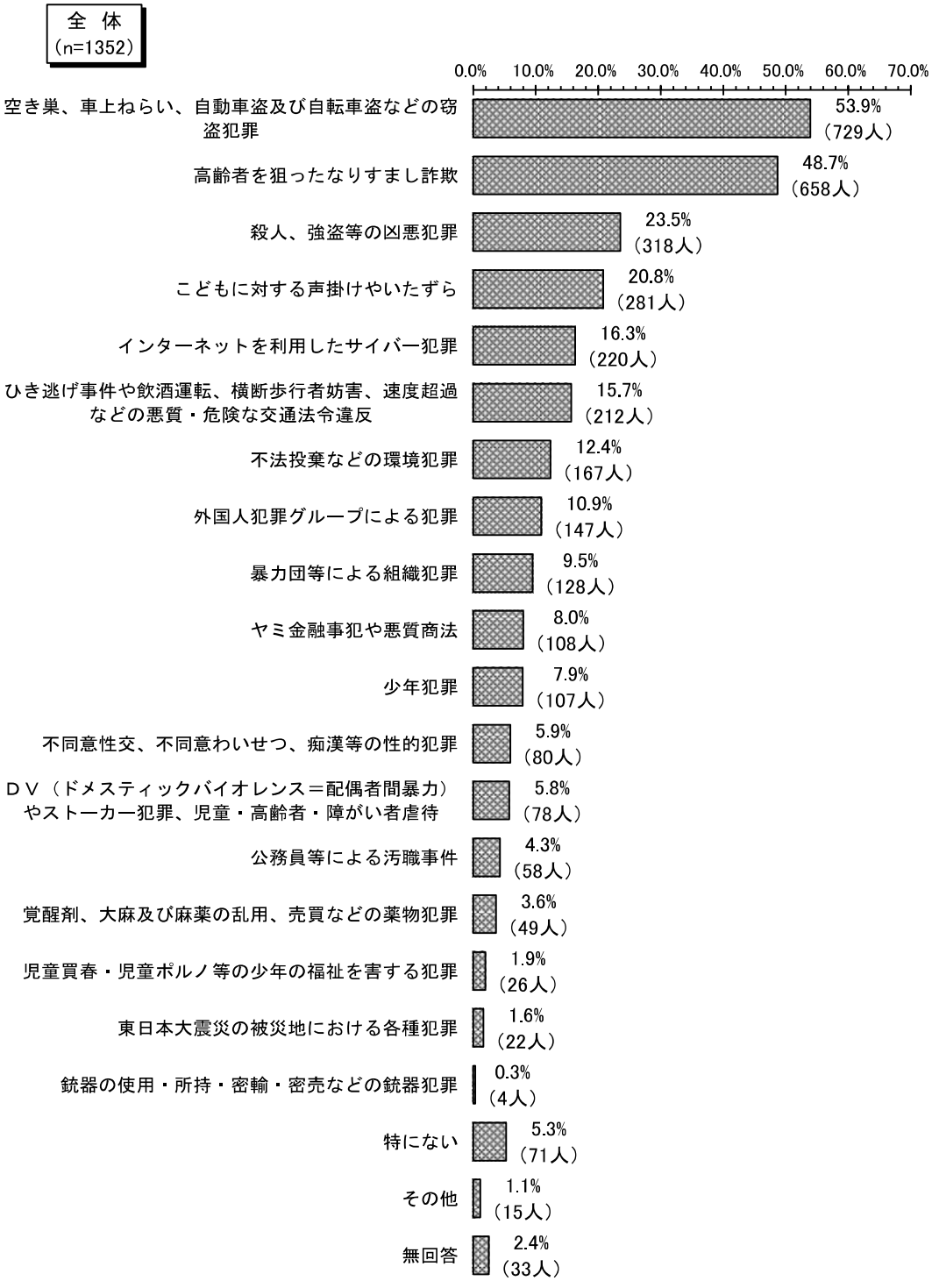
問 48　安全・安心な地域社会をつくるため、警察にどのような活動を強化してほしいと考えますか。
あてはまるもの３つまで○をつけてください。



警察に強化してほしい活動については、「パトロール等街頭活動（被災地等における活動を含む。）」（47.6%）の割合が最も多く、５割弱となっている。次いで、「犯罪の抑止活動」（42.0%）が４割強、「緊急事案に対する迅速な対応」（30.8%）と「事件・事故に関する情報発信」（29.1%）が約３割、「犯罪の検挙活動」（27.4%）が３割弱などとなっている。

（７）重点的に取り締まってほしい犯罪

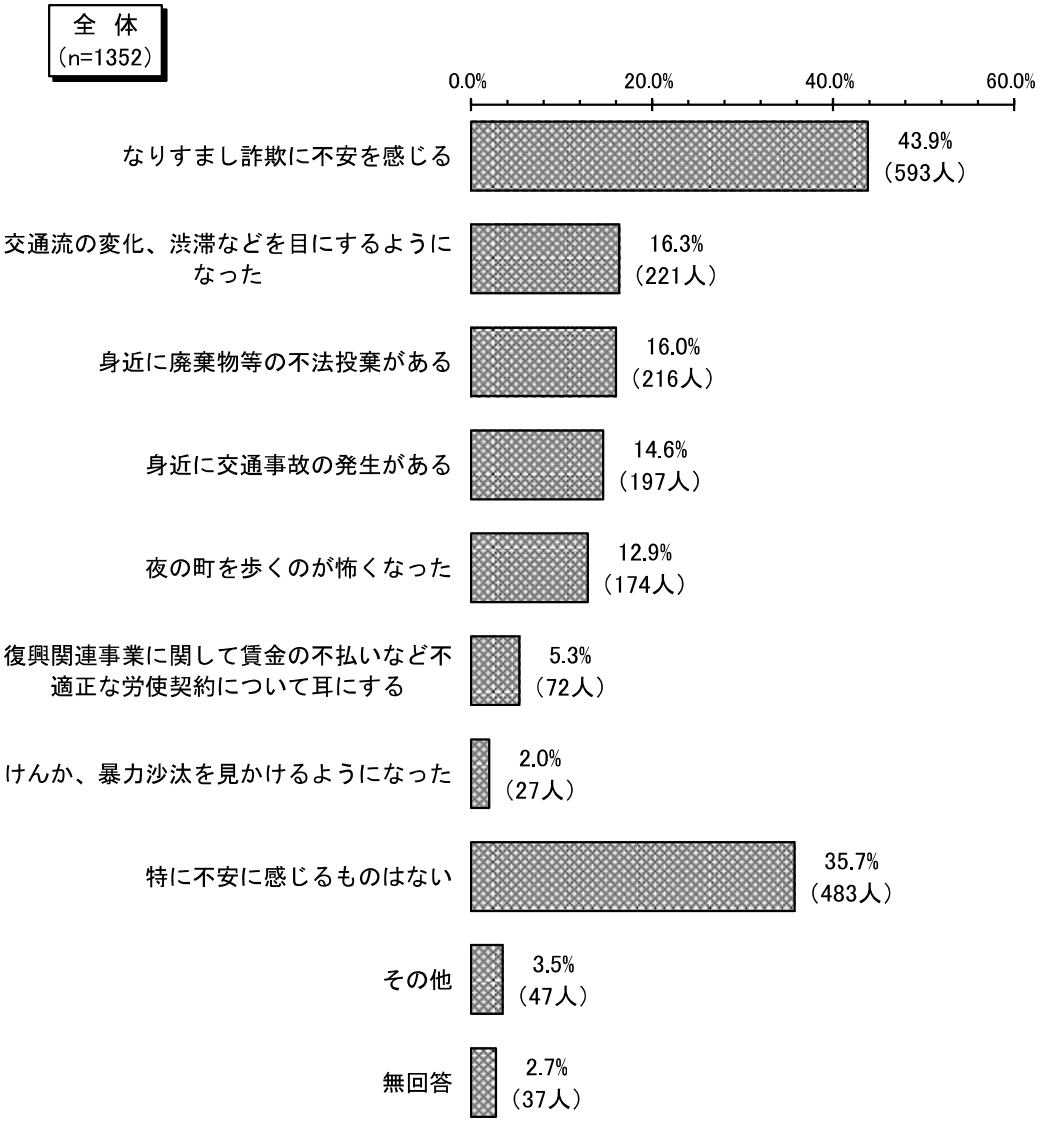
問 49　現在お住まいの地域で最も不安を感じ、今後重点的に取り締まってほしい犯罪は何ですか。
あてはまるもの３つまで○をつけてください。



重点的に取り締まってほしい犯罪については、「空き巣、車上ねらい、自動車盗及び自転車盗などの窃盗犯罪」（53.9%）の割合が最も多く、５割半ばとなっている。次いで、「高齢者を狙ったなりすまし詐欺」(48.7%)が５割弱、「殺人、強盗等の凶悪犯罪」(23.5%)と「こどもに対する声掛けやいたずら」（20.8%）が２割台、「インターネットを利用したサイバー犯罪」（16.3%）と「ひき逃げ事件や飲酒運転、横断歩行者妨害、速度超過などの悪質・危険な交通法令違反」（15.7%）が１割半ばなどとなっている。

（８）身近に感じる不安

問 50　震災から 15 年が経過しましたが、復興に伴い治安面で身近に感じる不安は何ですか。
あてはまるもの３つまで○をつけてください。



身近に感じる不安については、「なりすまし詐欺に不安を感じる」（43.9%）の割合が最も多く、４割半ばとなっている。次いで、「交通流の変化、渋滞などを目にするようになった」（16.3%）と「身近に廃棄物等の不法投棄がある」（16.0%）が１割半ば、「身近に交通事故の発生がある」（14.6%）と「夜の町を歩くのが怖くなった」（12.9%）が１割台となっている。

なお、「特に不安に感じるものはない」（35.7%）は３割半ばとなっている。

Ⅲ　調査票様式

調査票番号	

令和8年度 福島県政世論調査
調　査　票

Ⅰ 復興等に関する情報発信について

福島県では、復興やふくしまからはじまる新しい取組に関する情報を分かりやすくお伝えするため、県民の皆さんにどのように情報が伝わっているかなどをお伺いし、今後の情報発信に役立ててまいります。

問1 震災・原発事故や復興について、あなたはどのような情報を知りたいですか。あてはまるものにいくつでも○をつけてください。

1 食品や農産物の安全性確保についての取組・モニタリング情報
2 放射線の健康への影響や健康管理に関する情報
3 除染の進捗などの状況
4 復興へ向けた取組
5 安心して子育てできる環境づくりへの取組
6 被災者支援に関する情報
7 賠償に関する情報
8 産業（工業、商業、農林水産業など）の復興に関する情報
9 廃炉に向けた取組や現状に関する情報
10 特にない
11 その他（具体的に：　　）

問2 本県の復興の状況や新しい取組に関する情報については、主に何で入手していますか。あてはまるものにいくつでも○をつけてください。

1 新聞
2 テレビ・ラジオのニュースなど
3 インターネット（行政以外のページ）
4 インターネット（県のホームページ・フェイスブック・エックスなど）
5 県の広報（広報誌、テレビ、ラジオなど）
6 市町村の広報（広報誌、テレビ、ラジオ、ホームページなど）
7 国の広報（テレビ、ラジオ、印刷物、ホームページなど）
8 行政以外の印刷物
9 口コミ
10 その他（具体的に：　　）

問3　あなたは、県の広報活動に満足していますか。次のア～クについて、選択肢1～5の中でそれぞれあてはまるもの 1 つに○をつけてください。

【選択肢】

1 満足している	3 どちらかといえば満足していない
2 どちらかといえば満足している	4 満足していない
	5 見た(聴いた)ことがないのでわからない

			満足			不満	わからない
ア	広報誌	「つながる ふくしま ゆめだより」	1	2	3	4	5
イ	新 聞	県政特集（福島民報・福島民友）	1	2	3	4	5
ウ	テレビ	「キビタンGO!」 （福島テレビ：毎週水曜日 20:54～20:58）	1	2	3	4	5
エ		「キビタン!通信」 （福島放送：毎週金曜日 19:56～20:00） （再放送 毎週土曜日 16:25～16:30）	1	2	3	4	5
オ	ラジオ	「キビタンスマイル」 （ふくしまFM：毎週月～金曜日 17:30～17:35）	1	2	3	4	5
カ	インターネット	福島県ホームページ	1	2	3	4	5
キ		YouTube 「福島県公式チャンネル」 （ユーチューブ）	1	2	3	4	5
ク		Facebook 「ひとつ、ひとつ、実現するふくしま」 （フェイスブック）	1	2	3	4	5
		Instagram 「ひとつ、ひとつ、実現するふくしま」 （インスタグラム）					
		X（エックス） 「福島県公式X 」 ※旧 Twitter					
		LINE（ライン） 「福島県公式 LINE」					

問4　あなたは、県外の方に、福島県のどのようなことを伝えるべきだと思いますか。
あてはまるもの3つまで○をつけてください。

1　農産物や県産品の安全性	9　観光情報、来県の呼びかけ
2　被災者の生活状況、被災者の声	10　再生可能エネルギーやロボット産業などにおける先進的な取組
3　復興に向けてがんばる県民の姿	11　県内外で開催される本県関係のイベント情報
4　農産物や県産品の魅力	12　福島県への移住に関する情報
5　除染の進捗状況	13　特にない
6　震災の被害及び復旧・復興の状況	14　その他（具体的に：　　）
7　震災後の応援に対する感謝の気持ち	
8　放射線のモニタリング情報	

2 安全で安心な県づくりについて

福島県では、安全で安心できる暮らしの実現に向けて各種施策を行うこととしています。県民の皆さんに「安心」をどのように実感しているのかについてお伺いし、今後の安全安心に関わる各種施策に役立ててまいります。

問5 次のア～チの項目について、あなたは現状をどのように感じていますか。選択肢1～5の中でそれぞれあてはまるもの1つに○をつけてください。

（注） 平成23年3月11日に発生した東日本大震災及びそれに伴う福島第一原子力発電所事故に伴い避難されている方は、設問文の「あなたの暮らす地域」については、以下により回答してください。

・福島県内に避難されている方 → 現在お住まいの地域の状況を回答してください。

・福島県外に避難されている方 → 避難する前に住んでいた地域の状況を回答してください。

【選択肢】

1 はい	4 どちらかといえば「いいえ」
2 どちらかといえば「はい」	5 いいえ
3 どちらともいえない・該当しない	

	はい ← → いいえ				
ア あなたは、住民やNPOなどによる地域活動に積極的に参加していますか。	1	2	3	4	5
イ あなたの暮らす地域は、自然災害や大規模な火事災害などに対して、安心して暮らせる災害に強い地域だと思いますか。	1	2	3	4	5
ウ あなたは、大規模災害に備えて、避難場所の確認や食料の備蓄などを行っていますか。	1	2	3	4	5
エ あなたは、福島第一原子力発電所事故の発生により、長期にわたる健康不安を感じていますか。	1	2	3	4	5
オ 現在、あなたの暮らす地域（仮設住宅・借り上げ住宅も含む）の治安は良いと思いますか。	1	2	3	4	5
カ あなたの暮らす地域は、児童、配偶者、高齢者、障がい者などに対する虐待や暴力がなく、安心して暮らせる地域だと思いますか。	1	2	3	4	5
キ あなたの暮らす地域は、交通事故がなく安心して暮らせる環境が整っていると思いますか。	1	2	3	4	5
ク あなたは、暮らしている地域の夜間や休日の救急診療に不安を感じていますか。	1	2	3	4	5
ケ あなたは、毎日の食生活において食品の安全に不安を感じることなく安心して暮らしていますか。	1	2	3	4	5
コ （ケで「4」または「5」と回答した方にお尋ねします。） **ケで「いいえ」と回答した理由について、あてはまる要因にいくつでも○をつけてください。** 1 食中毒　2 残留農薬　3 食品添加物　4 放射性物質 5 異物混入　6 食品表示　7 有害物質（重金属・化学物質等）　8 遺伝子組換え食品 9 アレルギー物質　10 いわゆる健康食品　11 輸入食品 12 飲食店等での不衛生な取り扱い　13 わからない　14 その他（具体的に：　）					
サ あなたの暮らす地域は、水や大気など生活環境の安全が確保されていると思いますか。	1	2	3	4	5
シ あなたは、日ごろ、放射線の影響が気になりますか。	1	2	3	4	5
ス あなたは、食品や日用品など、消費生活に関して不安を感じることなく、安心して暮らしていますか。	1	2	3	4	5
セ あなたは、「福島県防災アプリ」を活用していますか。	1	2	3	4	5
ソ あなたは、災害時の取るべき行動について考える「マイ避難」の取組を知っていますか。	1	2	3	4	5
タ 「福島県防災アプリ」や「ふくしまマイ避難ノート」を活用するなどして、自分（自宅）の避難計画を作成していますか。	1	2	3	4	5
チ あなたが暮らしている中で、消防団の活動や存在を身近に感じることは ありますか。	1	2	3	4	5

3 福島県の総合計画について

福島県では、県が目指すふくしまの将来の姿や、その実現に向けた政策や施策を示した総合計画（県の行政運営上の最上位計画）を策定し、令和4年度から取組をスタートしています。

県民の皆さんの、計画の取組に関する考えをお伺いし、総合計画の進行管理や施策の見直しに活用してまいります。

問6 次のア～ネの項目について、あなたは現状をどのように感じていますか。選択肢1～5の中でそれぞれあてはまるもの1つに○をつけてください。

（注） 平成23年3月11日に発生した東日本大震災及びそれに伴う福島第一原子力発電所事故に伴い避難されている方は、設問文の「あなたの暮らす地域」については、以下により回答してください。
・福島県内に避難されている方 → 現在お住まいの地域の状況を回答してください。
・福島県外に避難されている方 → 避難する前に住んでいた地域の状況を回答してください。

【選択肢】

1 はい	4 どちらかといえば「いいえ」
2 どちらかといえば「はい」	5 いいえ
3 どちらともいえない・該当しない	

	はい ← → いいえ				
ア あなたは、ふくしまの将来の姿をまとめた「福島県総合計画」を見たこと、又は聞いたことがありますか。	1	2	3	4	5
イ あなたは、「福島県総合計画」の内容を知っていますか。	1	2	3	4	5
ウ あなたは、生活習慣病などの対策のため、健康診断を受診していますか。	1	2	3	4	5
エ あなたは、福島県で子育てを行いたいと思いますか（あなたが親の立場に立ったと仮定してご回答願います）。	1	2	3	4	5
オ あなたは、福島県の教育環境に満足していますか（あなたが親の立場に立ったと仮定してご回答願います）。	1	2	3	4	5
カ あなたは、日ごろ、人と人の支え合いや絆を実感していますか。	1	2	3	4	5
キ あなたの暮らす地域では、性別や年齢、国籍、障がいの有無など人々の多様性を理解した社会づくりが進んでいると思いますか。	1	2	3	4	5
ク あなたの暮らす地域では、女性の社会参画が進んでいると思いますか。	1	2	3	4	5
ケ あなたは、国内外の友人・知人に対して、自信を持って紹介できる地元のもの（自然、特産品、観光、文化など）がありますか。	1	2	3	4	5
コ あなたは、福島県の震災・原発事故からの復興・再生が進んでいると思いますか。	1	2	3	4	5

【選択肢】

1 はい	4 どちらかといえば「いいえ」
2 どちらかといえば「はい」	5 いいえ
3 どちらともいえない・該当しない	

		はい ← → いいえ				
サ	県は、原子力災害の被災地域の復興・再生に向けて、十分な取組を行っていると思いますか。	1	2	3	4	5
シ	あなたは、今暮らしている地域が住みやすいと思いますか。	1	2	3	4	5
ス	あなたの暮らす地域では、身近なところで、必要な医療を受けることができますか。	1	2	3	4	5
セ	あなたの暮らす地域では、家庭や身近な施設で、必要な福祉サービスを受けることができますか。	1	2	3	4	5
ソ	あなたは、福島県の豊かな自然や美しい景観が保全され、野生鳥獣との共生が図られていると思いますか。	1	2	3	4	5
タ	（ソで「4」または「5」と回答した方にお尋ねします。） **ソで「いいえ」と回答した理由について、あてはまるものにいくつでも○をつけてください。** 1 福島県の豊かな自然が保全されていない 2 福島県の美しい景観が保全されていない 3 傷病鳥獣の保護や、有害鳥獣対策が十分ではない	1	2	3		
チ	あなたは、日ごろ、省エネルギーや地球温暖化防止を意識した取組を行っていますか。	1	2	3	4	5
ツ	あなたは、自然と伝統が残る農山漁村地域を大切にしたいと思いますか。	1	2	3	4	5
テ	あなたは、文化活動やスポーツ活動に積極的に参加していますか（鑑賞を含む）。	1	2	3	4	5
ト	県内には、あなたが魅力を感じる企業がありますか。	1	2	3	4	5
ナ	あなたは、地元産の食材を積極的に使用していますか。	1	2	3	4	5
ニ	あなたは、日常生活で、再生可能エネルギー（太陽光など）を利用したいと思いますか（既に利用している人を含む）。	1	2	3	4	5
ヌ	あなたは、現在の職業や仕事に満足していますか。	1	2	3	4	5
ネ	あなたの暮らす地域では、交通ネットワークや情報基盤が十分に整備されていますか。	1	2	3	4	5

4 チャレンジふくしま県民運動について

福島県では、県民の皆さん一人一人が身近なところから心身の健康へ向けて取り組むことで、人も地域も笑顔で元気な福島の実現につなげる「チャレンジふくしま県民運動」を、平成28年度から展開しています。

健康づくりに対する県民の皆さんの意識や実践の現状を、今後の施策に役立ててまいります。

問7 「チャレンジふくしま県民運動」について、最もあてはまるもの1つに○をつけてください。

1 知っている
2 聞いたことがある
3 名前を聞いたことがない
4 その他（具体的に：　　）

問8 例えば、減塩、ウォーキング（ウォークビズ※含む）など軽い運動、サークル活動のような心身の健康づくりを最近行っていますか。最もあてはまるもの1つに○をつけてください。

※【参考】「ウォークビズ」とは
健康づくりのため、歩きやすい靴や服装で通勤・勤務すること。

1 実践している 2 少しは実践している	→ （問 10 へ）
3 実践していない	→ （問 9 へ）

（問 8 で「3」と回答した方にお尋ねします。）

問9 健康づくりを実践していない理由について、あてはまるものにいくつでも○をつけてください。

1 仕事や家事等で、実践する時間がない	5 お金が掛かる
2 興味のある取組がない	6 健康づくりに興味・関心がない
3 実践する場所・施設がない	7 その他
4 健康づくりに関する情報がない	（具体的に：　　）

（全員にお尋ねします）

問10 あなたは、この1年間にどの程度の頻度で運動（ウォーキング等の軽い運動含む）やスポーツを実施されましたか。最もあてはまるもの1つに○をつけてください。

1 週に5日以上	5 月に1～3日
2 週に3日以上	6 3か月に1～2日
3 週に2日以上	7 年に1～3日
4 週に1日以上	8 実施していない

5 福島イノベーション・コースト構想について

福島県では、福島イノベーション・コースト構想※を推進し、浜通り地域等の産業基盤の再生に取り組んでおります。各取組に関連した以下の項目について、県民の皆さんの考えをお伺いし、今後の施策に役立ててまいります。



問11 福島イノベーション・コースト構想について、あなたはどのような取組を知っていますか。あてはまるものにいくつでも○をつけてください。

1 原子力発電所の廃炉に向けた取組
2 ロボット産業を活発にするための取組
3 新エネルギーの利用を増やし、環境・リサイクル産業を集めるための取組
4 農林水産業を再生するための技術を支える取組
5 医療関連で利用できる技術を支える取組
6 航空宇宙で利用できる技術を支える取組
7 子どもの教育や地域の働き手を育てるための取組
8 福島イノベーション・コースト構想の情報や原子力災害等の教訓等を広める取組
9 福島国際研究教育機構（F-REI）による研究開発や産業化、人材育成などの取組
10 特にない
11 その他（具体的に：　　）

問12　今後、福島イノベーション・コースト構想を進めていくために、県はどのような分野の取組を強化していけばよいと考えますか。あてはまるもの3つまで○をつけてください。

1 原子力発電所の廃炉に向けた取組
2 ロボット産業を活発にするための取組
3 新エネルギーの利用を増やし、環境・リサイクル産業を集めるための取組
4 農林水産業を再生するための技術を支える取組
5 医療関連で利用できる技術を支える取組
6 航空宇宙で利用できる技術を支える取組
7 子どもの教育や地域の働き手を育てるための取組
8 福島イノベーション・コースト構想の情報や原子力災害等の教訓等を広める取組
9 福島国際研究教育機構（F-REI）の活動と連携した取組
10 特にない
11 その他（具体的に：　　）

問13　今後、これらの取組をさらに進めるとともに、その効果がより地域の皆さんに届くようにするためには、どのような施策がよいと考えますか。あてはまるもの3つまで○をつけてください。

1 新製品を生み出すための研究と生産技術の開発を進めること
2 企業を呼び込むための環境整備と広報を行うこと
3 地域企業の技術力や経営力を高めるための支援を行うこと
4 産学官（民間企業、F-REI や大学などの研究・教育機関、行政機関）や企業同士が連携すること
5 浜通り地域等での活動に関心のある人を呼び込むこと
6 人材の育成・確保（学生へ地元で働くことの魅力を伝える活動や専門知識を持つ人材の呼込みなど）をすること
7 福島イノベーション・コースト構想についての情報を発信すること
8 福島国際研究教育機構（F-REI）と地域の産学官とのネットワークを形成すること
9 特にない
10 その他（具体的に：　　）

6 県内のプロスポーツチームについて

福島県では、地域活性化を図るため、県内のプロスポーツチーム※と連携し、各種事業を展開しております。

県内のプロスポーツチームに対する県民の皆さんの意識をお伺いし、今後の施策に役立ててまいります。

※県内のプロスポーツチーム
福島ユナイテッドFC（サッカー）、いわきFC（サッカー）、福島レッドホープス（野球）、
福島ファイヤーボンズ（バスケットボール）、福島デンソーエアリービーズ（バレーボール）

問14 県内のプロスポーツチームについて伺います。あてはまるもの1つに○をつけてください。

1 県内にプロスポーツチームがあることをまったく（全チーム）知らなかった
2 県内にプロスポーツチームがあることは知っている（一部のチームでも可）が、特に関心はない
3 県内のプロスポーツチームに関心はある（一部のチームでも可）が、ホームゲームを観戦したことはない →（問15へ）
4 県内のプロスポーツチームに関心があり（一部のチームでも可）、ホームゲームを観戦したことがある →（問16へ）

（問14で「3」と回答した方にお尋ねします。）

問15 試合を現地で観戦しない理由を教えてください。あてはまるものにいくつでも○をつけてください。

1 試合会場が遠い（交通アクセスが悪い）
2 いつ試合をやっているのかが、分からない
3 チケットが高い
4 チケットの入手方法など、調べるのが面倒
5 選手をよく知らない
6 時間がない
7 わざわざ観に行くほどの試合内容ではない（盛り上がらない）
8 子どもを連れて行くのが大変

（問14で「4」と回答した方にお尋ねします。）

問16 試合を現地で観戦した理由を教えてください。あてはまるものにいくつでも○をつけてください。

1 家族や友人、知人に誘われた
2 テレビでチームに関する情報を目にして観戦したくなった
3 SNS や YouTube でチームに関する情報を目にして観戦したくなった
4 チームや選手と直接交流する機会があり観戦したくなった
5 会場で行われる試合以外のイベント（子ども向けイベントなど）が魅力的だった
6 応援したいチームがあった（できた）
7 周囲で話題になっていた
8 街中でポスターやチラシなどを見た
9 余暇時間を楽しむ場所を探していた
10 無料招待券や割引券を入手した

7 生物多様性について

福島県では、「ふくしま生物多様性推進計画（第3次）」を軸として「自然のめぐみを活かし未来へつなごう」の実現を目指して各施策に取り組んでおります。生物多様性※に関する県民の皆さんの意識についてお伺いし、今後の施策に役立ててまいります。

問17 あなたは次のア～ウの言葉について知っていましたか。
選択肢1～3の中でそれぞれあてはまるもの1つに○をつけてください。

【選択肢】

1 言葉も意味も知っていた
2 言葉を聞いたことがあったが、意味は知らなかった
3 言葉も意味も知らなかった

ア 生物多様性	1	2	3
イ 外来生物	1	2	3
ウ 希少野生動植物	1	2	3

※【参考】「生物多様性」とは
いろいろな生物が存在している様子のこと。
40億年という長い歴史の中で地球上には3,000万種ともいわれる多様な生きものが生まれ、これらの生命は一つひとつに個性があり、直接に、間接的に支えあって生きています。

問18 生物多様性の保全や、それによる生態系からの豊かな恵み（生態系サービス）を得るための行政の取組として最も重要だと思うことはどれですか。あてはまるものにいくつでも○をつけてください。

1 里地、里山、河川などの身近な自然環境の保全・再生
2 絶滅のおそれのある希少な野生生物の保護
3 密猟などの違法行為に対する監視や罰則の強化
4 二酸化炭素吸収機能や水源かん養機能などを高める森林の整備
5 自然保護に関わる市民・NPO等への活動支援
6 市民の意識啓発や子どもへの環境教育
7 野生生物による農業などへの被害対策
8 市民が自然と触れ合う機会の創出
9 自然環境に関する調査研究の推進
10 生態系に影響を与える外来生物の駆除
11 自然保護に関する規制区域などの拡大
12 有機農業など環境保全型農業の推進
13 わからない・知らない
14 その他（具体的に：　　）

問19 あなたは、生物多様性に配慮したライフスタイルとして、既に取り組んでいる、または取り組んでみたいと思うことはありますか。あてはまるものにいくつでも○をつけてください。

1 自然保護活動や美化活動に参加する
2 身近な生き物を観察したり、外に出て自然と積極的にふれあう
3 エコツアー（ガイドによる自然体験）に参加する
4 自然や生き物について、家族や友人と話し合う
5 生き物を最後まで責任を持って育てる
6 環境に配慮した商品を優先的に購入する
7 節電や適切な冷暖房温度の設定など地球温暖化対策に取り組む
8 流通に使用するエネルギーを抑えるため、地元の食材・ものを選んで購入する

8 自転車の安全利用について

福島県では、自転車の安全で適正な利用を促進し、歩行者、自転車及び自動車等が共に安全に通行し、県民が安全に安心して暮らすことができる社会を実現するため、令和3年10月に「福島県自転車の安全で適正な利用の促進に関する条例（以下「自転車条例」といいます。）」を制定いたしました。

県民の皆様の自転車の利用状況等をお伺いし、今後の施策に役立ててまいります。

問20 あなたは、普段の生活で自転車をどのくらい利用していますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

ア ほぼ毎日(週に4~7日)利用している イ 週に2、3日程度利用している ウ 週に1日程度利用している エ 月に1日程度利用している オ 年に数日程度利用している	（問21へ）
カ 利用していない → （問24へ）	

（問20で「ア」～「オ」と回答した方にお尋ねします。）

問21 令和4年4月1日から自転車条例により自転車損害賠償責任保険等※（以下「自転車保険」といいます。）への加入が義務化されましたが、あなたは、自転車保険に加入していますか（自転車専用の保険だけでなく、自動車任意保険や火災保険等で補償される場合も含みます）。

あてはまるもの1つに○をつけてください。

※【参考】「自転車損害賠償責任保険等」とは
自転車の運行によって他人の生命又は身体が害された場合における損害を塡補することができる保険又は共済のことをいいます。

ア 加入している　　イ 加入していない　　ウ わからない

（問20で「ア」～「オ」と回答した方にお尋ねします。）

問22 あなたは、自転車に乗るときに、ヘルメットを着用していますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

ア いつも着用している イ ときどき着用している	（問24へ）
ウ 着用していない →	（問23へ）

（問22で「ウ」と回答した方にお尋ねします。）

問23 あなたがヘルメットを着用しない理由を教えてください。あてはまるものにいくつでも○をつけてください。

1 値段が高いから	6 特に危険を感じないから
2 見た目が悪いから	7 ヘルメットの着用で怪我を防げるのか疑問だから
3 重い、蒸れるなど不快だから	8 その他（具体的に: ）
4 髪型が崩れるのが嫌だから	
5 移動先での保管・持ち運びが面倒だから	

（全員にお尋ねします）

問24 自転車の交通安全に関して、危険を感じたことや日頃感じていることなどご意見がありましたらお聞かせください。

（自由記載）※ 記入例 音楽を聴きながらの運転、傘さし運転、二台以上での並走等を危険に感じた

9 地域の医療について

福島県では、医療計画にもとづき、地域の医療提供体制の確保・充実のための取組を行っています。県民の皆さんに地域の医療についてどのように思っているか、どのように行動されているかをお伺いし、今後の医療施策に役立ててまいります。

問25 あなたが、もし体調が悪くなり、医師にみてもらいたいときはどうしますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

1 いつも決まってみてもらう病院・診療所へ行く
2 身近な診療所（医院・クリニック）へ行く
3 大学病院や総合病院などのできるだけ大きな病院へ行く
4 わからない
5 その他（具体的に： ）

問26 あなたには、日常的な体調不良やけがへの対応などを行ってくれる医師（かかりつけ医）がいますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

1 いる	4 いない（適当なかかりつけ医が身近にいない）
2 いない（病気をしない、または必要を感じない）	5 いない（その他具体的に： ）
3 いない（その都度都合の良い医師にかかる）	

問27 あなたは以下の医療関連サービス等を知っていますか。知っているものすべてに○をつけてください。

1 福島県こども救急電話相談（#8000）	4 福島県医療計画
2 福島県救急電話相談（#7119）	5 知っているものはない
3 福島県医療相談センター（024-522-4546）	

問28 あなたは、保健や医療に関する情報をどのような方法で入手していますか。あてはまるもの3つまで○をつけてください。

1 保健医療専門誌	6 インターネット(医療情報ネット除く)
2 健康関連の本や雑誌	7 県や市町村の広報誌
3 テレビ	8 友人・知人
4 ラジオ	9 その他
5 医療情報ネット	（具体的に： ）

問29 あなたが知りたい保健や医療に関する情報は何ですか。あてはまるもの3つまで○をつけてください。

1 病気の症状や予防・治療に関する情報	7 急病人やけが人に対する応急手当に関する情報
2 診療科目ごとの医療機関の所在地や連絡先に関する情報	8 訪問診療・看護やヘルパーなどの在宅ケアサービスに関する情報
3 医療機関の診療日・診療時間に関する情報	9 リハビリテーションに関する情報
4 医療機関の医療機器保有状況に関する情報	10 特にない
5 医療機関が連携している医療施設や介護施設に関する情報	11 その他
6 薬の効能、副作用や服用方法に関する情報	（具体的に： ）

10 食育について

福島県では、「福島県食育推進計画」を策定し、県民運動として推進しています。

県民の皆さんの食に関する意識や行動の現状をお伺いし、食育推進計画の進行管理や施策の見直しに活用してまいります。

問30 あなたは「食育」に関心がありますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

1 関心がある	3 どちらかといえば関心がない
2 どちらかといえば関心がある	4 関心がない

問31 あなたは、「毎年6月は『食育月間』、毎月19日は『食育の日』」であることを知っていますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

1 知っている	2 名称は知っているが、月日までは知らなかった	3 知らない

問32 朝食または夕食を家族と一緒に食べることはどのくらいありますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

1 ほとんど毎日食べる	3 週に2～3日	5 ほとんどない
2 週に4～5日	4 週に1日程度	

問33 あなたは、日ごろから健全な食生活を行うために「食育」に関する活動や行動を実践していますか。あてはまるものにいくつでも○をつけてください。

1 朝食を必ず食べること

2 栄養バランスのとれた食生活

3 ベジ推進（1日に必要な野菜量（350g）を意識して食べること）の実践

4 減塩の実践

5 より安全な食品の購入

6 食料自給状況に関する理解の向上

7 食生活の改善に関する勉強会への参加

8 農業生産・加工活動への参加

9 食に関わるボランティア活動への参加

10 食に関する伝統行事への参加

11 地域の伝統料理教室への参加

12 特にしていない

13 分からない

14 その他（具体的に：　　）

11 ロボット・ドローンについて

福島県では、福島イノベーション・コースト構想に基づき、ロボット・ドローン産業の振興のための取組を行っています。県民の皆さんがロボット・ドローンについてどのように思っているのかをお伺いし、今後の産業政策に役立ててまいります。

問34 現在、日常生活の中でロボットやドローンを目にする機会が増えてきましたが、このことについてどのように受け止めていますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

1 もっと導入すべき
2 これ以上は導入すべきではない
3 今よりも減らしたい
4 まだ判断できない

問35 ドローンが人や住宅の上空を飛行することについて、どのように思いますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

1 気にならない
2 安全対策やルールが明確であれば受け入れられる
3 条件があっても不安が残る
4 受け入れられない

問36 今後、ドローンが人や住宅の上空をよく飛ぶようになった場合、心配になることはどのようなことですか。あてはまるものにいくつでも○をつけてください。

1 機体の落下や事故の危険性
2 操縦・運航体制が見えないこと
3 騒音
4 プライバシーへの影響
5 不審な利用への懸念
6 その他（具体的に：　　）
7 特に不安はない

12 農林水産業について

福島県の農林水産物や農山漁村に対する県民の皆さんの意識をお伺いし、今後の農林水産業振興のための効果的な施策に役立ててまいります。

問37 普段、あなたが農林水産物を購入する際や食生活において、以下の行動のうち実践している又は実践したいと考えていることはありますか。あてはまるものに3つまで○をつけてください。

1 国産の食材を積極的に購入する
2 地元産の食材を積極的に購入する
3 一日の食事バランスを考えた食生活を実践する
4 食べ残しや使い残しを減らすなど食品ロスを減らす
5 環境に配慮して生産された農産物（有機農産物や特別栽培農産物※等）を積極的に購入する
6 食品の安全性について知識を持つ
7 その他（具体的に：　　）

※【参考】「有機農産物・特別栽培農産物」とは
どちらも農業による環境への負担をできる限り低減して栽培された農産物のこと。
有機農産物は、化学的に合成された農薬や肥料を使用しないこと等により栽培されたもの。
特別栽培農産物は、化学的に合成された農薬や肥料の使用量をこれまでより半分以下に減らして栽培されたもののこと。

問38 あなたが本県の農山漁村の役割として期待することは何ですか。あてはまるものに3つまで○をつけてください。

1 地域の人々が働き、生活する場
2 農林水産物など食料を生産する場
3 多種多様な生物が生息できる環境としての役割
4 農林漁業の作業体験等を通した学びの場
5 雨水の保水・貯留による土砂崩れ・洪水などを防止する役割
6 昔から伝わる伝統や文化を守っていく場
7 余暇やレジャーなどで滞在・体験する場
8 その他（具体的に：　　）

13 高等学校教育について

福島県教育委員会では、今後の教育に関する施策等の基礎的な資料とするため、高等学校教育に関する県民の皆さんの意識やニーズについてお伺いします。

問39 次の学科は、令和8年度に福島県内の県立高等学校・私立高等学校にある主な学科です。学校名にとらわれることなく考えた場合、あなたが（またはお子様等に）選びたい（選ばせたい）学科は何ですか。希望順に2つ選んでください。

第1希望	第2希望

	普通科	普通系専門学科	職業系専門学科	総合学科
学科名	1 普通科	2 理数科 3 文理科 4 国際系の学科 5 体育科 6 美術科 7 音楽科 8 探究科※1	9 農業科 10 水産科 11 工業科 12 商業科 13 家庭科 14 情報科 15 看護科 16 福祉科	17 総合学科※2

※1 探究科
生徒自らが課題を発見・設定し、調査・研究・発表を行う「課題探究型学習」を軸とした学科

※2 総合学科
普通教育及び専門教育の科目について幅広く総合的に学ぶ学科

問40 遠隔授業※を活用した学びができる高等学校を設置するとした場合、どのような形態がよいと思いますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

1 ライブ配信（画面越しの先生と生徒がやりとりを行いながら進める）授業
2 録画配信（事前に録画された動画を視聴する）授業
3 そ の 他（具体的に： ）

※ 遠隔授業
インターネットを利用し、離れた場所同士で映像や音声のやり取りを行う授業

問41 あなたがお住まいの地域には新たに中学校から高等学校までの6年間を接続した中高一貫教育校は必要だと思いますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

1 必要だと思う　　2 必要とは思わない　　3 わからない

問42　定時制、通信制の高等学校について質問します。

（1）　あなたがお住まいの地域に、定時制高等学校を設置するとした場合、定時制高等学校の形態はどれが一番必要だと思いますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

1 夜間主コース（主に夜の時間帯に授業を行う）
2 昼間主コース（朝から昼、または昼から夕方の時間帯に授業を行う）
3 夕間主コース（夕方の時間帯に授業を行う）
4 必要だと思わない
5 わからない

※ 県内の県立定時制高等学校
［県北］福島工業（定）<夜間>　、ふくしま新世<夕間、夜間>、［県中］郡山萌世（定）<昼間、夜間>
［県南］白河第二<夜間>、［会津］会津第二<夜間>、［いわき］いわき翠の杜<昼間、夜間>

（2）　あなたがお住まいの地域に、通信制高等学校を設置するとした場合、生徒等が、自宅学習の日にも通うことができる自習室や相談等ができる環境は必要だと思いますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

1 必要だと思う	2 必要とは思わない	3 わからない

問43　あなたがお住まいの地域に、多様な学習ニーズをもつ生徒にとって学びやすい新しいタイプ※の高等学校は必要だと思いますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

1 必要だと思う	2 必要とは思わない	3 わからない

※ 多様な学習ニーズをもつ生徒にとって学びやすい新しいタイプ
例えば、全日制・通信制の課程を一つの学校内に置き、それぞれの課程の授業を受講できる柔軟なシステム

14 地域社会の安全・安心（治安）について

震災後、治安情勢の変化により、県民の皆さんが抱いている安全・安心に関する意識や要望などを調査し、犯罪抑止対策や検挙活動等の効率的な推進に役立ててまいります。

問44 現在あなたが住んでいる地域の治安は良いと思いますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

1 良い 2 悪い	（問45へ）
3 変わらない 4 わからない	（問46へ）

（問44で「1」又は「2」とお答えの方にお尋ねします。）

問45 問44で治安が「良い」又は「悪い」と思う理由は何ですか。どちらかの枠の中から、あてはまるもの3つまで○をつけてください。

【良いと思った方】

1 犯罪の被害に遭った人が身近にいない
2 町内会の人の巡回や防犯ボランティアの姿をよく見かける
3 パトカーや警察官の姿をよく見かける
4 隣近所とのコミュニケーションが図られている
5 犯罪発生のニュース等を聞かなくなった
6 地域住民の防犯意識が高まった
7 その他
（具体的に： ）

※ 両方の枠を選ぶことはできません。

【悪いと思った方】

8 犯罪の被害に遭った人が身近にいる
9 町内会の人の巡回や防犯ボランティアの姿をあまり見かけない
10 パトカーや警察官の姿をあまり見かけない
11 隣近所とのコミュニケーションが図られていない
12 犯罪発生のニュース等をよく聞くようになった
13 地域住民の防犯意識が希薄になった
14 その他（具体的に： ）

（全員にお尋ねします。）

問46 犯罪の発生状況や犯罪を未然に防止する方法等の情報について、どのような形で提供されるのがよいと思いますか。あてはまるもの3つまで○をつけてください。

1 各種防犯研修会の開催	7 新聞への定期的な掲載
2 警察官の訪問による具体的な助言活動	8 携帯端末等へのメール配信
3 防犯広報紙の配布	9 アプリによる情報発信
4 県警察ホームページへの掲載	10 わからない
5 テレビ放映による広報	11 その他
6 ラジオ放送による広報	（具体的に： ）

問47 犯罪に関するどのような情報が知りたいですか。あてはまるもの3つまで○をつけてください。

1 自分の住んでいる地域の犯罪情報	7 多発している犯罪の手口や傾向
2 市町村単位の犯罪情報	8 なりすまし詐欺に関する情報
3 福島県全体の犯罪情報	9 来日外国人の犯罪情報
4 全国の犯罪傾向	10 インターネットに関する犯罪情報
5 学校や保育施設周辺の犯罪情報	11 防犯設備・防犯グッズ等の情報
6 少年非行の現状	12 その他（具体的に： ）

問48　安全・安心な地域社会をつくるため、警察にどのような活動を強化してほしいと考えますか。あてはまるもの3つまで○をつけてください。

1　犯罪の検挙活動	8　犯罪・事故被害者に対する支援
2　犯罪の抑止活動	9　事件・事故に関する情報発信
3　パトロール等街頭活動（被災地等における活動を含む。）	10　警察安全相談の充実
	11　意見・要望への的確な対応
4　巡回連絡（家庭等の訪問活動）	12　防犯・交通ボランティア等の結成、活動への支援
5　緊急事案に対する迅速な対応	
6　交通違反の取締り活動	13　特にない
7　交通事故の抑止活動	14　その他（具体的に：　　）

問49　現在お住まいの地域で最も不安を感じ、今後重点的に取り締まってほしい犯罪は何ですか。あてはまるもの3つまで○をつけてください。

1　殺人、強盗等の凶悪犯罪
2　空き巣、車上ねらい、自動車盗及び自転車盗などの窃盗犯罪
3　こどもに対する声掛けやいたずら
4　不同意性交、不同意わいせつ、痴漢等の性的犯罪
5　高齢者を狙ったなりすまし詐欺
6　少年犯罪
7　児童買春・児童ポルノ等の少年の福祉を害する犯罪
8　DV（ドメスティックバイオレンス＝配偶者間暴力）やストーカー犯罪、児童・高齢者・障がい者虐待
9　ヤミ金融事犯や悪質商法
10　インターネットを利用したサイバー犯罪
11　ひき逃げ事件や飲酒運転、横断歩行者妨害、速度超過などの悪質・危険な交通法令違反
12　暴力団、匿名・流動型犯罪グループ等による組織犯罪
13　外国人犯罪グループによる犯罪
14　公務員等による汚職事件
15　覚醒剤、大麻及び麻薬の乱用、売買などの薬物犯罪
16　不法投棄などの環境犯罪
17　銃器の使用・所持・密輸・密売などの銃器犯罪
18　東日本大震災の被災地における各種犯罪
19　特にない
20　その他（具体的に：　　）

問50 震災から15年が経過しましたが、復興に伴い治安面で身近に感じる不安は何ですか。あてはまるもの3つまで○をつけてください。

1 夜の町を歩くのが怖くなった
2 けんか、暴力沙汰を見かけるようになった
3 身近に交通事故の発生がある
4 交通流の変化、渋滞などを目にするようになった
5 身近に廃棄物等の不法投棄がある
6 復興関連事業に関して賃金の不払いなど不適正な労使契約について耳にする
7 なりすまし詐欺に不安を感じる
8 特に不安に感じるものはない
9 その他（具体的に：　　）

～ あなたご自身についてお答えください ～

Q1 あなたの性別（自認する性）をお知らせください。

1 男　　2 女

Q2 あなたの満年齢をお知らせください。（令和８年7月1日現在）

1　15～19歳	5　35～39歳	9　55～59歳
2　20～24歳	6　40～44歳	10　60～64歳
3　25～29歳	7　45～49歳	11　65～69歳
4　30～34歳	8　50～54歳	12　70歳以上

Q3 あなたの現在のご職業は何ですか。あてはまるもの1つに○をつけてください。なお、複数の職業をお持ちの方は、主とするもの1つに○をつけてください。

1 農・林・漁業（農業・林業・漁業の自営者、家族従業者）
2 商・工・サービス業（小売店・飲食店・理髪店などの自営者、家族従業者）
3 自由業（開業医・弁護士・芸術家・茶華道の師匠などの自営者、家族従業者）
4 管理職（民間会社・官公庁の課長級以上）
5 事務職・専門技術職（事務職員・教員・技術者など）
6 技能職・労務職（技能工・販売店員・外交員など）
7 パートタイマー・アルバイト・フリーター・派遣・嘱託など
8 専業主婦・主夫
9 学生・生徒
10 無職
11 その他（具体的に：　　）

Q4 あなたがお住まいの市町村名をご記入ください。
（震災の影響により現在避難している方は、避難する前の市町村名）

（ 市 ・ 町 ・ 村 ）

お忙しいところ、ご協力いただき誠にありがとうございました。

※ 同封の返信用封筒に入れ、令和８年7月８日（水）までに切手を貼らずに投函願います。

Ⅳ　過去に実施した県政世論調査項目一覧

令和７年度（１２項目４５問）　標本数 2,000 回収率 60.5％

(1) 復興等に関する情報発信について
(2) 安全で安心な県づくりについて
(3) 福島県の新しい総合計画について
(4) 福島イノベーション・コースト構想について
(5) 県内のプロスポーツチームについて
(6) チャレンジふくしま県民運動について
(7) 自転車の安全利用について
(8) ユニバーサルデザインについて
(9) 地域の医療について
(10) キャッシュレス決済の利用状況について
(11) 農林水産業について
(12) 地域社会の安全・安心（治安）について

令和６年度（１２項目４４問）　標本数 2,000 回収率 62.9％

(1) 復興等に関する情報発信について
(2) 安全で安心な県づくりについて
(3) 福島県の新しい総合計画について
(4) 福島イノベーション・コースト構想について
(5) 県内のプロスポーツチームについて
(6) チャレンジふくしま県民運動について
(7) エシカル消費（倫理的消費）について
(8) 自転車の安全利用について
(9) 地域の医療について
(10) ロボット・ドローンの活用について
(11) 農林水産業について
(12) 地域社会の安全・安心（治安）について

令和５年度（１２項目４４問）　　標本数 2,000　回収率 56.8％

(1) 復興等に関する情報発信について
(2) 安全で安心な県づくりについて
(3) 福島県の新しい総合計画について
(4) 福島イノベーション・コースト構想について
(5) チャレンジふくしま県民運動について
(6) 水に関する意識について
(7) 生物多様性について
(8) エシカル消費（倫理的消費）について
(9) 自転車の安全利用について
(10) 買い物環境について
(11) 農林水産業について
(12) 地域社会の安全・安心（治安）について

令和４年度（１２項目４９問）　　標本数 2,000　回収率 64.4％

(1) 復興等に関する情報発信について
(2) 安全で安心な県づくりについて
(3) 福島県の新しい総合計画について
(4) 福島イノベーション・コースト構想について
(5) チャレンジふくしま県民運動について
(6) 水に関する意識について
(7) 生物多様性について
(8) エシカル消費（倫理的消費）について
(9) 自転車の安全利用について
(10) 少子化対策について
(11) 農林水産業について
(12) 地域社会の安全・安心（治安）について

令和３年度（１０項目３７問）　　標本数 2,000　回収率 65.2％

(1) 復興等に関する情報発信について
(2) 安全で安心な県づくりについて
(3) 福島県の新しい総合計画について
(4) 福島イノベーション・コースト構想について
(5) チャレンジふくしま県民運動について
(6) ユニバーサルデザインについて
(7) 自転車の安全利用について
(8) 食育について
(9) 農林水産業について
(10) 地域社会の安全･安心（治安）について

令和２年度（１２項目２９問）　　標本数 1,300　回収率 64.5％

(1) 復興等に関する情報発信について
(2) キャッシュレス決済サービスの利用について
(3) 安全で安心な県づくりについて
(4) 県総合計画について
(5) 福島イノベーション・コースト構想について
(6) チャレンジふくしま県民運動について
(7) 水環境について
(8) ごみ対策について
(9) 食育について
(10) 農林水産業について
(11) 福島県総合教育計画について
(12) 地域社会の安全･安心（治安）について

令和元年度（１１項目３２問）　　標本数 1,300　回収率 47.5％

(1) 復興等に関する情報発信について
(2) 安全で安心な県づくりについて
(3) 県総合計画について
(4) 福島イノベーション・コースト構想について
(5) 土地利用について
(6) チャレンジふくしま県民運動について
(7) 生涯学習について
(8) 生物多様性について
(9) ユニバーサルデザインについて
(10) 農林水産業について
(11) 地域社会の安全・安心（治安）について

平成３０年度（１１項目２７問）　　標本数 1,300　回収率 49.1％

(1) 福島イノベーション・コースト構想について
(2) 復興に関する情報発信について
(3) チャレンジふくしま県民運動について
(4) ユニバーサルデザインについて
(5) 農林水産業について
(6) 水に関する意識について
(7) 水道水の放射線物質検査について
(8) 公共交通について
(9) 地域社会の安全・安心（治安）について
(10) 安全で安心な県づくりについて
(11) 県総合計画について

平成２９年度（９項目２６問）　　標本数 1,300　回収率 54.7％

(1) 復興に関する情報発信について
(2) 福島イノベーション・コースト構想について
(3) 買い物環境について
(4) 水に関する意識について
(5) 農林水産業について
(6) チャレンジふくしま県民運動について
(7) 地域社会の安全・安心（治安）について
(8) 安全で安心な県づくりについて
(9) 県総合計画について

平成２８年度（７項目２６問）　　標本数 1,300　回収率 54.3%

(1) 復興に関する情報発信について
(2) 農林水産業について
(3) 生物多様性について
(4) 高校教育について
(5) 地域社会の安全・安心（治安）について
(6) 安全で安心な県づくりについて
(7) 県総合計画について

平成２７年度（８項目２８問）　　標本数 1,300　回収率 54.8%

(1) 復興に関する情報発信について
(2) 心の健康について
(3) 青少年の健全育成について
(4) ユニバーサルデザインについて
(5) 農林水産業について
(6) 地域社会の安全・安心（治安）について
(7) 安全で安心な県づくりについて
(8) 県総合計画について

平成２６年度（８項目２８問）　　標本数 1,300　回収率 57.0%

(1) 復興に関する情報発信について
(2) 心の健康について
(3) 食育について
(4) 農林水産業について
(5) 廃棄物対策について
(6) 地域社会の安全・安心（治安）について
(7) 安全で安心な県づくりについて
(8) 県総合計画について

平成２５年度（８項目２４問）　　標本数 1,300　回収率 61.8%

(1) 復興に関する情報発信について
(2) 心の健康について
(3) 救急医療について
(4) 農林水産業について
(5) 生物多様性について
(6) 地域社会の安全・安心（治安）について
(7) 安全で安心な県づくりについて
(8) 県総合計画について

平成２４年度（９項目３３問）　　標本数1,300　回収率60.7%

(1) 環境について
(2) 水に関する意識について
(3) 子育て支援策について
(4) 青少年の健全育成について
(5) ユニバーサルデザインについて
(6) ジェネリック医薬品（後発医薬品）について
(7) 地域社会の安全・安心（治安）について
(8) 安全で安心な県づくりについて
(9) 県総合計画について

平成２３年度（７項目２４問）　　標本数1,300　回収率63.4%

(1) 震災時及び現在における情報収集について
(2) 男女共同参画の視点からの災害対応について
(3) 心の健康について
(4) 震災後の商業環境について
(5) 芸術文化・スポーツ活動について
(6) 震災後の県内の安全・安心（治安）について
(7) 安全で安心な県づくりについて

平成２２年度（８項目３０問）　　標本数1,300　回収率60.8%

(1) 福島県農林水産物の消費拡大について
(2) 地域社会の安全・安心について
(3) 生活習慣病予防対策ついて
(4) 水について
(5) 生物多様性について
(6) 廃棄物対策について
(7) 福島県総合計画について
(8) 安全で安心な県づくりについて

平成２１年度（７項目３０問）　　標本数1,300　回収率65.1%

(1) 福島県の農業・農村の振興について
(2) 地域社会の安全・安心について
(3) 食育について
(4) 環境について
(5) 青少年の健全育成について
(6) 土地利用について
(7) 福島県の新しい総合計画について

平成２０年度（５項目２８問）　　標本数1,300　回収率64.2%

(1) 安心・安全な県産農産物の生産拡大について
(2) 地域社会の安全、安心について
(3) 保健福祉関連事業について
(4) 福島県新長期総合計画「うつくしま２１」について
(5) ユニバーサルデザインについて

平成１９年度（５項目２３問）　　標本数1,300　回収率61.8%

(1)「ふくしま食と農の絆づくり運動」について
(2) 警察活動について
(3)「がん」に関する意識について
(4) 県庁の組織名及び職名について
(5) 福島県新長期総合計画「うつくしま２１」について

平成１８年度（６項目２１問）　　標本数1,300　回収率58.5%

(1) 犯罪に関する意識について
(2) 化学物質について
(3) 有機農産物に対する認知度と消費動向について
(4) 食育について
(5)“うつくしま、ふくしま。”県民運動について
(6) 福島県新長期総合計画「うつくしま２１」について

平成１７年度（６項目２４問）　　標本数1,300　回収率59.3%

(1) 森林と県民生活について
(2) 水について
(3) 電子社会の推進と現状について
(4) 運動・スポーツに関する実態について
(5) ユニバーサルデザインについて
(6) 福島県新長期総合計画「うつくしま２１」について

平成１６年度（５項目２７問）　　標本数1,300　回収率61.8%

(1) 安全に安心して暮らせる地域社会について
(2) 地域温暖化防止のためのエコライフについて
(3) 心の健康について
(4) 文化に関する意識について
(5)“うつくしま、ふくしま。”県民運動について

平成１５年度（５項目３４問）　　標本数1,300　回収率62.2%

(1) お米の消費実態と福島米への要望について
(2) 交通安全教育について
(3) 環境保全への取り組みについて
(4) エネルギー政策について
(5) 県政への要望について

平成１４年度（４項目３０問）　　標本数1,000　回収率60.5%

(1) 地産地消について
(2) ＩＴ革命の現状と課題について
(3) ボランティア活動について
(4) 食品の安全確保について

平成１３年度（６項目３３問）　　標本数1,000　回収率58.0%

(1) ユニバーサルデザインについて
(2) “うつくしま、ふくしま。”県民運動について
(3) 環境保全について
(4) 県民生活と森林(もり)づくり運動について
(5) 新エネルギーについて
(6) 人権問題について

平成１２年度（４項目３１問）　　標本数1,000　回収率62.2%

(1) 行政情報化について
(2) 魅力ある観光地づくりについて
(3) うつくしま未来博について
(4) 運動・スポーツについて

平成１１年度（６項目３４問）　　標本数1,000　回収率64.4%

(1) 福島県の教育について
(2) 高齢社会について
(3) 住民参加について
(4) 行財政改革について
(5) 土地利用について
(6) 県への要望について

平成１０年度（６項目３３問）　　標本数1,000　回収率66.9%

(1) 子育てについて
(2) 生涯学習について
(3) 安全な生活について
(4) 魅力ある観光地づくりについて
(5) 地方分権について
(6) 県への要望について

令和８年度

県 政 世 論 調 査

結 果 報 告 書

＜概　要　版＞

福島県　総務部　県民広聴室
〒 960－8670 福島市杉妻町２番16号
電話（ 024 ）521－7013